




## BTS 8.0 ユーザーマニュアル

## 情報、注意、警告

	情報:理解を深めたり、操作したりするのに役立ちます。
	注意:誤った操作を行うと、データが失われたり、ハードウェアが故障したりする可能性があります。
	警告 :重大な問題が発生する可能性がありますので、注意してください。

情報: コンテンツはソフトウェア/ハードウェアのバージョンアップグレードにより変更される場合があります。

© 2019Neware.All rights reserved.

バージョン:8.0(R9)

## カテゴリー

1. 概要.....	4
1.1. 目的.....	4
1.2. はじめに.....	4
1.3. ソフトウェア要件.....	4
1.4. BTS ソフトウェアの機能.....	5
2. ハードウェアとソフトウェアの接続.....	6
3. ユーザーマニュアル.....	6
3.1. コンテンツの説明.....	6
3.2. クライアントソフトウェアのインストール.....	7
3.3. サーバーソフトウェアのインストール.....	8
3.4. サーバーの正しいインストールを確認する.....	10
3.5. ソフトウェアの基本機能.....	13
3.6. 設定.....	17
3.6.1. プロセスタイプの設定.....	19
3.6.2. システム設定.....	19
3.7. ユーザー管理.....	27
3.7.1. ユーザーログイン.....	27
3.7.2. パスワードの変更.....	29
3.7.3. ユーザーログアウト.....	30
3.7.4. ユーザー管理.....	30
3.8. 言語の切り替え.....	35
3.9. ツール.....	36
3.9.1. ダウンロードログ.....	36
3.9.2. ステップエディタ.....	37
3.9.3. インド.....	38
3.9.4. 中間マシンリスト.....	39
3.9.5. 履歴データの削除.....	40
3.10. ヘルプ.....	41
3.11. デバイスリスト.....	41
3.11.1. サーバーの追加.....	41
3.11.2. オフラインデバイスの削除.....	43
3.11.3. メモ/備考の変更.....	44
3.11.4. ミドルマシンの更新.....	45
3.11.5. 中間マシンの再起動.....	46
3.11.6. 低スペックマシンのアップグレード.....	46
3.11.7. ミドルマシンとローマシンの設定と表示.....	47
3.11.8. 音と光によるアラームのリセット.....	48
3.11.9. バージョン情報.....	48
3.12. チャネルインターフェース.....	49

3.12.1. チャンネルカラー設定.....	49
3.12.2. チャンネル表示設定.....	51
3.12.3. ディスプレイインターフェース.....	57
3.13. チャンネルインターフェースを右クリックする.....	57
3.13.1. シングルスタート.....	60
3.13.2. シングルストップ.....	62
3.13.3. 行/レイヤーごとの起動テスト.....	62
3.13.4. すべて停止.....	63
3.13.5. テストの継続/再開.....	64
3.13.6. ジャンプ.....	65
3.13.7. チャンネルの移動.....	66
3.13.8. テストプロファイルのリセット/変更.....	66
3.13.9. バーコードリセット.....	66
3.13.10. チャンネルのロック/ロック解除.....	67
3.13.11. アラームのリセット.....	70
3.13.12. マッピングのリセット.....	71
3.13.13. チャンネルのコピー.....	74
3.13.14. マークをクリア (チャンネルをリセット) .....	75
3.13.15. 単位設定.....	75
3.13.16. ログの確認.....	76
3.13.17. チャンネルデータ.....	77
3.13.18. チャンネルデータ/テストデータの保存先.....	78
3.13.19. チャンネル情報.....	79
3.14. リストビュー.....	82
3.14.1. 右メニューの機能.....	83
3.14.2. 表示パラメータの設定.....	83
3.14.3. バーコード入力.....	84
3.15. 能力の等級分け.....	86
3.15.1. 採点設定.....	86
3.15.2. 採点結果.....	87
3.16. テスト結果の履歴.....	88
4. 付録.....	90
4.1. よくある質問.....	90
4.2. 使用上の注意.....	91
4.3. 修理とメンテナンス.....	91
4.4. アフターサービス.....	92
4.5. NEWARE へのお問い合わせ.....	92

## 1概要

### 1.1.目的

BTSCClient8.0はBTSCClient7.6.0をベースにした新しいバージョンで、パフォーマンスが向上し、7.6.0 を徐々に置き換えます。

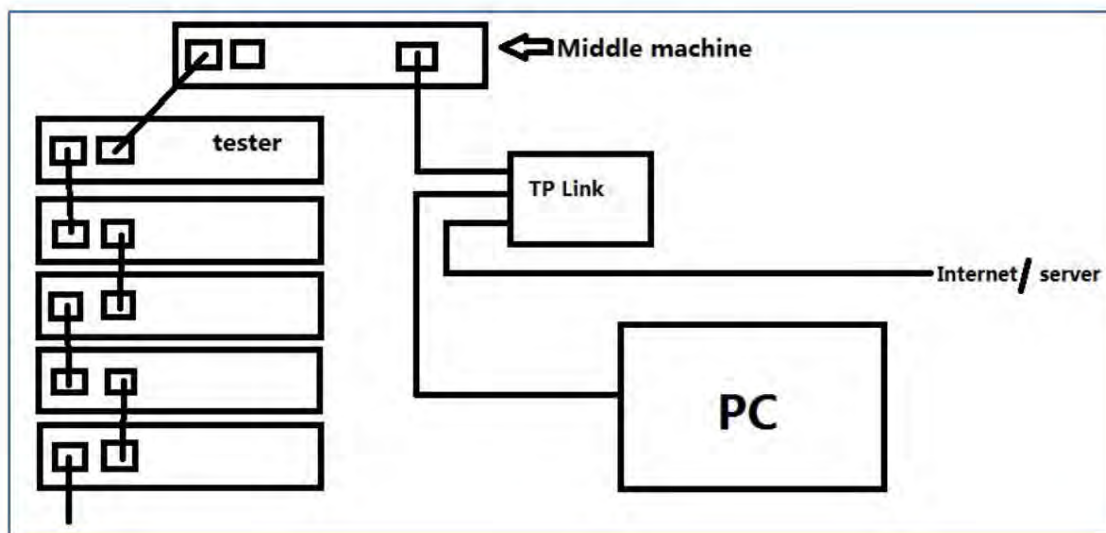
このドキュメントは、Newareユーザーを対象としており、インストールと操作方法を理解するのに役立ちます。

BTSクライアント8.0。

### 1.2.はじめに

BTSCClient8.0はNewareバッテリーテストシステムの新しいクライアントで、BTS7をベースにしており、より良い。

BTSソフトウェアはC/S構造とデータベース (mysql)に基づいており、典型的な図下の写真のようになります。



### 1.3.ソフトウェア要件

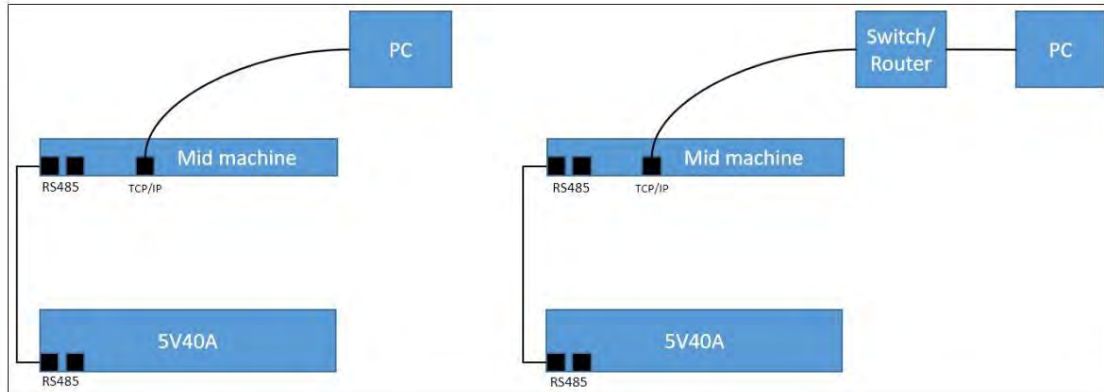
アイテム	構成
CPU	Intel i3以上
メモリ	最低4GB、8GB以上あればなお良い
ハードドライブ	200GB以上
ファイルシステム	NTFS
OS	Microsoft Windows 7 以降 64 ビット
インターフェース	USB、イーサネット

## 1.4. BTSソフトウェアの機能

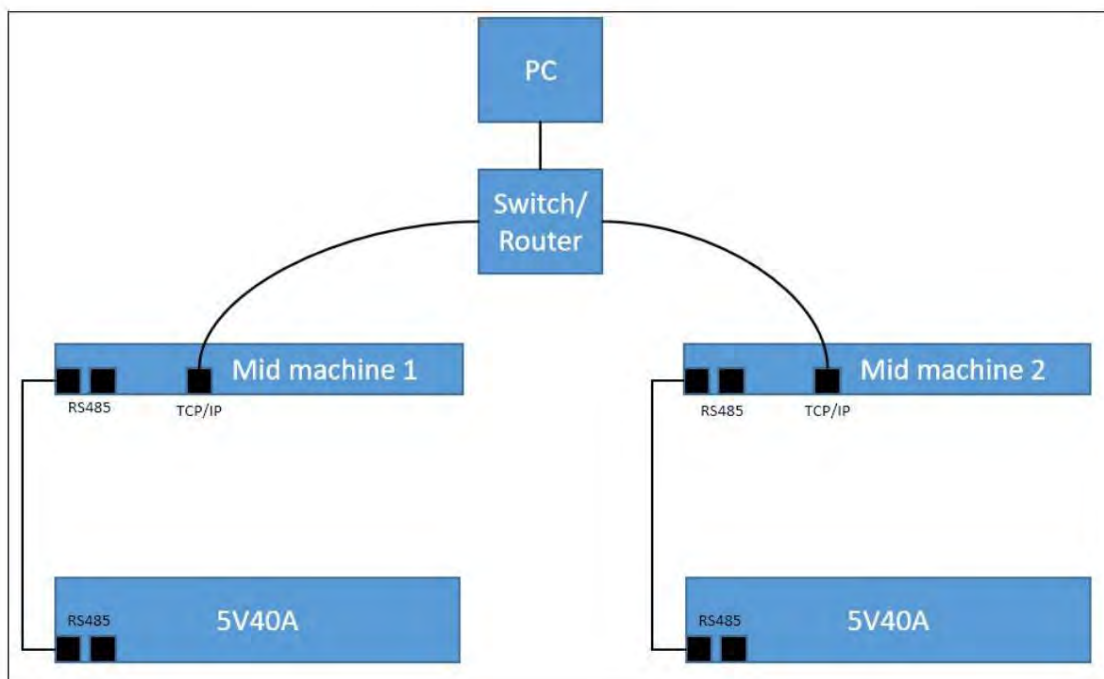
1. TCP/IP とデータベースに基づく C/S 構造。
2. マルチユーザーをサポートします。
3. ユーザーフレンドリーなデザイン。
4. 強力なテストプロセス制御。
5. 柔軟で複雑なプログラミング テスト ソリューション。
6. バッテリーの選別、マッチング、曲線の比較を完璧に実現します。

## 2.ハードウェアとソフトウェアの接続

### 1. 1台のデバイスの接続図:



### 2. 複数のデバイスの接続図:



## 3.ユーザーマニュアル

### 3.1.コンテンツの説明

BTSClnt8.0では、主にクライアントソフトウェアのインストールとアンインストール、ソフトウェアとサーバー間の接続、ソフトウェアが成功した後のコンピュータへの接続方法を紹介しました。

インストール。さらに、バッテリーなどの各機能の操作も紹介します。  
ソート、補助マッピング設定、トランスミドルマシンマッピング実現など。

### 3.2.クライアントソフトウェアのインストール

操作効率のため、1 台のコンピューターにインストールできるクライアント ソフトウェアは 1 つだけです。



注意：FATファイルシステムは停電時にエラーが発生する可能性が高くなります。インストール時にソフトウェアをインストールする場合は、NTFSファイルシステムにインストールする必要があります。そうしないと、電源が切れたり、システムが異常シャットダウンした場合、ディレクトリ全体が間違っている可能性があり、ステップファイルにエラーが発生する可能性があります。システム ファイルまたはデータ ファイル、NTFS システム プロパティの表示については、下の図を参照してください。

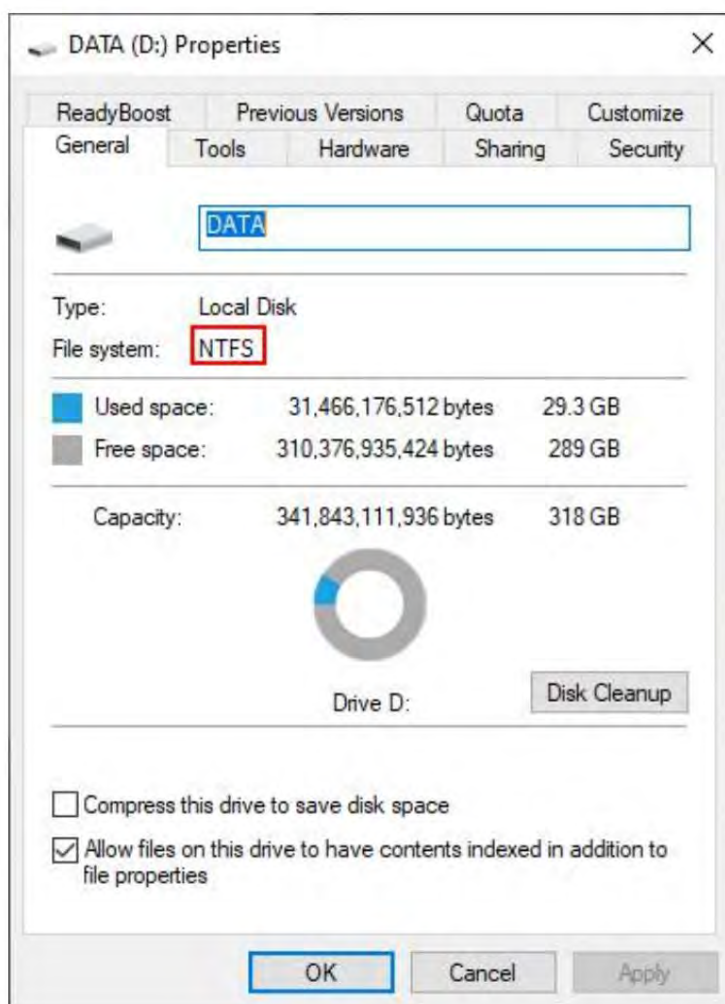



図3.2.1 ファイルシステムの種類の表示

クライアントソフトウェアは RAR のグリーンバージョンです。解凍後に「BTS.exe」をダブルクリックして使用します。



注意事項：クライアントソフトウェアを実行するにはネット環境が必要ですので、「Microsoft .NET  
まず「Framework 4.5.1.exe」を実行してください。そうしないとクライアントを起動できません。

### 3.3.サーバーソフトウェアのインストール

	<p><b>注意</b> :コンピュータに別のバージョンのBTSサーバーをインストールしている場合は、必ず新しいバージョンをインストールする前にアンインストールしてください。他の場所にデータをバックアップしてください。</p> <p>アンインストールする前にバージョンデータベースを確認してください。</p>
	<p><b>注意</b> : FATファイルシステムは停電時にエラーが発生する可能性が高くなります。</p> <p>ソフトウェアをインストールする場合は、NTFSファイルシステムにインストールする必要があります。そうしないと、電源が切れたり、システムが異常終了すると、ディレクトリ全体が間違った場合、ステップファイル、システムファイル、またはデータファイルにエラーが発生する可能性があります。NTFSを表示システムプロパティの表示については、図3.3.1を参照してください。</p>

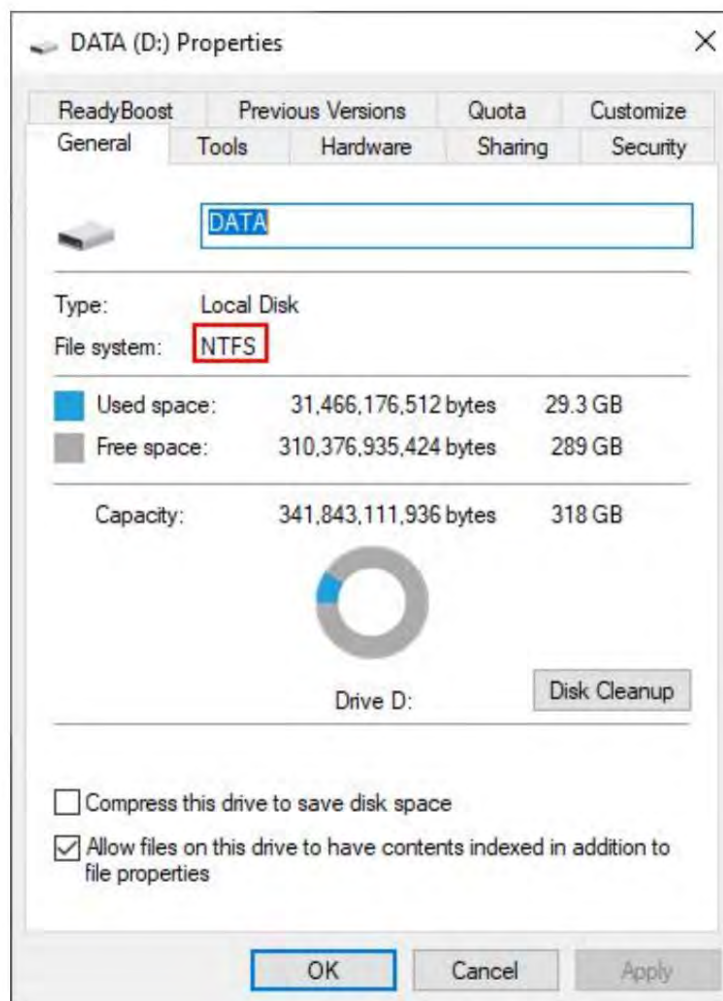


図3.3.1 ハードディスクファイルシステムウィンドウ

1. 図3.3.2に示すように、「BTSServer」のインストールガイドンスを入力し、「次へ」をクリックします。

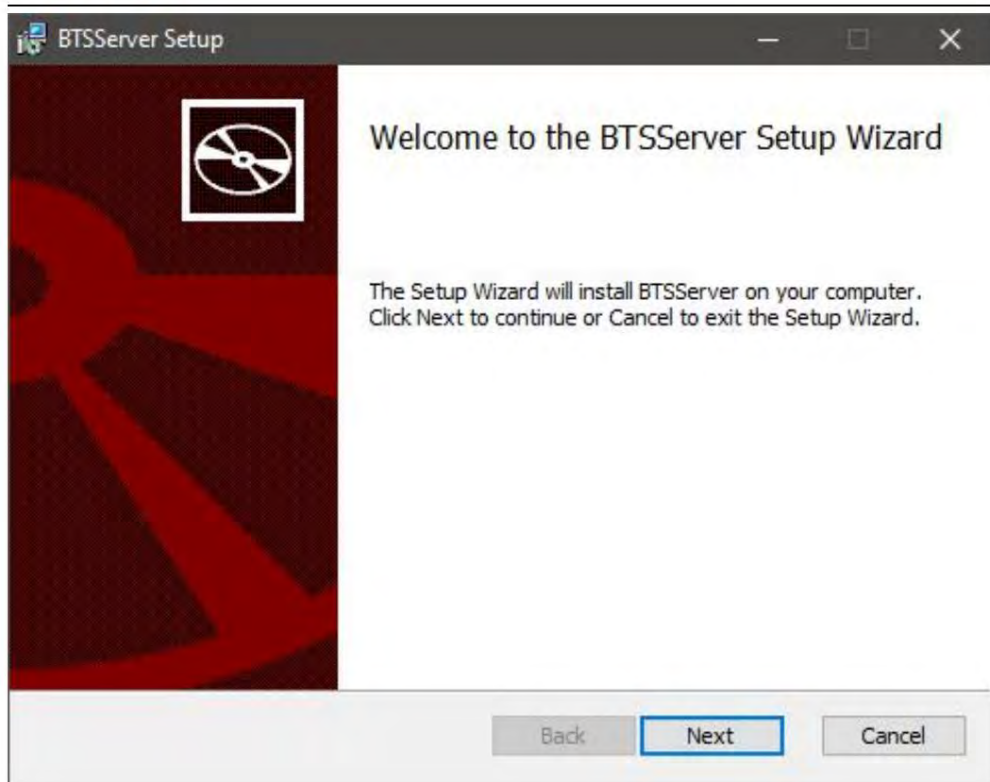


図3.3.2 インストールガイドンスウィンドウ

2. ユーザーライセンス契約に同意した後、サーバーのインストールパスを選択します。デフォルトのパスは「D:\Program Files (x86) \Neware\BTSServer」です。「変更」をクリックして他のパスを選択し、「次へ」をクリックしてインストールします。(図3.3.3に表示)

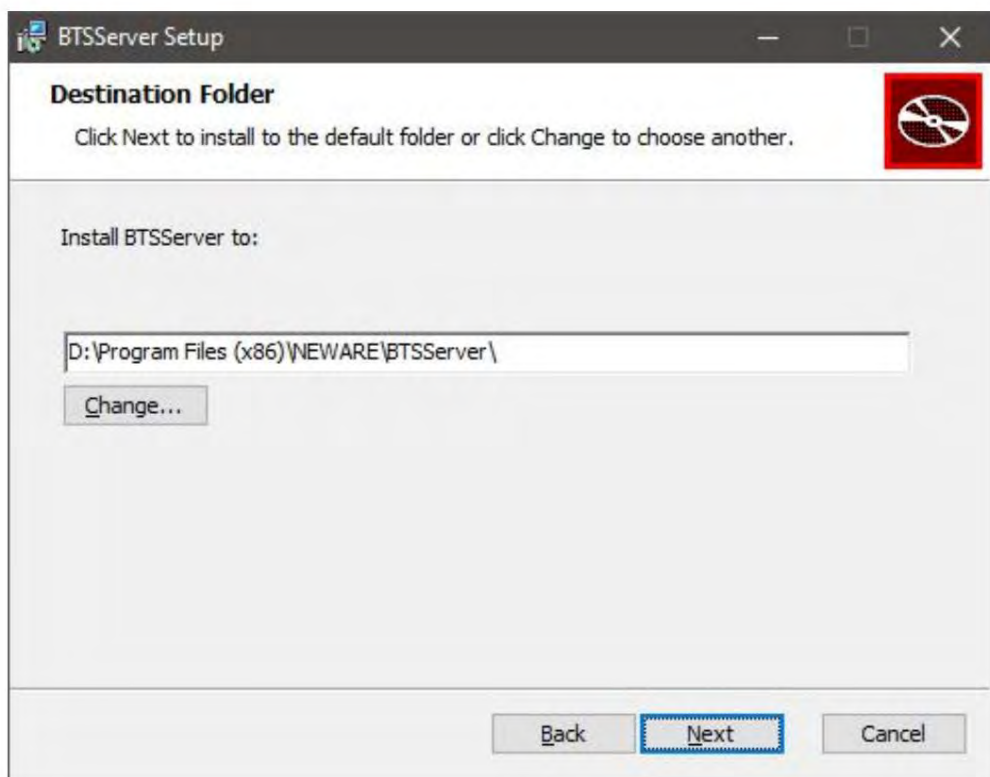


図3.3.3 インストールパスウィンドウ

3. インストールプロセスバーが表示されます（プロセスバーの後半に2つのコマンドウィンドウが表示されたら、インストール後に「完了」をクリックします。（図3.3.4に表示）

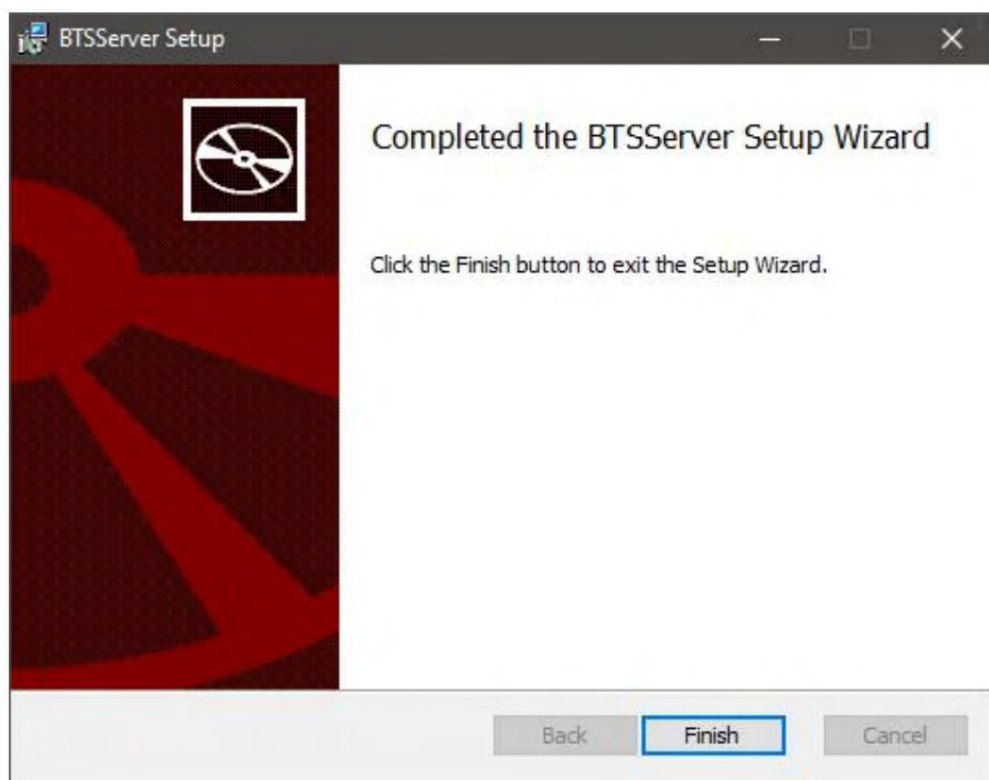


図3.3.4 インストール完了ウィンドウ

### 3.4.サーバーの正しいインストールを確認する

インストールが完了したら、サーバーが正しくインストールされているかどうかを確認する必要があります。操作は以下のとおりです。

1. 「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」をクリック→「管理ツール」を選択し、「サービス」を選択して「MySQL」と「NEWARE BTS Service」が右側のリストにあることを確認し、開始しました。（図3.4.1参照）

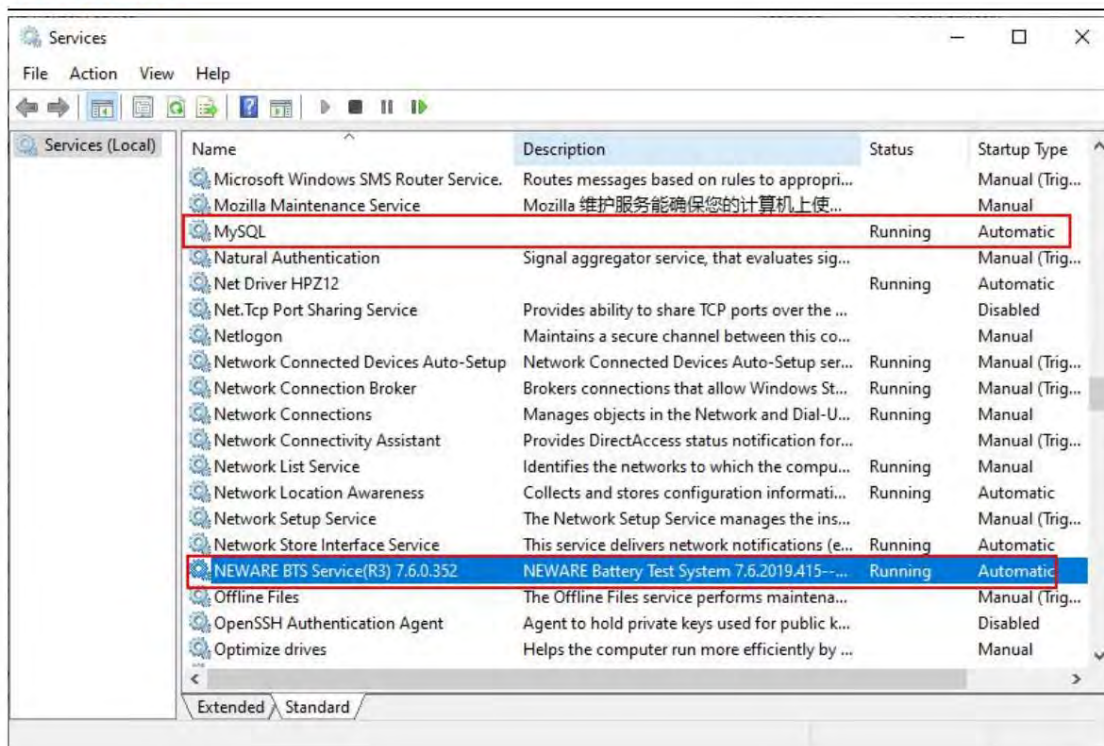


図3.4.1 サービスとアプリケーションウィンドウ

2. リストに「MySQL」または「NEWARE BTS Service」がない場合は、サーバーをアンインストールして再度インストールしてください。そして、上記の手順でサーバーが正しくインストールされていることを再度確認してください。

開始しました。

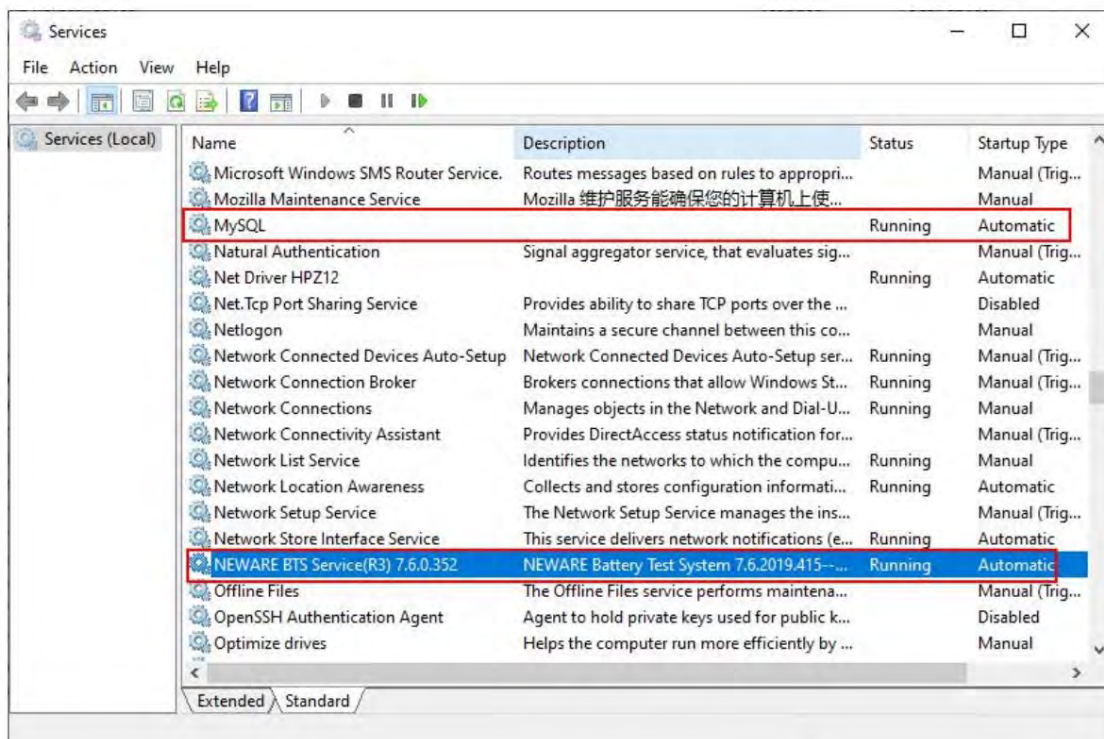


図3.4.2 スタート設定ウィンドウ

3. リストに「MySQL」または「NEWARE BTS Service」がない場合は、サーバーをアンインストールして再度インストールしてください。また、上記の手順でサーバーが正しくインストールされていることを再度確認してください。

開始しました。

4. いずれかのサービスの開始タイプが「手動」になっている場合は、次のように「自動」に変更してください。

以下のようにします。たとえば、NEWARE BTS サービスの起動タイプは手動です (MySQL と同じ)

方法1:

1. 「NEWARE BTS Service」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
2. 開始タイプ：「自動」を選択します (図3.4.3を参照)

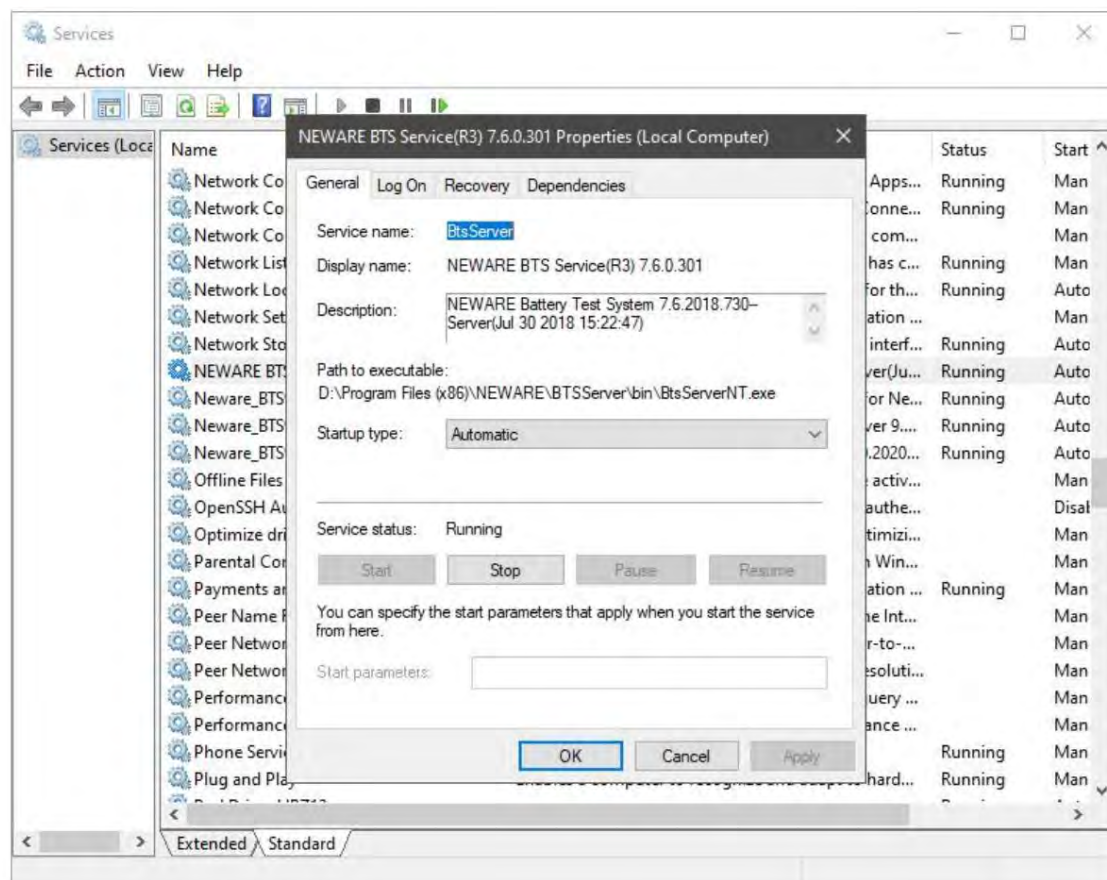


図3.4.3 NEWARE BTSサービス開始ウィンドウ

方法2:

1. スタートメニューから「実行中...」を開き、「msconfig」と入力して「Enter」をクリックします。
2. 「システム構成ユーティリティ」に入ります。サービスで「NEWARE BTSサービス」を選択し、クリックします。「適用」をクリックし、コンピュータを再起動します。(図3.4.4を参照)

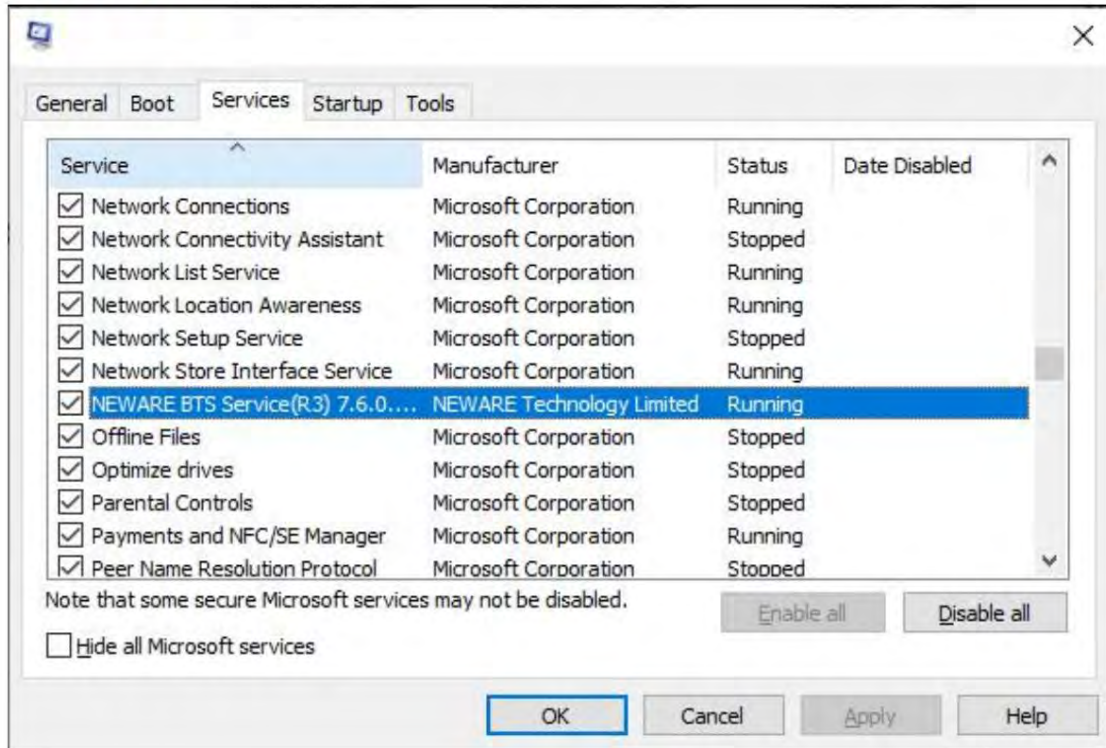



図3.4.4 システム構成ユーティリティウィンドウ

 注 : コンピュータの管理ウィンドウで右クリックして「停止」を選択して閉じます  
実行中のサービス。サーバーを手動でアップグレードするときに必要になります。

### 3.5.ソフトウェアの基本機能

クライアントソフトウェアにチャンネルが表示されない場合は、再度マッピングする必要があります。(マッピングが成功した後のクライアントソフトウェア インターフェイスを図 3.5.1 に示します)

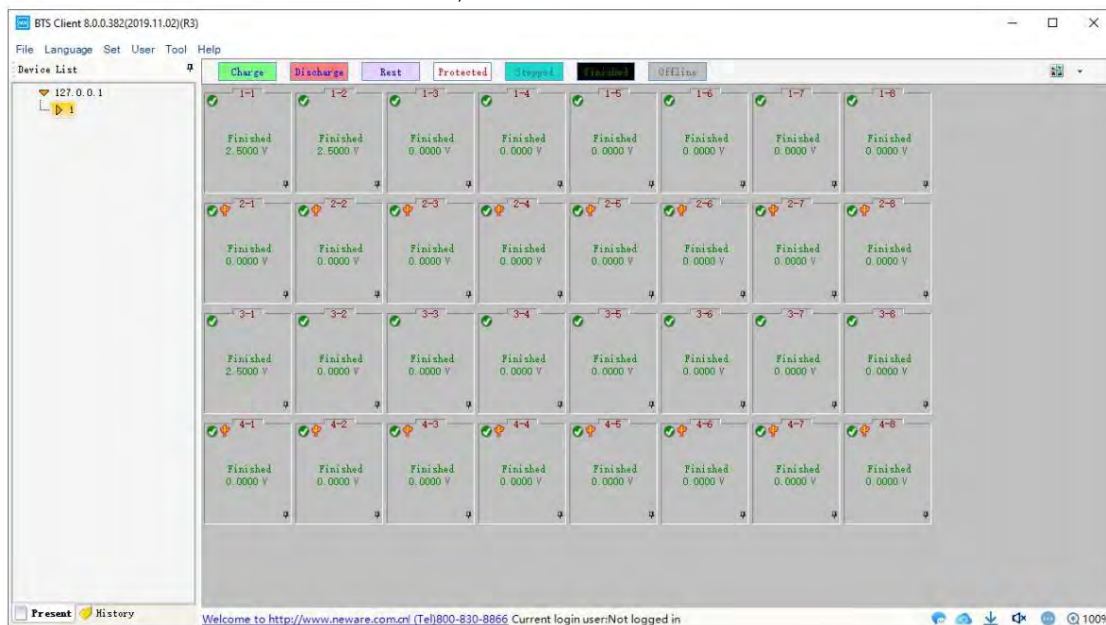


図3.5.1 BTSClient8.0.0メインウィンドウ

ソフトウェアの表示が最小化されると、タスクバー上のソフトウェアのイメージは非表示になります。パレット リストで見つけることができます。また、クライアントソフトウェアをクイック スタート バーにドラッグすることもできます。これは、一般的なソフトウェアの一般的な機能です。

注: 最小化ソフトウェアをタスクバーに表示するように選択することもできます、システム設定を通じて。

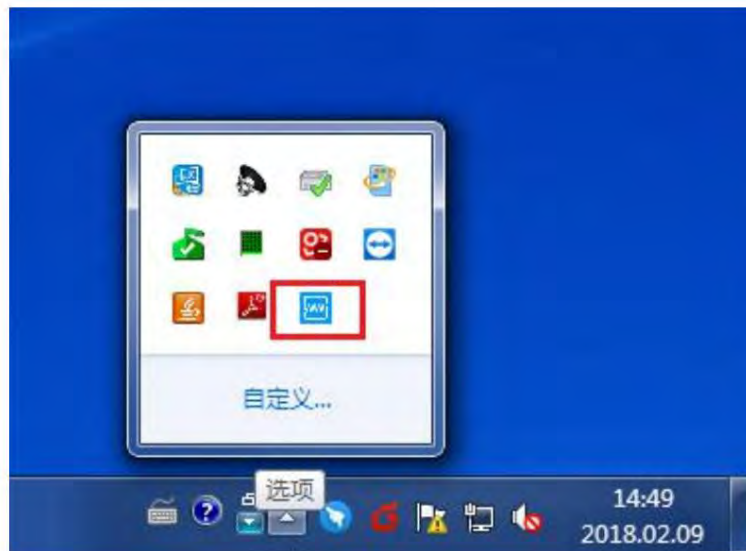


図3.5.2 ソフトウェアをパレットリストに最小化する

## 3.5.1ステップ名ドロップダウンリストの名詞の説明:

Step ID	Step Name	Step Time(hh:mm:ss:ms)	Voltage(V)	Current(mA)	Cut-off Curr(mA)	Capacity(Ah)	Other
1	CC DChg		2.8	1200			

図3.5.3

**CCD:**チャンネルは定電流で放電し、バッテリー電圧が低下し、カットオフ電圧と定電流値を設定する必要があります。時間、容量、エネルギーは代替となる条件。それはそれらの間の論理的な関係を「または」という意味です。上の図は、バッテリーは 1200mA の電流の開始から 2.8V の終了まで放電します。

Step ID	Step Name	Step Time(hh:mm:ss:ms)	Voltage(V)	Current(mA)	Cut-off Curr(mA)	Capacity(Ah)	Other
1	CC Chg		4.2	1200			

図3.5.4 CCC:チ

チャンネルは定電流値で充電され、バッテリー電圧が上昇します。カットオフ電圧と定電流値を設定する必要があります。時間、容量、エネルギーは選択条件は「または」論理的な関係を意味します。上の図はバッテリーは 1200mA の電流の開始から 4.2V の終了まで充電されます。

Step ID	Step Name	Step Time(hh:mm:ss:ms)	Voltage(V)	Current(mA)	Cut-off Curr(mA)	Capacity(Ah)	Other
1	Rest	00:05:00.000					

図3.5.5

**休止:**チャンネルは休止状態です。ステップ時間を設定する必要があります。上の図は、チャンネルが休止状態であることを示しています。5分間休憩します。

Step ID	Step Name	Step Time(hh:mm:ss:ms)	Voltage(V)	Current(mA)	Cut-off Curr(mA)	Capacity(Ah)	Other
1	Rest	00:05:00.000					
2	CC DChg		2.7	1500			
3	Cycle	Start Step ID:1	Cycle Count:5				

図3.5.6

**サイクル:**サイクルの複数のステップを定義します。上の図は、ステップ1またはステップ2が実行されることを示しています。最初のステップから5回実行します。

Step ID	Step Name	Step Time(hh:mm:ss:ms)	Voltage(V)	Current(mA)	Cut-off Curr(mA)	Capacity(Ah)	Other
1	CCCV Chg		4.2	1200	1200	50	

図3.5.7

**CC&CVC:**バッテリー電圧が設定電圧値を下回ると、デバイスはバッテリーを充電します。定電流モードでは、バッテリーが設定された定電圧値に達するまで充電され、その後CVプロセスに入ります。上の図は、バッテリーが 1200mA で充電され、バッテリーが 4.2V での CV プロセスでは、電圧は一定のまま電流はゆっくりと低下し、電流は 50mA まで低下します。リチウム電池の充電と CV-Chg から CC-Chg へのプロセスでは、ステップ電圧、電流、オフ電流を設定する必要があります。

Step ID	Step Name	Step Time(hh:mm:ss:ms)	Voltage(V)	Current(mA)	Cut-off Curr(mA)	Capacity(Ah)	Power(W)	Other
1	CP DChg		2.8				10	

図3.5.8

**CP-DChg:**チャンネルは定電力負荷のバッテリーに相当し、放電は電圧の低下とともに増加する。

いつでも設定された電力値に等しい。上記のように、バッテリーは一定時間放電します。2.8Vの最後まで10Wの電力を供給します（バッテリー電圧が5Vであると仮定すると、放電電流は2Aで、電圧が4Vに低下すると電流は2.5Aになるはずですが。カットオフ電圧電力値を設定する必要があります。

Step ID	Step Name	Step Time(hh:mm:ss:ms)	Voltage(V)	Current(mA)	Cut-off Curr(mA)	Capacity(Ah)	Power(W)	Other
1	CP Chg		4.2				4.2	

図3.5.9

CP\_Chg:設定電力に応じて充電します。電流と電圧の積は常に設定電力に等しいため、電圧の増加とともに電流は減少します。

上図のように、バッテリーは電圧が4.2Vになるまで4.2Wの一定電力で充電されます。

（電池電圧が4Vだとすると、電流は1.05Aとなり、電圧が4.2Vに上昇すると、

電流は1Aである必要があります。カットオフ電圧と電力は、この手順で設定する必要があります。

ID	Step Name	Step Time(hh:mm:ss:ms)	Voltage(V)	Current(mA)	Cut-off Curr(mA)	Capacity(Ah)	Power(W)	Other
	CP Chg		4.2				4.2	<i>if conditions</i>

function	Parameter	Operator	Value(V)	goto
	Voltage	<=	2.8	Next Step

図3.5.10

IF:このステップを任意のステップに挿入することがサポートされており、ステップの方向を次のように判断します。

パラメータを設定します。以下に示すように、電圧、ステップ時間、環境温度、電流などを追加できます。

次に、ターゲット ステップに移動を選択できます。

ID	Step Name	Step Time(hh:mm:ss:ms)	Voltage(V)	Current(mA)	Cut-off Curr(mA)	Capacity(Ah)	Power(W)	Other
	CP Chg		4.2				4.2	<i>if conditions</i>

function	Parameter	Operator	Value(V)	goto
	Voltage	<=	2.8	Next Step

図3.5.11

ID	Step Name	Step Time(hh:mm:ss:ms)	Voltage(V)	Current(mA)	Cut-off Curr(mA)	Capacity(Ah)	Power(W)	Other
	CV DChg		3	2000	200			

図3.5.12

CV\_DChg:放電中に一定電圧が要求され、放電が電流は徐々に減少します。上記のように、バッテリーは最大2000mAで放電します。

（2000mA未満の場合は、バッテリー電圧に応じて実際の値で放電します）

電圧が3.0Vに達すると、電圧は一定のまま電流が減少し始め、

電流が200mAに低下するとステップは終了します。このステップで電流値が設定されない場合は、開始電流放電値はフルスケール電流に達する可能性がある（初期電圧による）。このステップハードウェアのサポートが必要です。

ID	Step Name	Step Time(hh:mm:ss.ms)	Voltage(V)	Current(mA)	Cut-off Curr(mA)	Capacity(Ah)	Power(W)	Other
	CCCV_DChg		3.5	1200	10			

図3.5.13

CCCV\_DChg:設定電圧まで電圧が下がると定電流値で放電し、  
電圧は一定のまま、電流は徐々に減少し、その後、  
カットオフ電流まで低下すると終了します。上図に示すように、バッテリーは1200mAで放電し、  
電圧が3.5Vに達すると減少し、電流が10mAに低下するとステップが終了します。

## 3.6.設定

ステップを設定する際、ステップファイル内の保護パラメータに加えて、以下も設定できます。  
高度な保護パラメータ。他のコンピュータでステップファイルを編集し、ローカルにコピーしま  
す 高度な保護パラメータをマージするサーバー。



注意:保護の設定は、テスター全体または  
ユニット全体が起動します。

操作は以下のとおりです。

1. ひよこの「メニュー」 -- 「設定」 -- 「保護パラメータ設定」(下図参照)

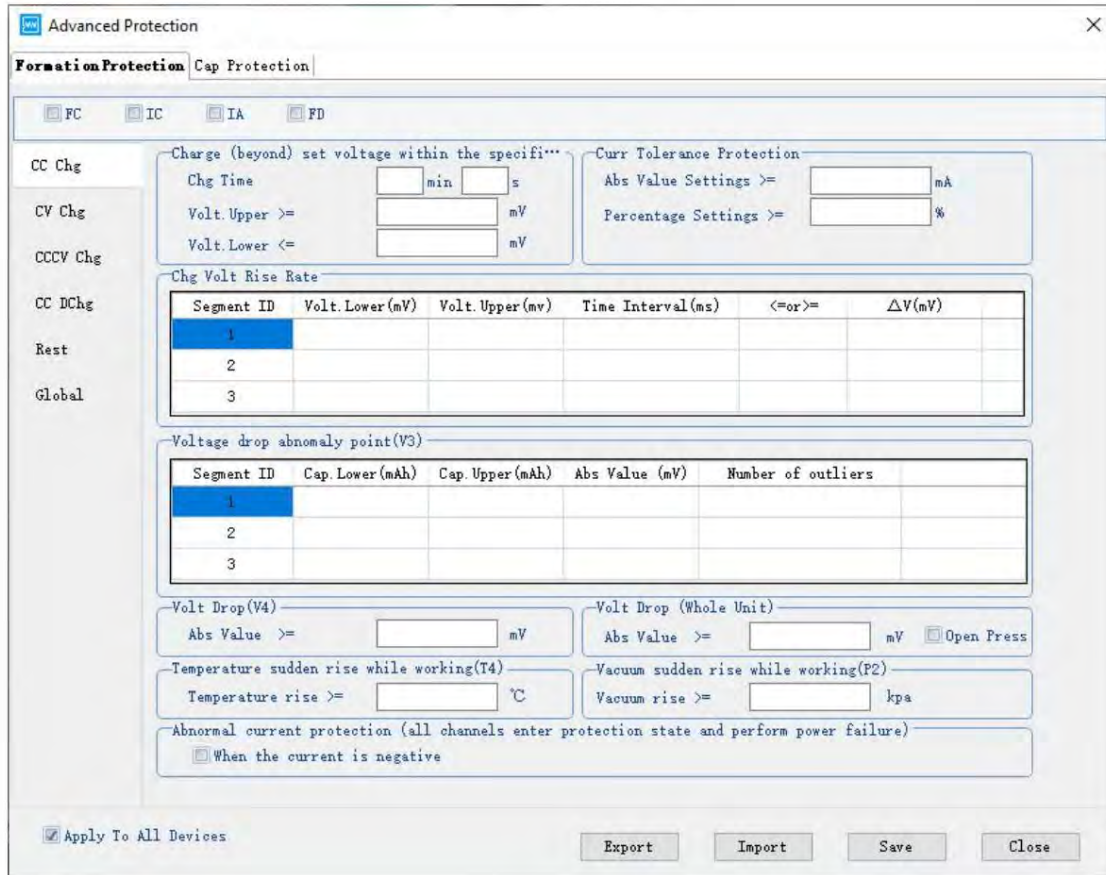


図3.6.1 高度な保護パラメータ設定

2. システム設定で高度な保護パラメータを読み込むようにシングルポイント起動を設定できます。設定後、シングルポイント起動は高度な保護パラメータをステップファイルに自動的にマージします（次の図に示すように）



図3.6.2 単一点荷重の先進保護パラメータ

注 :高度な保護パラメータの詳細な意味については、  
「高度な保護パラメータ」ドキュメント。

### 3.6.1. プロセスタイプの設定

下図のように、左側のリストに使用したいプロセスタイプを入力し、「>」、「>>」をクリックしてタイプを左側のリストから右へ移動します。「<」、「<<」をクリックして右側のリストから左へ移動します。右側のリストのプロセスタイプは、形成プロセスタイプかグレーディングプロセスタイプかを選択できます。

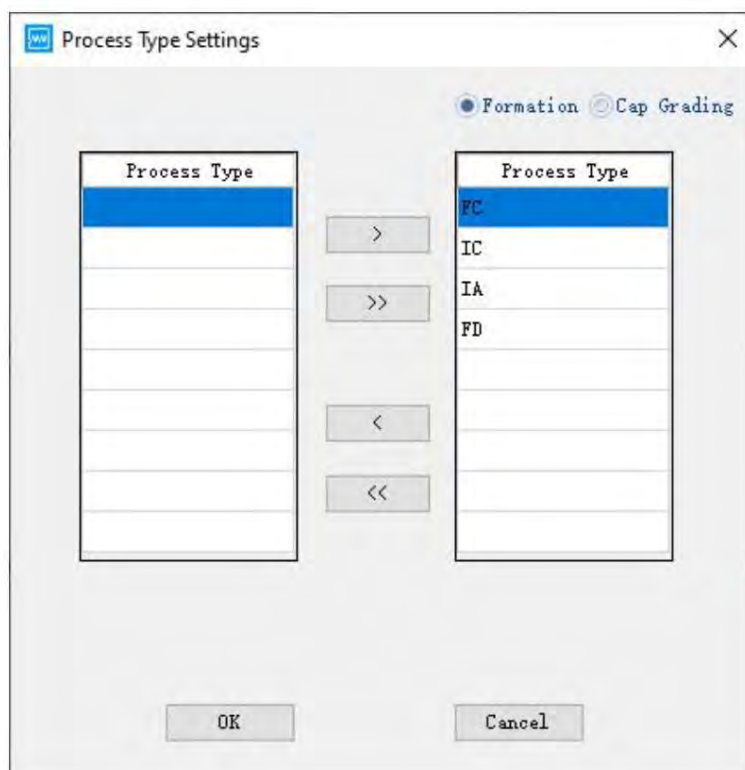


図3.6.3 プロセスタイプの設定

### 3.6.2. システム設定

ソフトウェアを初めて使用する場合は、システム設定インターフェイスが表示されます。それ以外の場合は、メニューバーをクリックしてシステム設定を呼び出すこともできます。

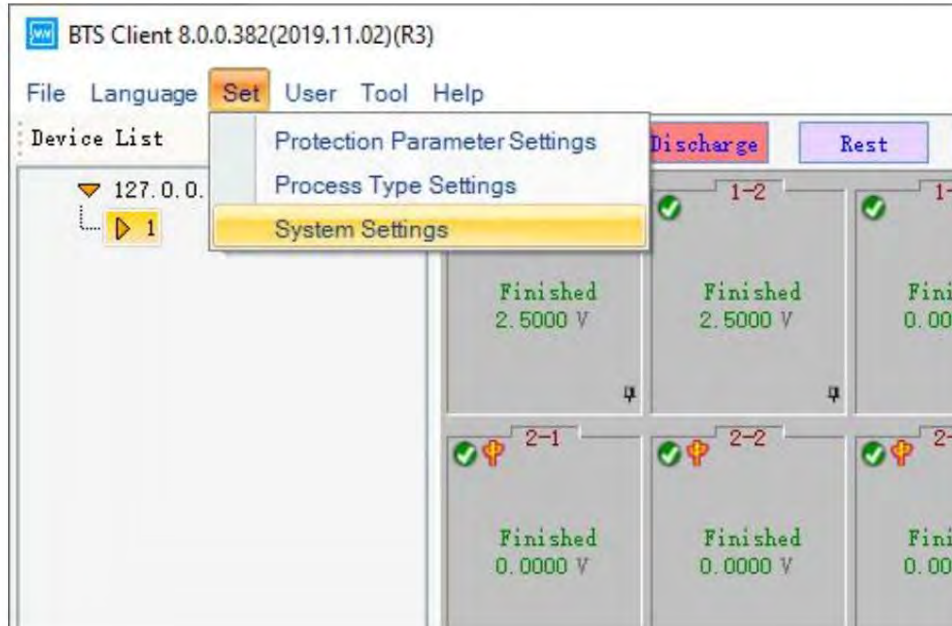
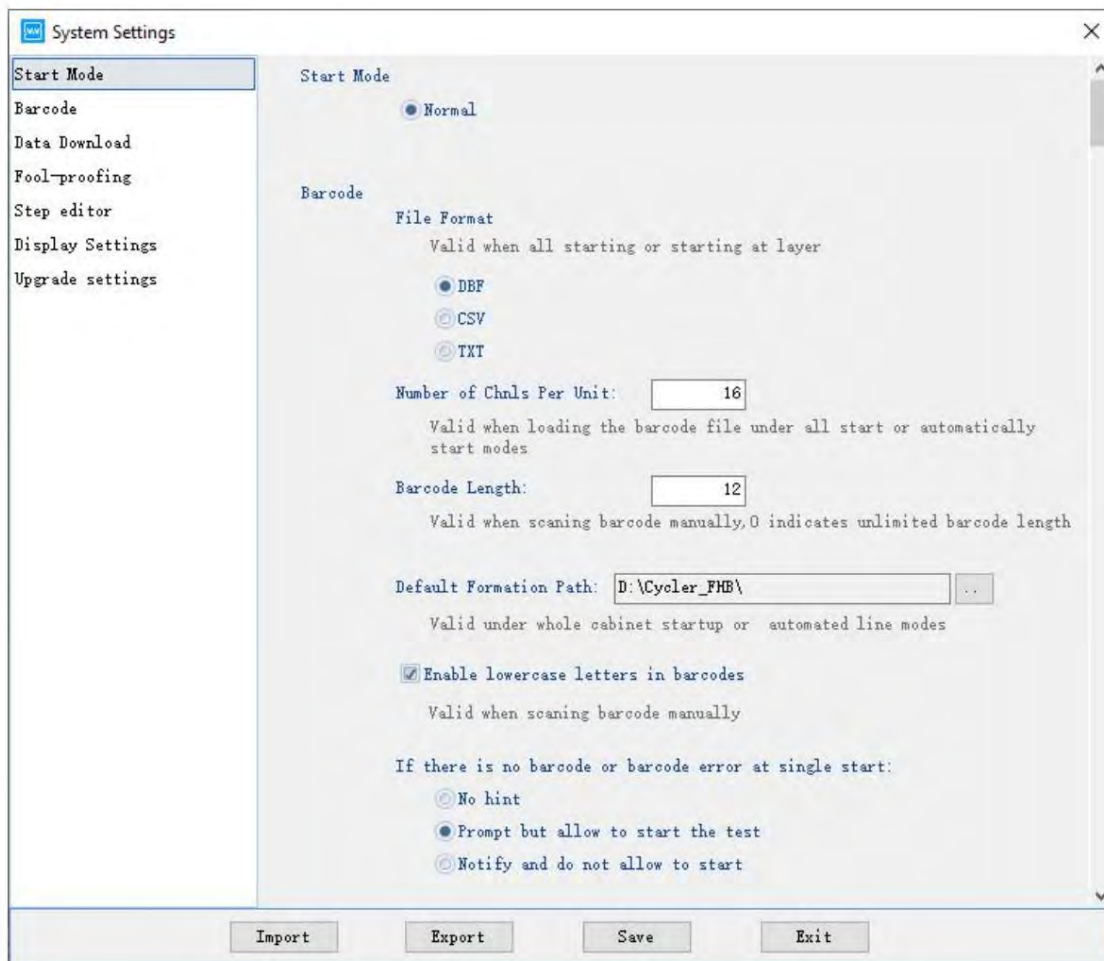


図3.6.4 メニューバーから設定システムを選択

1. 起動モード登録後、

起動モードの種類を選択し、クライアントソフトウェアを再起動します。(次の図を参照)



## 2. バーコード

バーコード インターフェースでは、バーコード形式、チャンネル数、バーコードの長さ、デフォルトのグレーディング カテゴリ パスを選択できます。また、小文字が許可されているかどうか、バーコード エラーがある場合やバーコードがない場合に単一ポイントを起動できるかどうかも確認できます。完了したら、「保存」をクリックします。(次の図を参照)

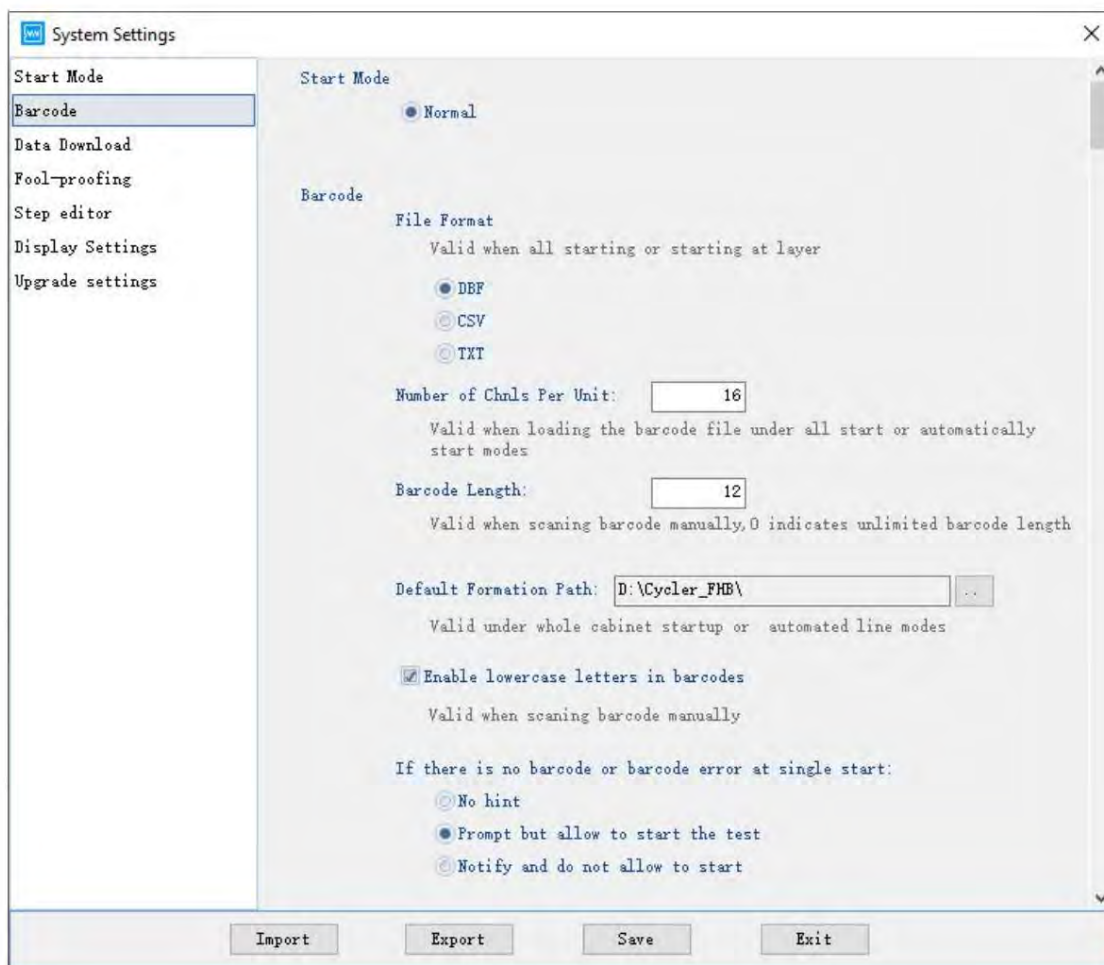


図3.6.6 バーコード設定ウィンドウ

## 3. データのダウンロード

ファイル形式、エクスポート モード、エクスポート方法などを設定できます。完了したら、「保存」をクリックします。(次の図を参照)

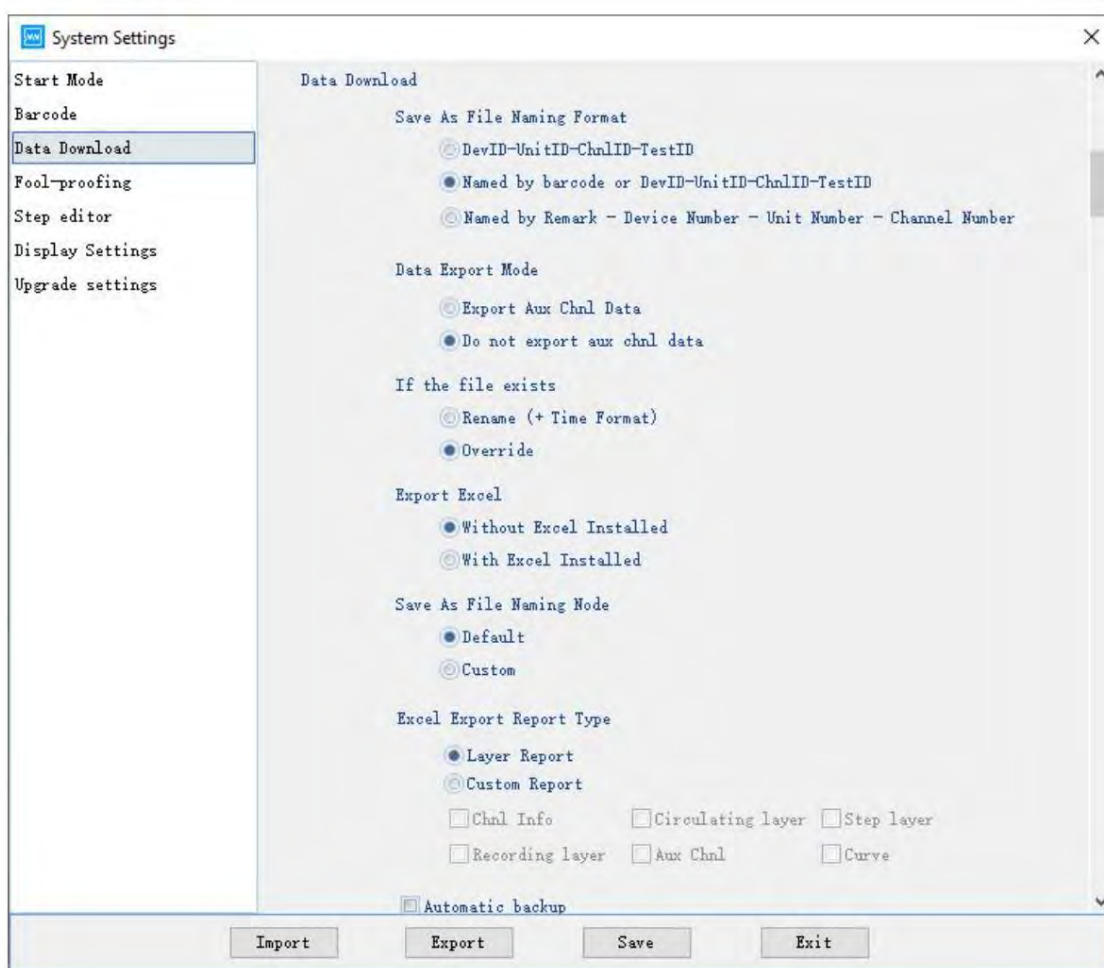


図3.6.7 データダウンロードウィンドウ

#### 4. フールプルーフ設定スタート

アップテストチャンネルには、保護のプロンプトまたは開始の有無、スタートアップテストにパスワードが必要かどうか、シングルポイントスタートアップで高度な保護パラメータがロードされるかどうか、ソフトウェアを終了するときにパスワードの確認が必要かどうかなどの機能があります。フルプルーフ設定が完了したら、「保存」をクリックします。(次の図を参照)

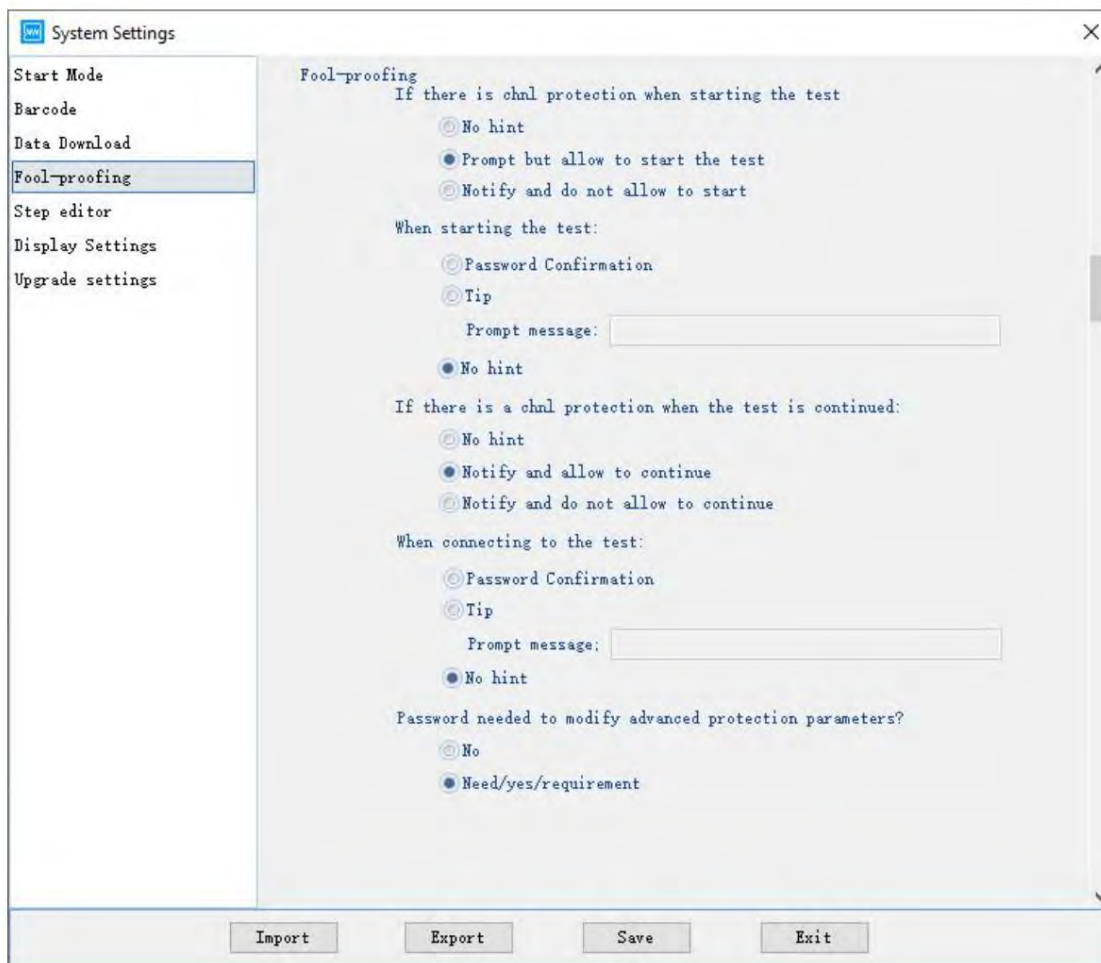


図3.6.8 フールプルーフ設定ウィンドウ

#### 5. ステップ編集以

下の設定が含まれます: ステップパラメータ、ステップタイプ、ステップパラメータの必須条件、作成者、バッチ番号、備考、デフォルトの電圧および電流の上限と下限の保護、デフォルトおよび最小ステップ間隔、カットオフ電流、単一ステップで高度な保護パラメータを編集できるかどうかなど。終了したら、「保存」をクリックします。(次の図に表示)。

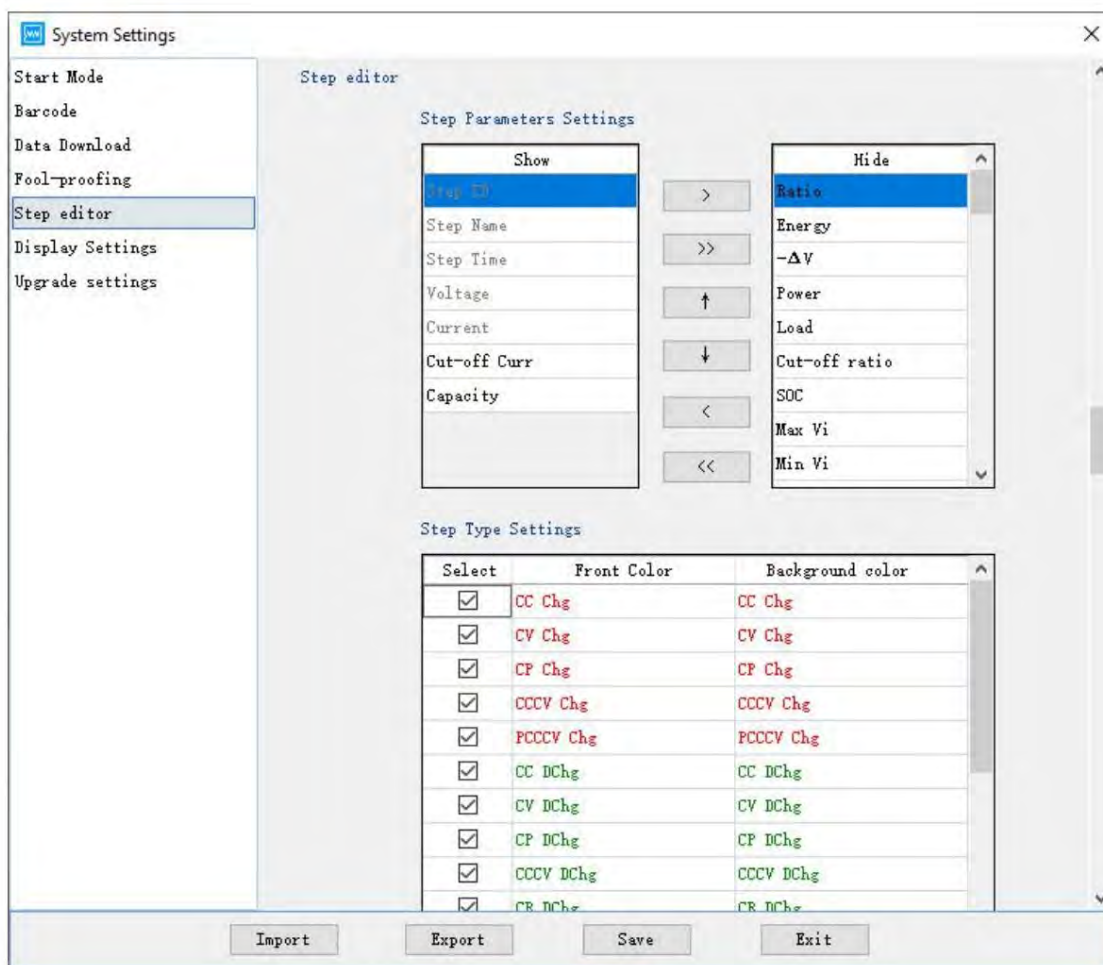


図3.6.9 ステップ編集ウィンドウ1

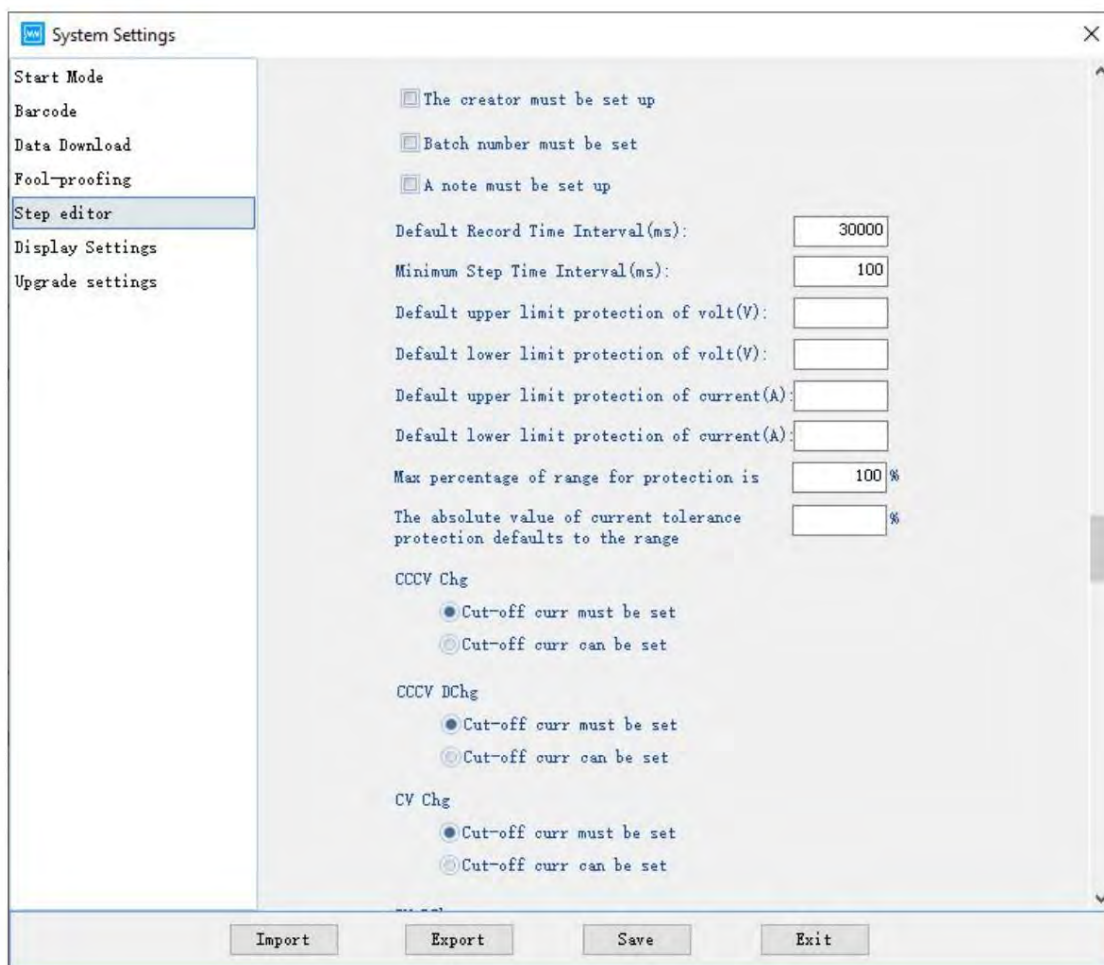


図3.6.10 ステップ編集ウィンドウ2

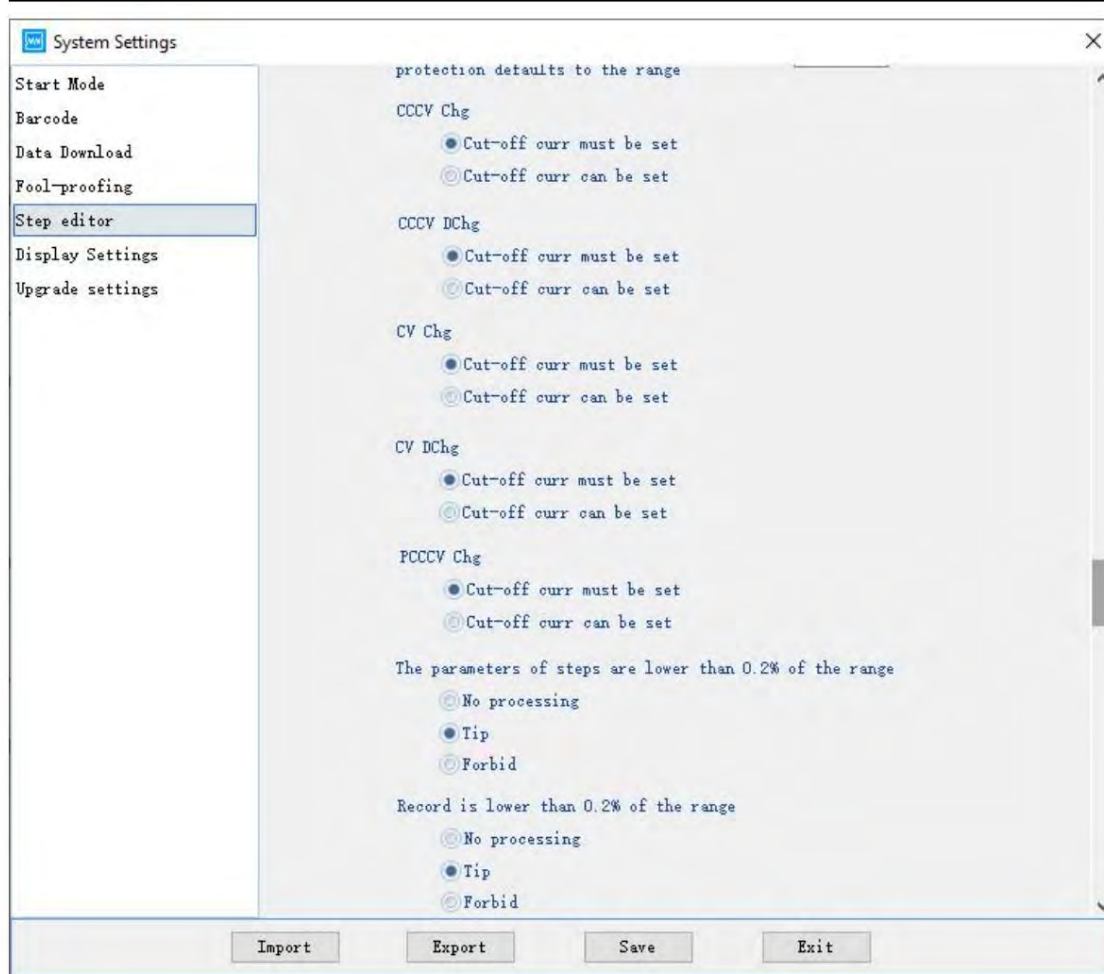


図3.6.11 ステップ編集ウィンドウ3

6. 表示設定表示設定（デバイスの種類を表示するかどうかなど）、ビュー設定（大きい画像と小さい画像、リスト、並べ替えなど）、1行あたりのチャンネル番号表示（フィクスチャをクリックしたときに使用）、チャンネル分割線、右クリックメニュー機能、チャンネル色の6つの部分で構成されています。完了したら、「保存」をクリックします。（次の図に表示）

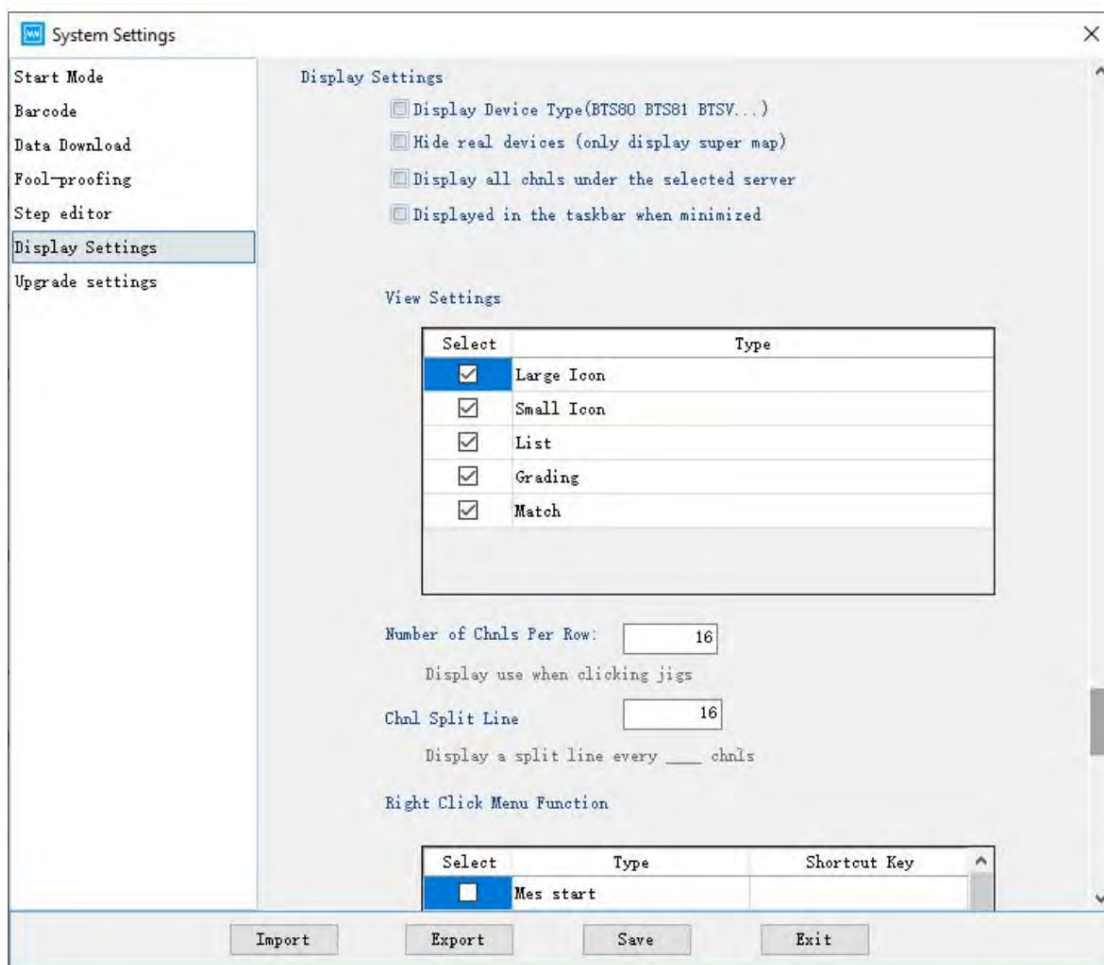


図3.6.12 表示設定ウィンドウ

## 3.7.ユーザー管理

### 3.7.1. ユーザーログイン

ユーザーは、クライアント ソフトウェアに管理者としてログインするまで操作できません。

ログイン手順

1. IPを左クリックし、「ユーザー」と「ユーザーログイン」をクリックします。(次の図を参照)

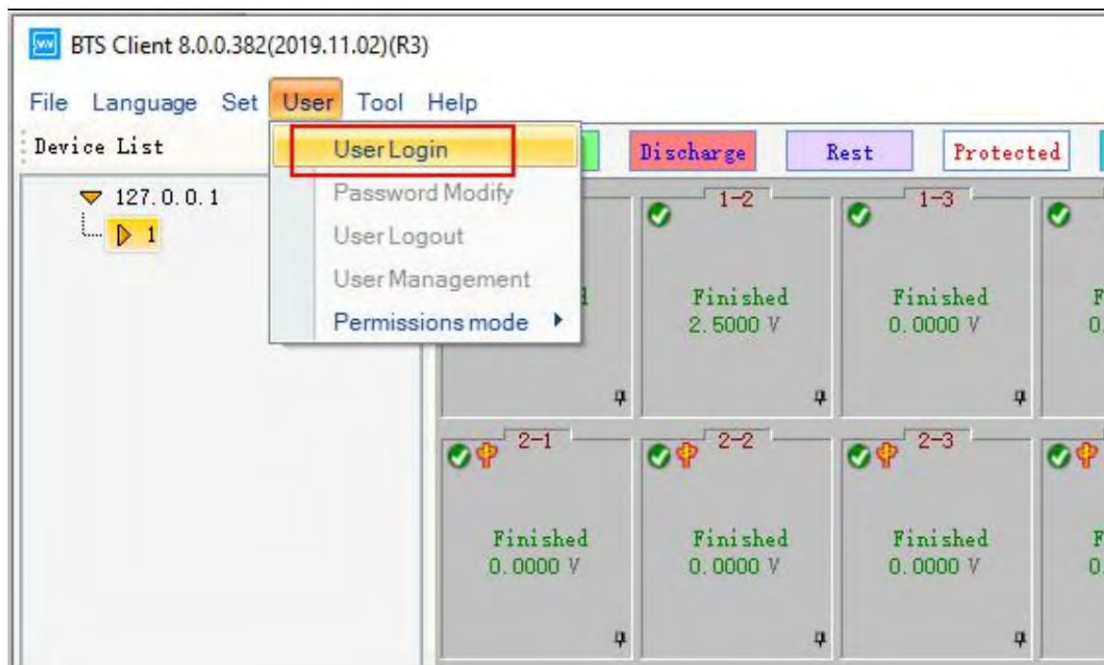


図3.7.1 ユーザーログインウィンドウ

2. ユーザーログインウィンドウに「ユーザー」と「パスワード」を入力します。(デフォルトのユーザー: admin、デフォルトのパスワード:neware 「パスワードの変更」で変更し、「OK」をクリックできます。)(次の図を参照)

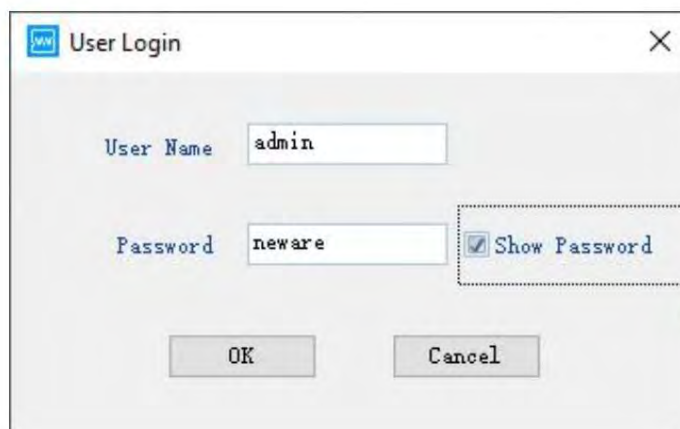
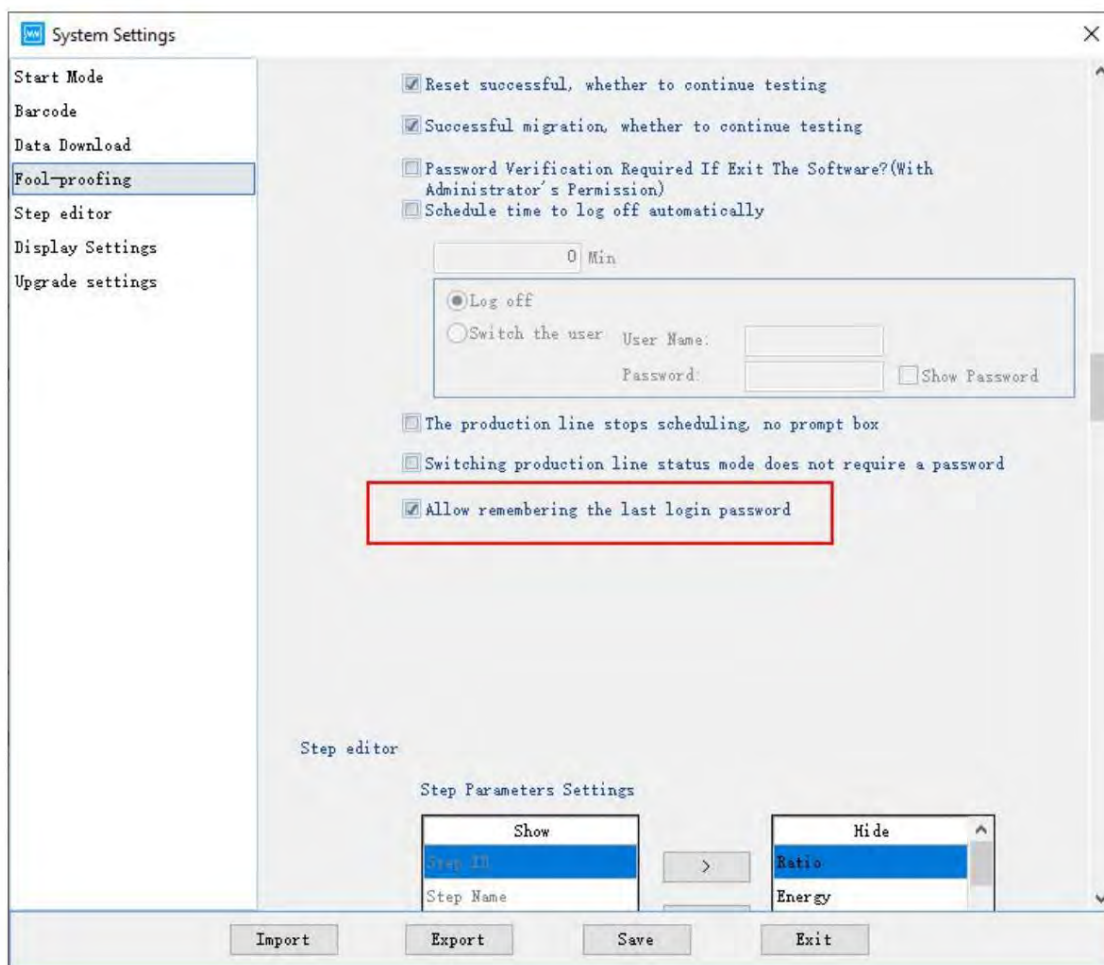


図3.7.2 ユーザーログインウィンドウ

「システム設定」→「フルブーループ設定」から前回のログインパスワードを記憶することができます。(下図参照)



### 3.7.2. パスワードの変更

ユーザーはデバイスのパスワードを変更できます。

変更手順: 「ユーザー」→ 「パスワードの変更」をクリックし、元のパスワードを入力した後、新しいパスワードを入力する必要があります。(次の図を参照)

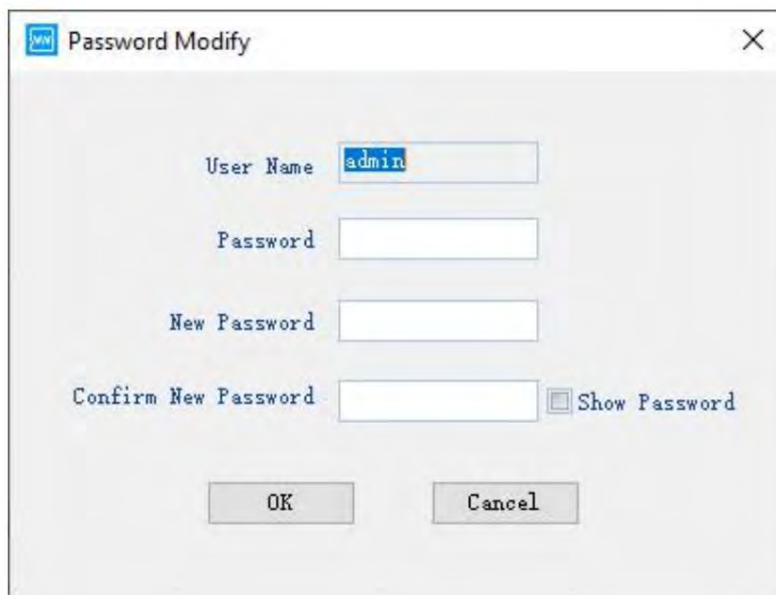


図3.7.3 パスワード変更ウィンドウ

### 3.7.3. ユーザーログアウト

ユーザーはデバイスの現在のユーザー アカウントからログアウトできます。

ログアウト手順:

「ユーザー」→「ユーザーログアウト」をクリックします。プロンプトダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。ユーザーアカウントがログアウトします。

正常に終了しました。操作を行う場合は再度ログインしてください。

### 3.7.4. ユーザー管理

現在ログインしているユーザーが管理者の場合、権限を追加、削除、および設定できます。

一般ユーザー向け。

指示を管理する:

クリック 「ユーザー」→「ユーザー管理」(下図参照)

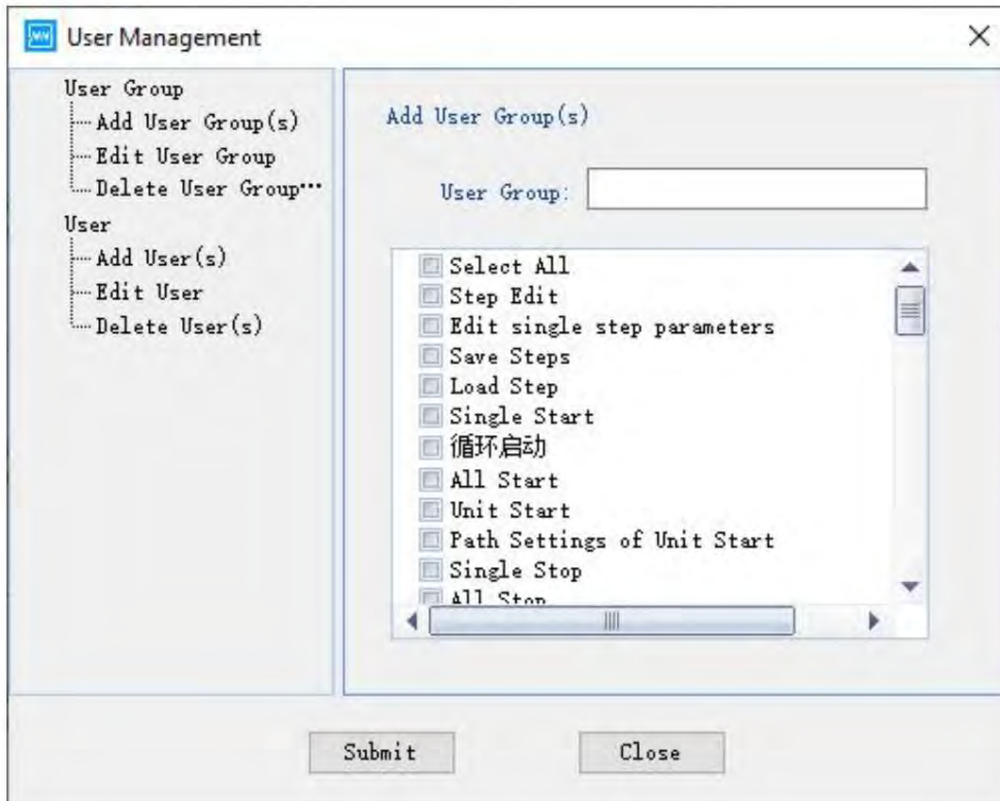


図3.7.4 ユーザー管理

1. 新しいユーザーグループの追加: 新しいユーザーグループの権限を設定します。(次の図に示されています)形)

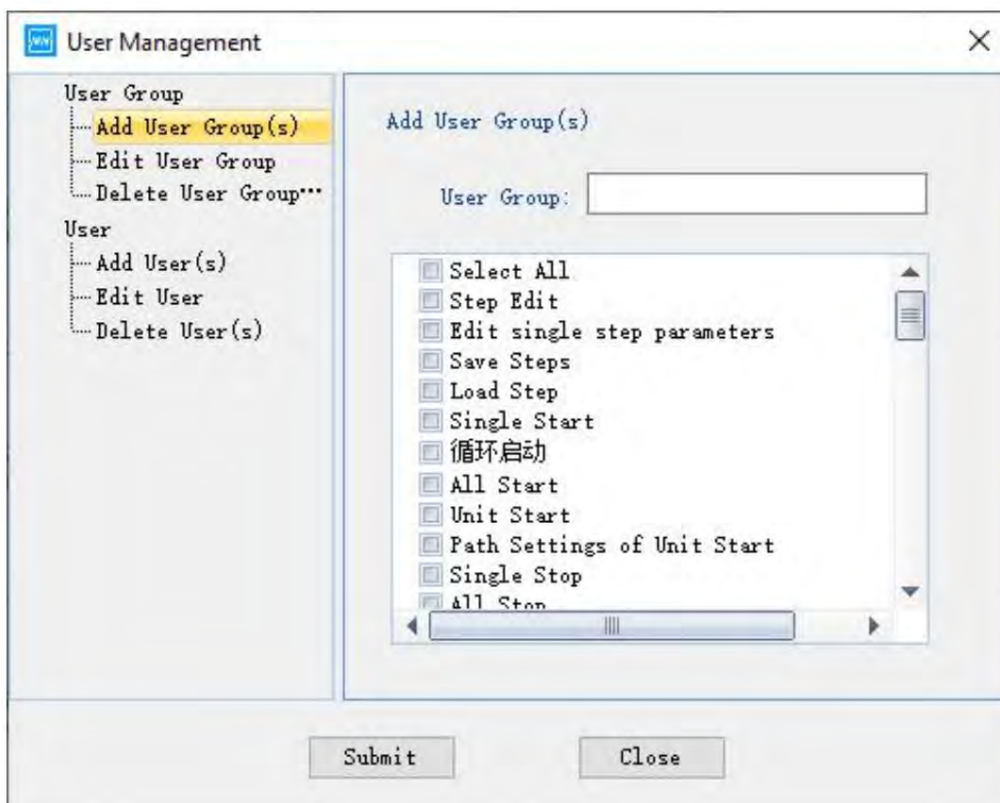


図3.7.5 権限設定

2. ユーザーグループの変更: 変更するユーザーグループを選択し、  
必要のない権限がある場合は、「送信」をクリックします。(次の図を参照)

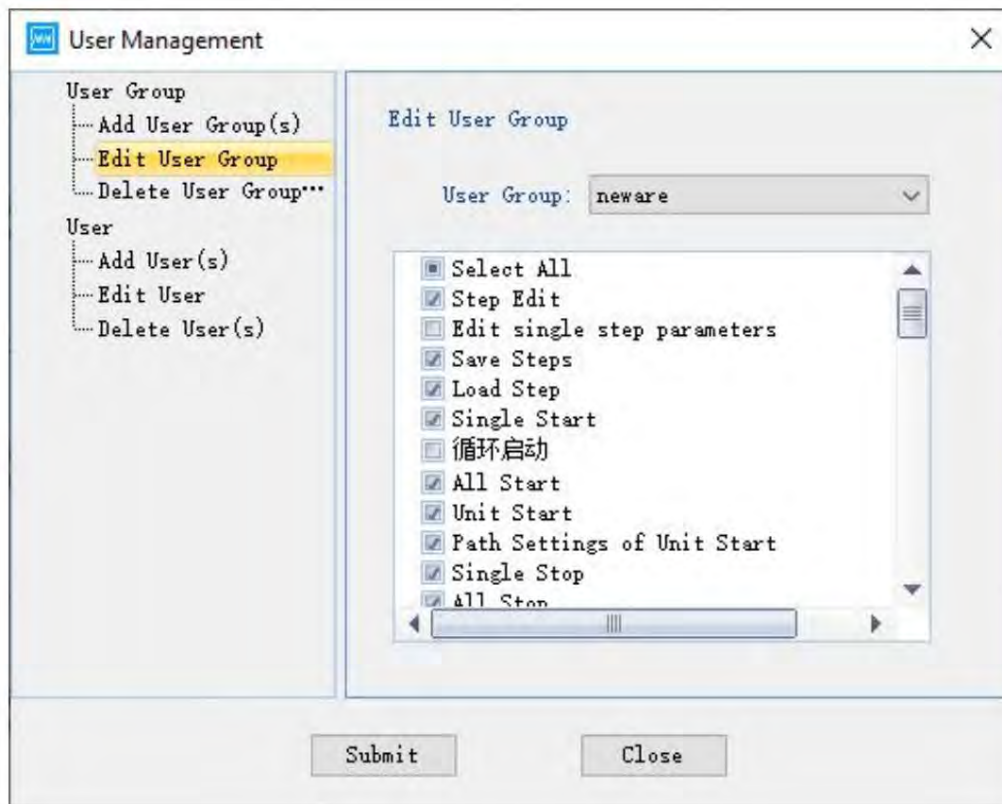


図3.7.6 権限の変更

3. ユーザーグループの削除: 削除するユーザーグループを選択し、「送信」をクリックします。(次の図を参照)

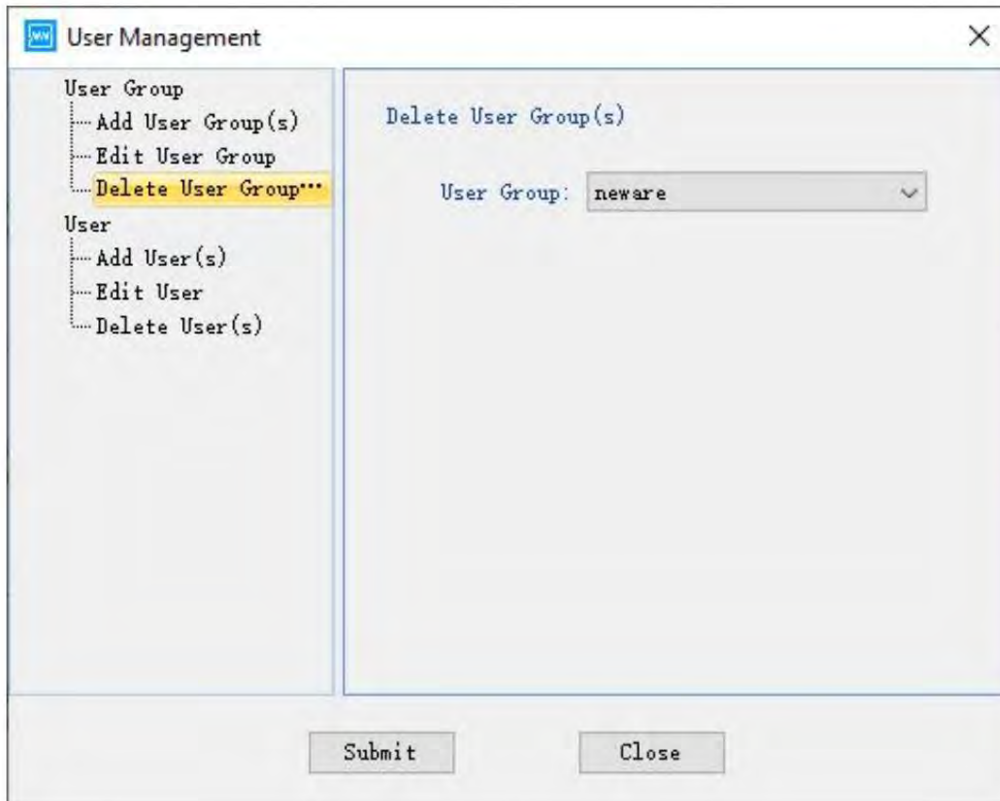


図3.7.7 ユーザーの削除ウィンドウ

4. ユーザーの追加: 新しいユーザーのユーザーグループを選択し、ユーザー名とパスワードを入力して、「送信」をクリックします。(次の図を参照)

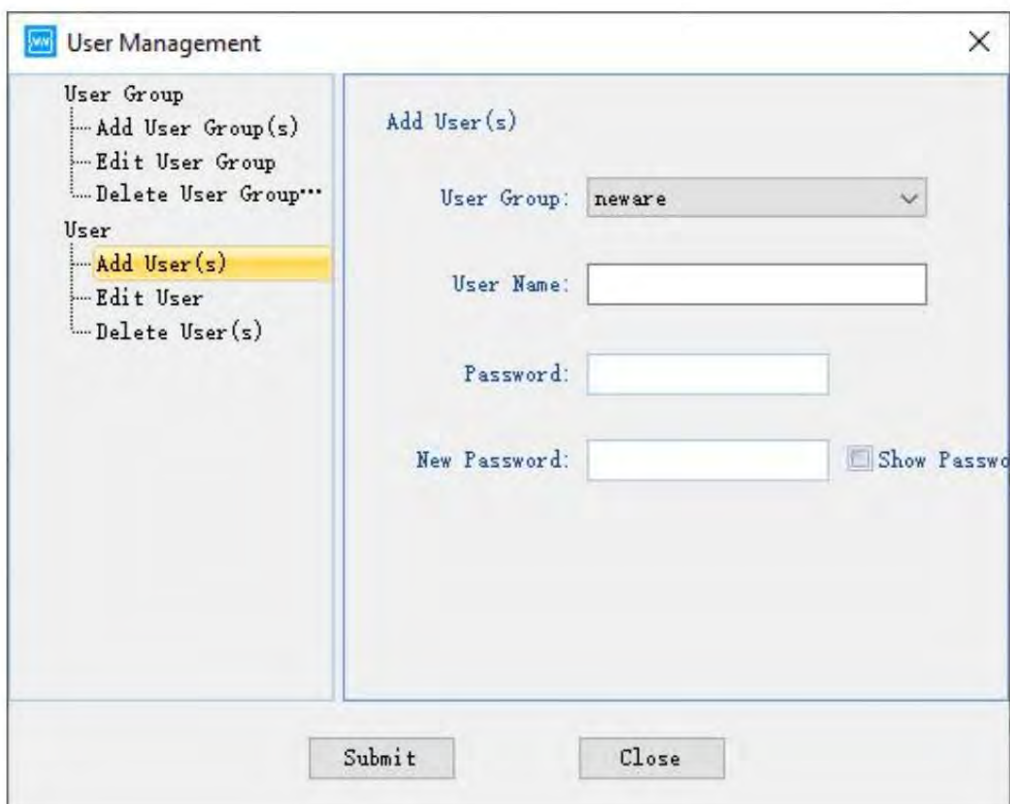
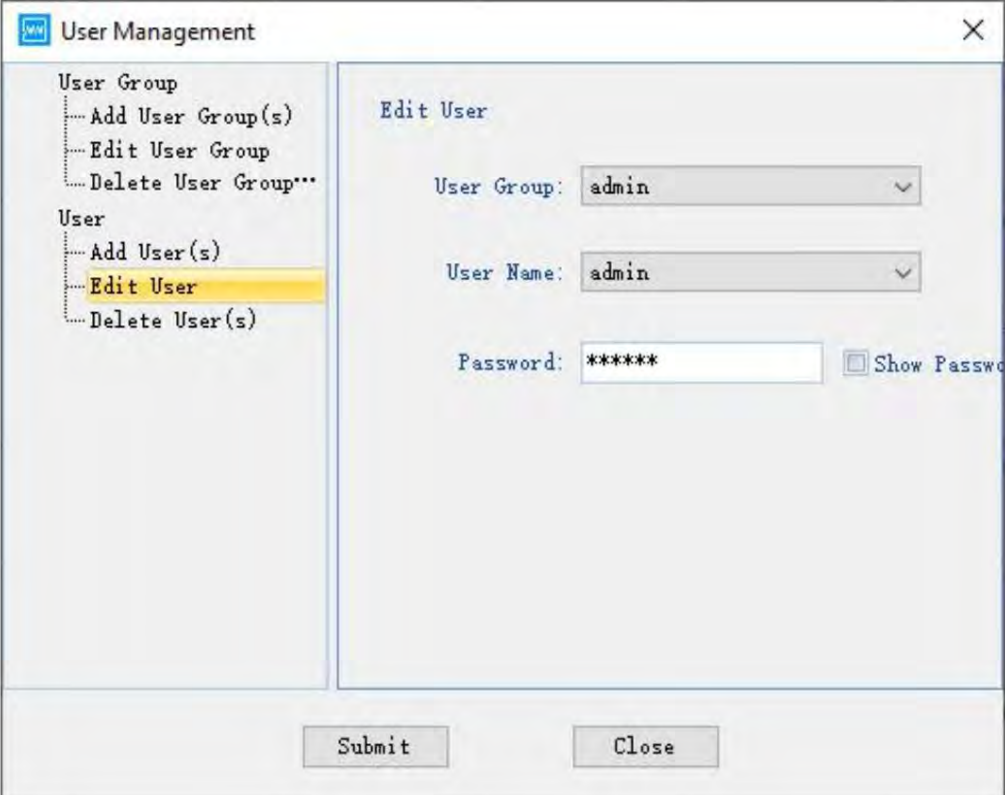


図3.7.8 ユーザー追加ウィンドウ

5. ユーザーの変更: ユーザーグループ名とユーザー名を選択し、新しいパスワードを入力して、「送信」をクリックします。

(下図参照)

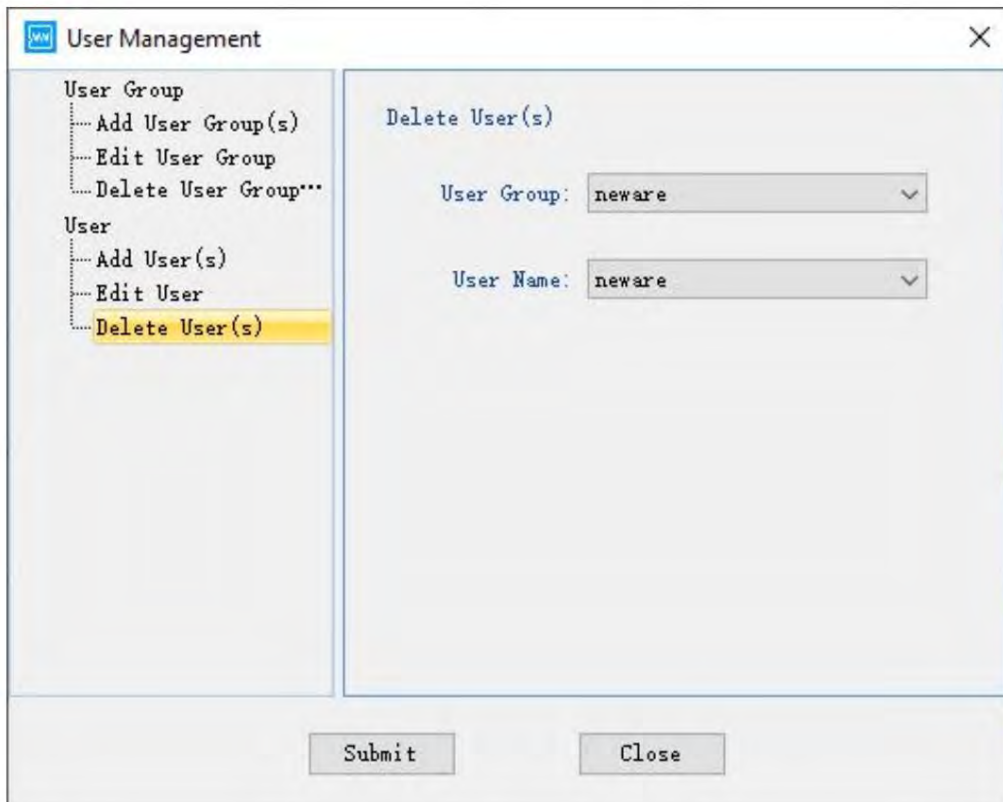


The screenshot shows a window titled "User Management" with a close button (X) in the top right corner. On the left side, there is a tree view with two main categories: "User Group" and "User". Under "User Group", there are three options: "Add User Group(s)", "Edit User Group", and "Delete User Group...". Under "User", there are three options: "Add User(s)", "Edit User", and "Delete User(s)". The "Edit User" option is highlighted in yellow. The main area of the window is titled "Edit User" and contains three input fields: "User Group:" with a dropdown menu showing "admin", "User Name:" with a dropdown menu showing "admin", and "Password:" with a text box containing "\*\*\*\*\*" and a checkbox labeled "Show Password" which is currently unchecked. At the bottom of the window, there are two buttons: "Submit" and "Close".

図3.7.9 ユーザーの変更

6. ユーザーの削除: ユーザーグループ名とユーザー名を選択し、「送信」をクリックします

(次の図)



1.

図3.7.10 ユーザーの削除ウィンドウ

### 3.8.言語の切り替え

クライアント ソフトウェアは、簡体字中国語、繁体字中国語、英語、韓国語の切り替えをサポートします。

切り替え指示:

「メニュー」→「言語」をクリックし、希望の言語を選択します。(次の図を参照)

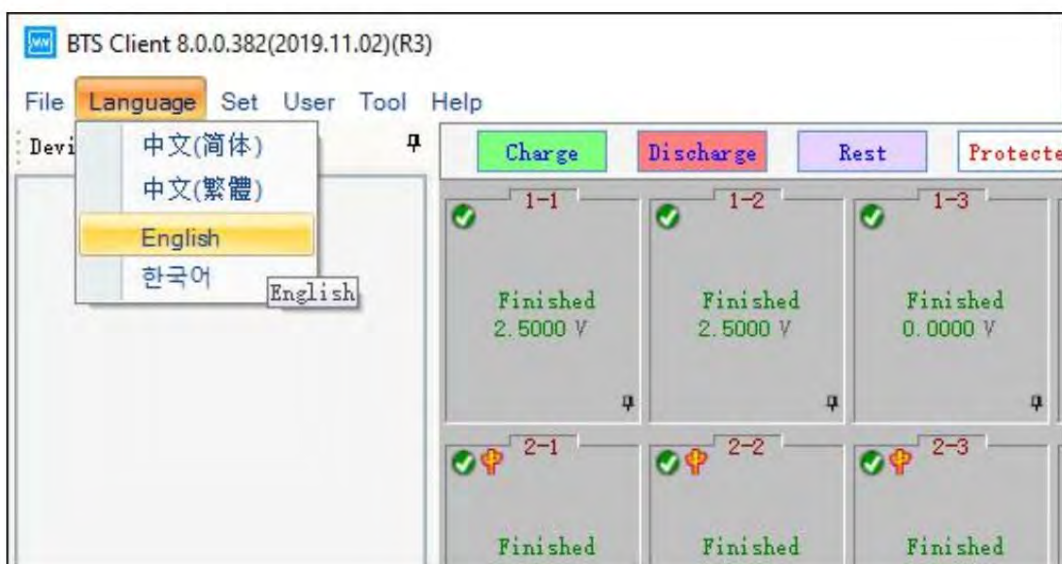


図 3.8.1 多言語切り替え

## 3.9. ツール

「ツール」からBTSシリーズの他のソフトウェアを見つけることができます。BTSDA、オフラインステップなどエディタ、ログソフトウェアをダウンロードします。(次の図に示されています)

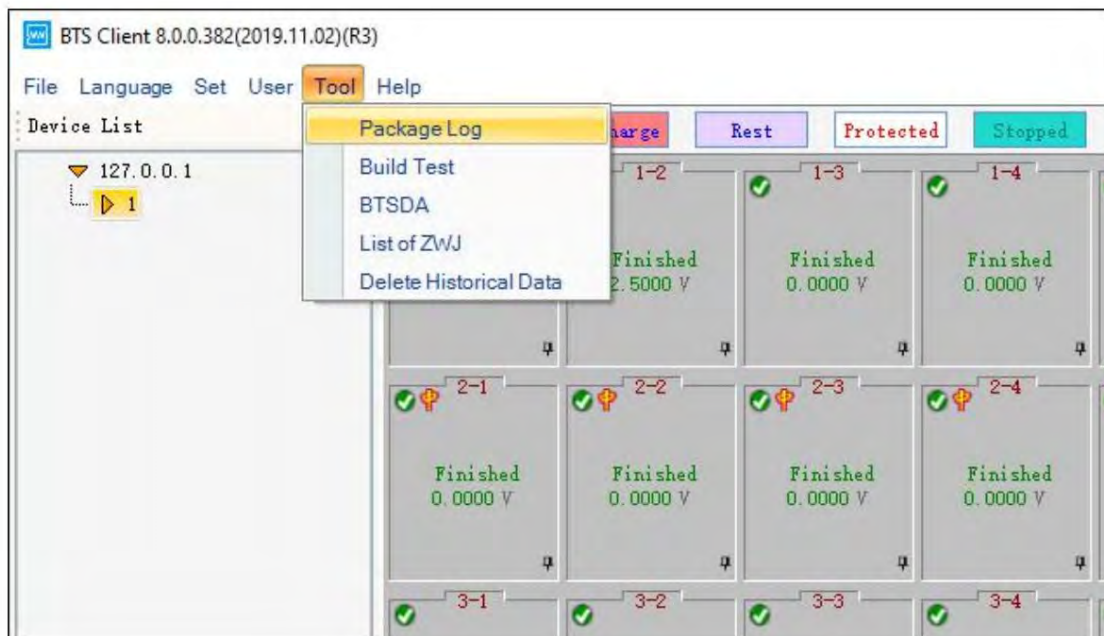


図3.9.1 ツール

### 3.9.1. ダウンロードログ

「ツール」の「ログをダウンロード」を選択すると、サーバーのIP、ログの期間、保存パスを選択できます。ログの内容には、クライアントソフトウェアログとサーバーログが含まれます。(次の図に示されています)

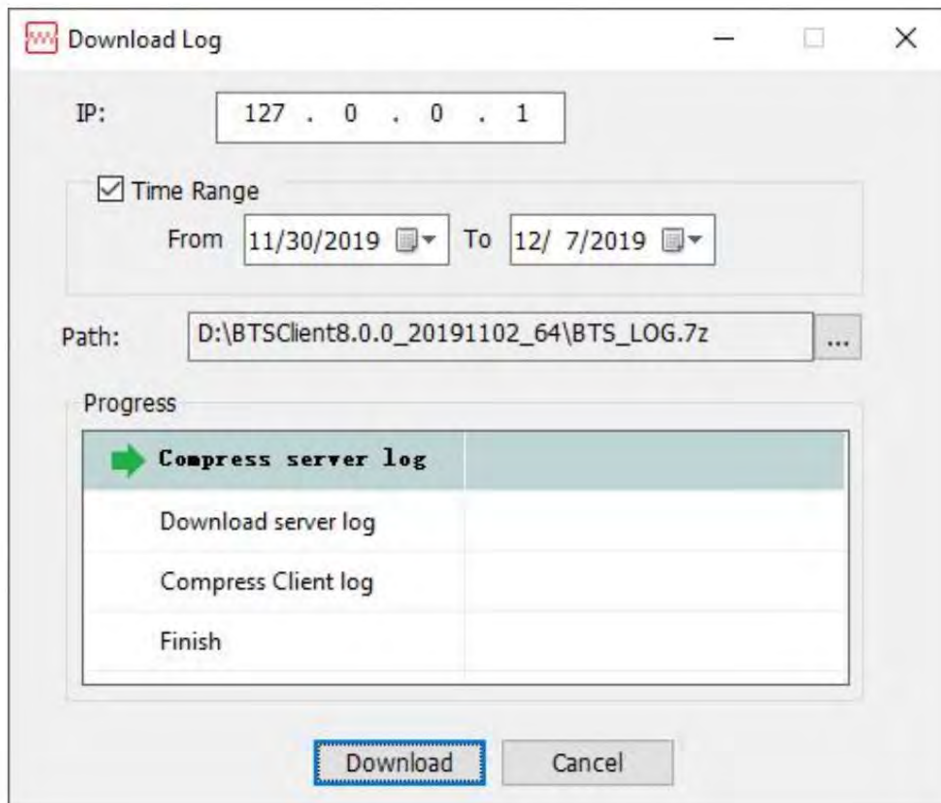


図3.9.1 ダウンロードログウィンドウ

### 3.9.2. ステップエディタ

「ツール」で「ステップ エディター」を選択するか、「BuildTest.exe」をダブルクリックして、オフライン ステップ編集機能を起動します。(次の図を参照)

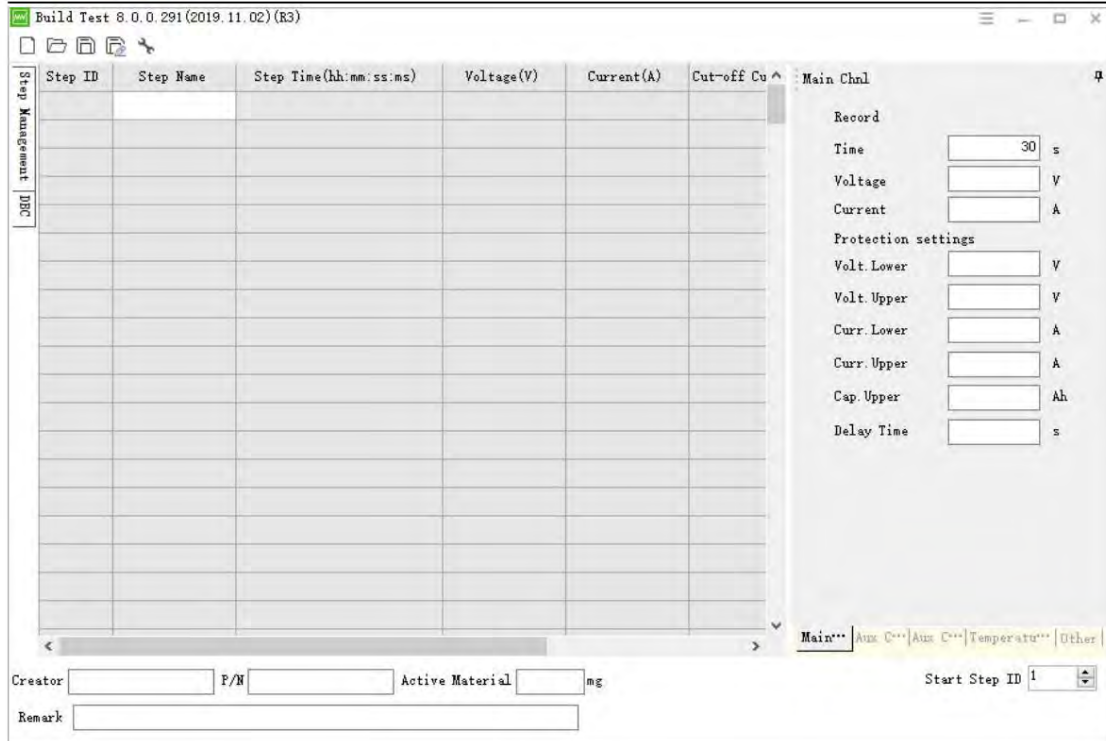


図3.9.1 オフラインステップエディタウィンドウ



注 :ステップエディタの使用法の詳細については、BuildTestユーザーマニュアルを参照してください。

### 3.9.3.インド

1. チャネルデータを右クリックすると、BTSDA ウィンドウが開きます。(次の図を参照)

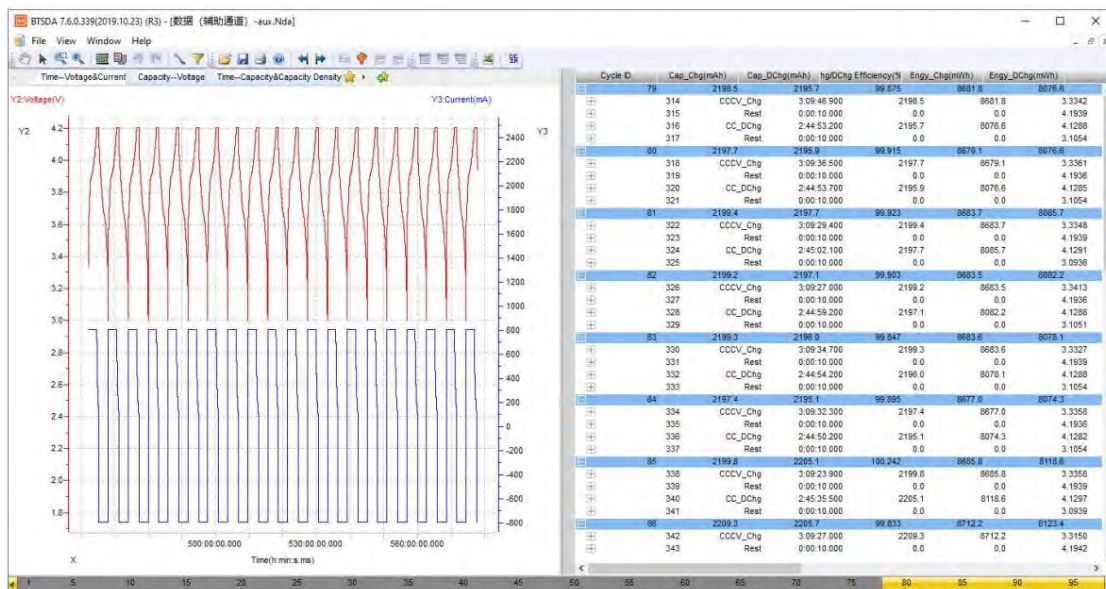


図3.9.1 BTSDAウィンドウ

2. データレポートをエクスポートする方法は次の図に示されています。

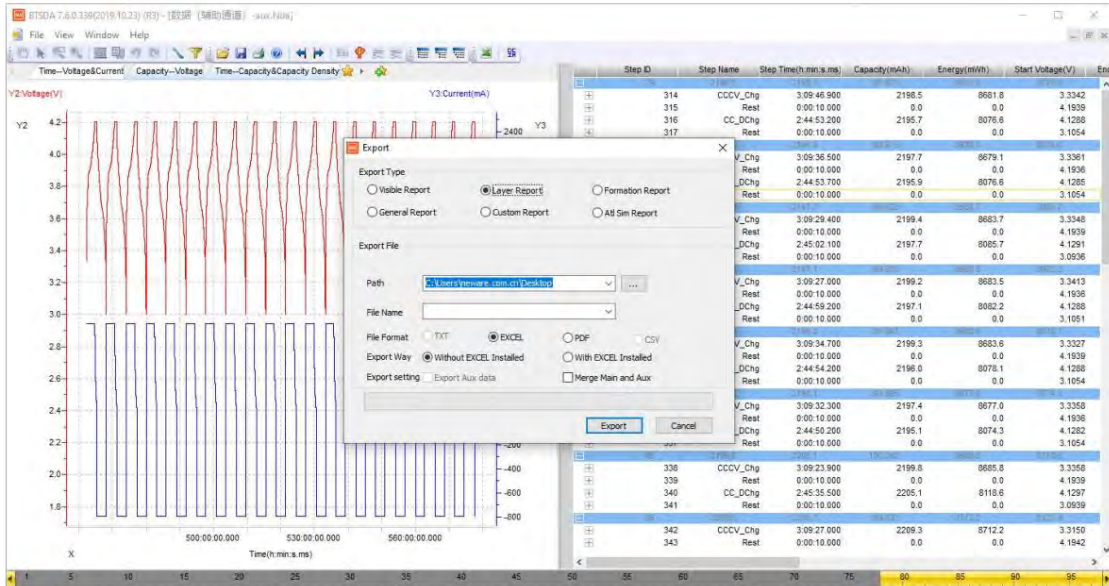
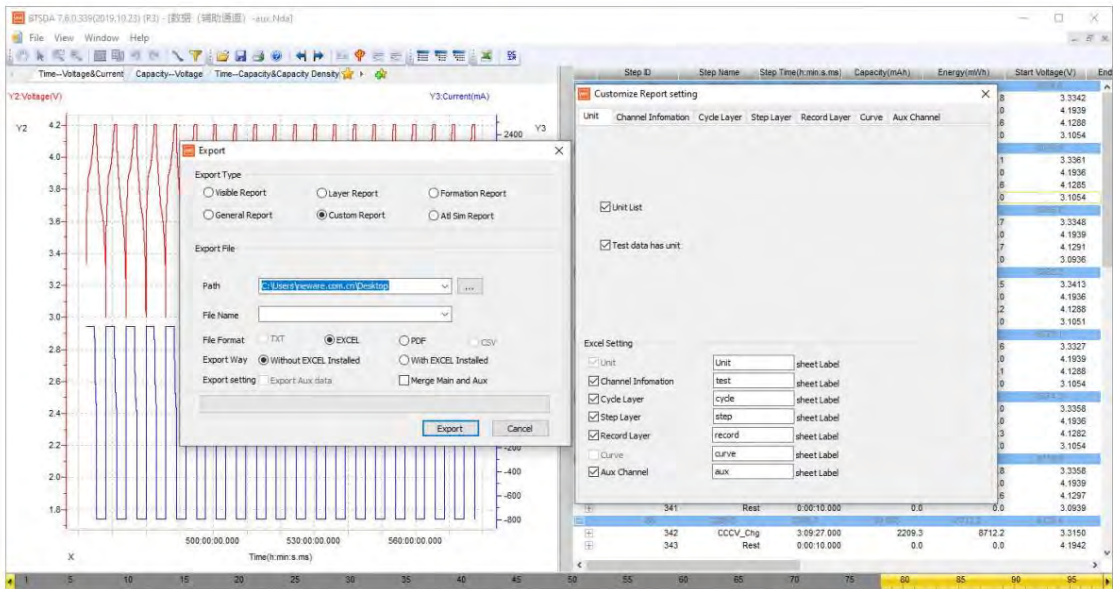


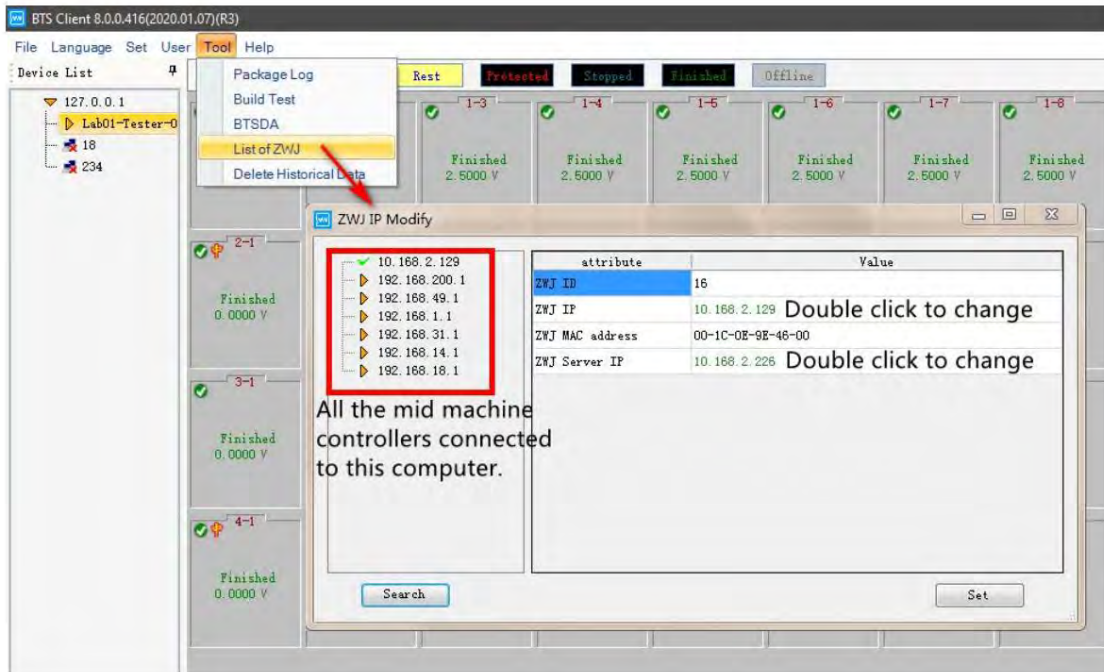
図3.9.1 エクスポートデータレポートウィンドウ

3.データレポートのカスタマイズパラメータ設定 (図参照)



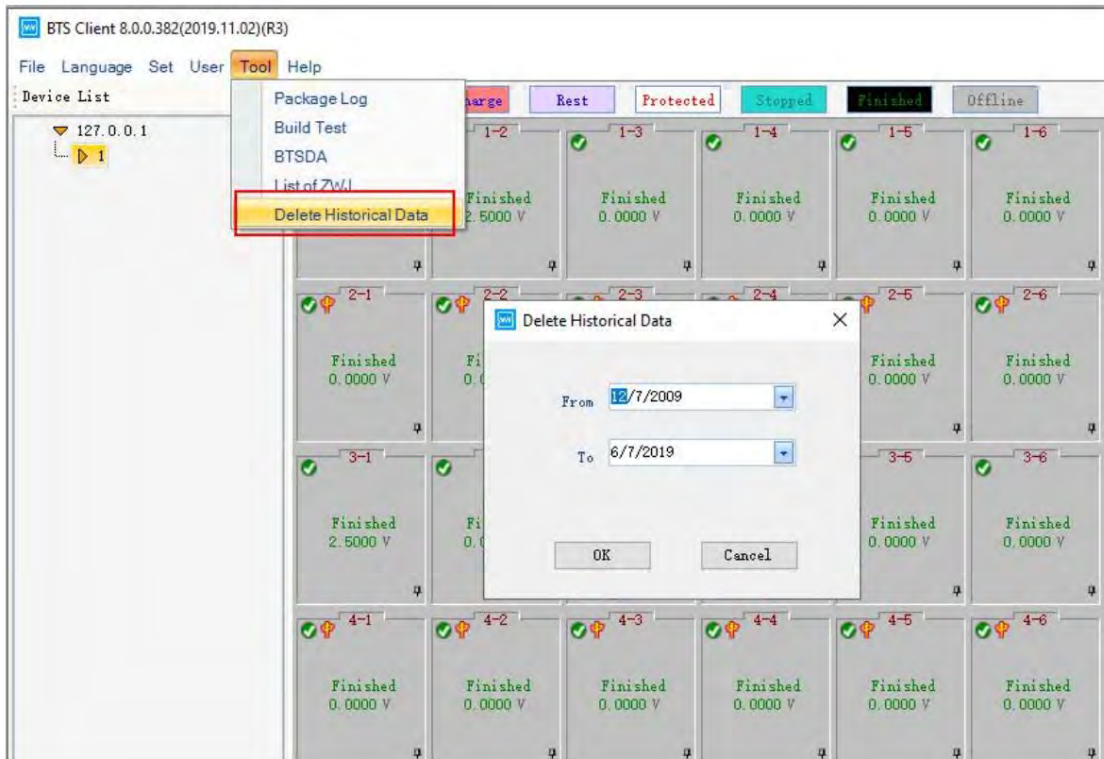
3.9.4. 中間マシンリスト

ミドルマシン リストを開くと、オンラインのミドルマシンが自動的に検索されます。また、ミドルマシンの IP とサーバー アドレスを変更することもできます。(図を参照)



### 3.9.5. 履歴データを削除する

時間範囲を設定してデータを削除します。(図参照)



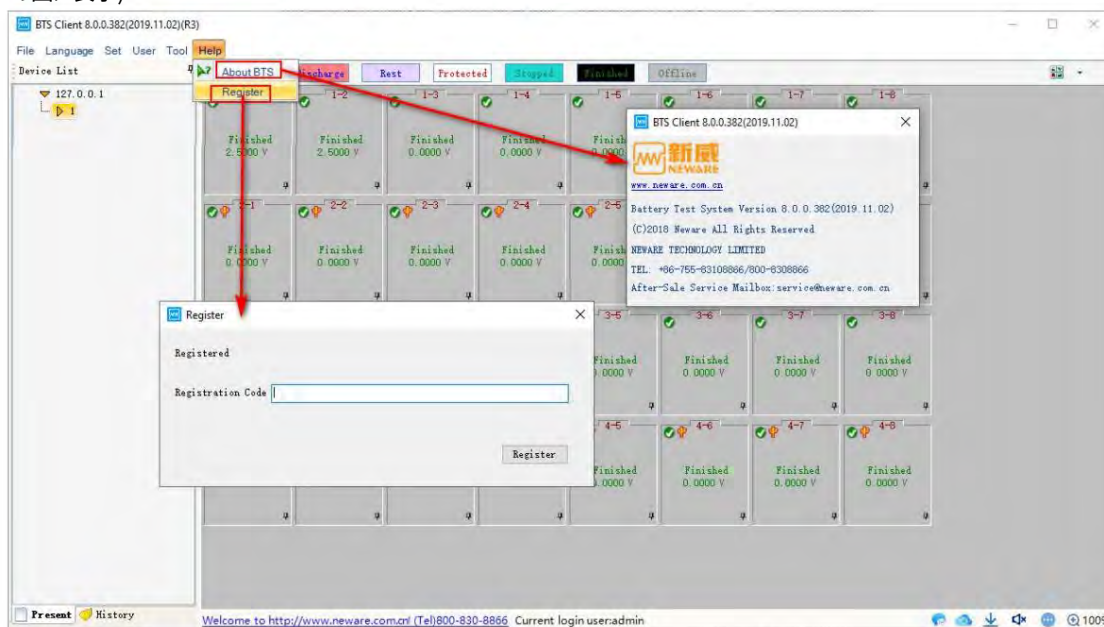
## 3.10.ヘルプ

### 1. BTSについて

このウィンドウには、当社の公式ウェブサイト（直接クリックできます）、バージョン情報、連絡先番号、苦情メールが含まれています。

### 2. 登録

登録機能: 異なる自動化プロジェクトの場合、対応するモードが登録されるまで、正常に表示および使用されません。(次の図に表示)



## 3.11.デバイスリスト

### 3.11.1. サーバーの追加

デフォルトのローカル サービス: 127.0.0.1。他のサービスにアクセスする場合は、任意のサービス IP を選択し、「サーバーの追加」を右クリックします。また、それにメモを追加したり変更したりすることもできます。(次の図を参照)

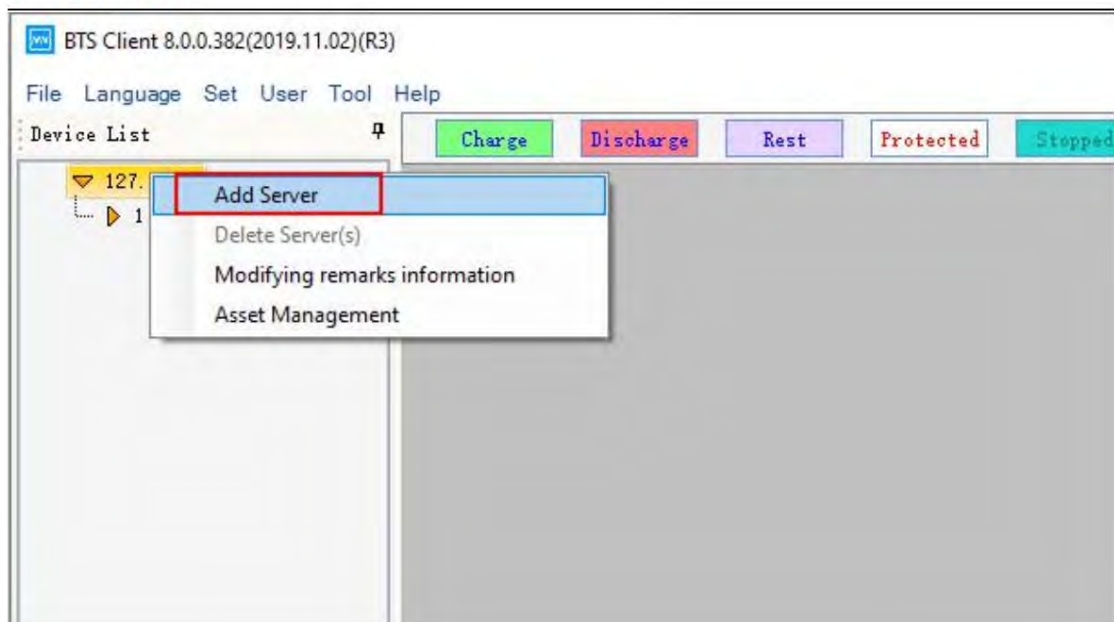


図3.10.1 サーバーの追加

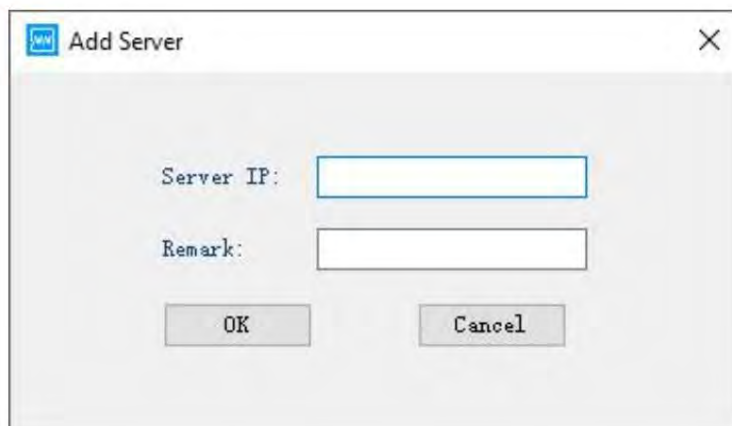


図3.10.2 サーバーの追加

➡ 注意:自動生産ラインモードではサーバーの追加は許可されません

マウスカーソルをサーバーIPに移動すると、サーバーのバージョン情報が表示されます。(次の図)

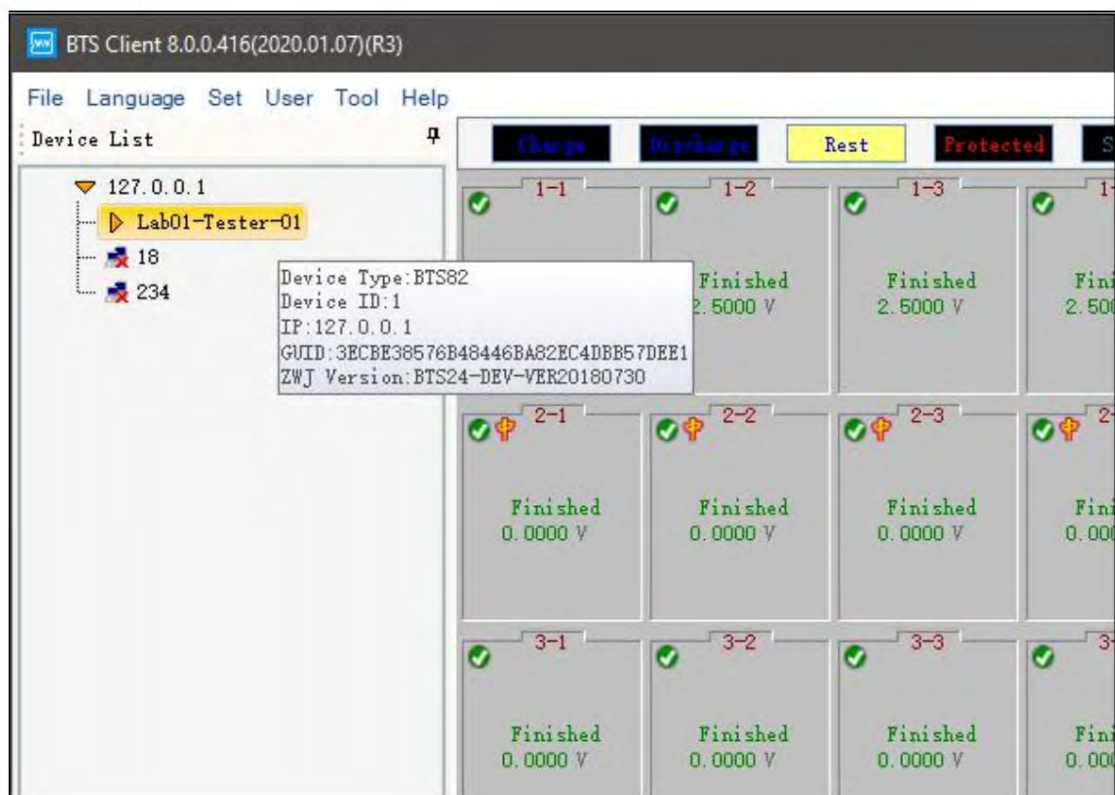



図3.10.3 サーバーバージョン情報

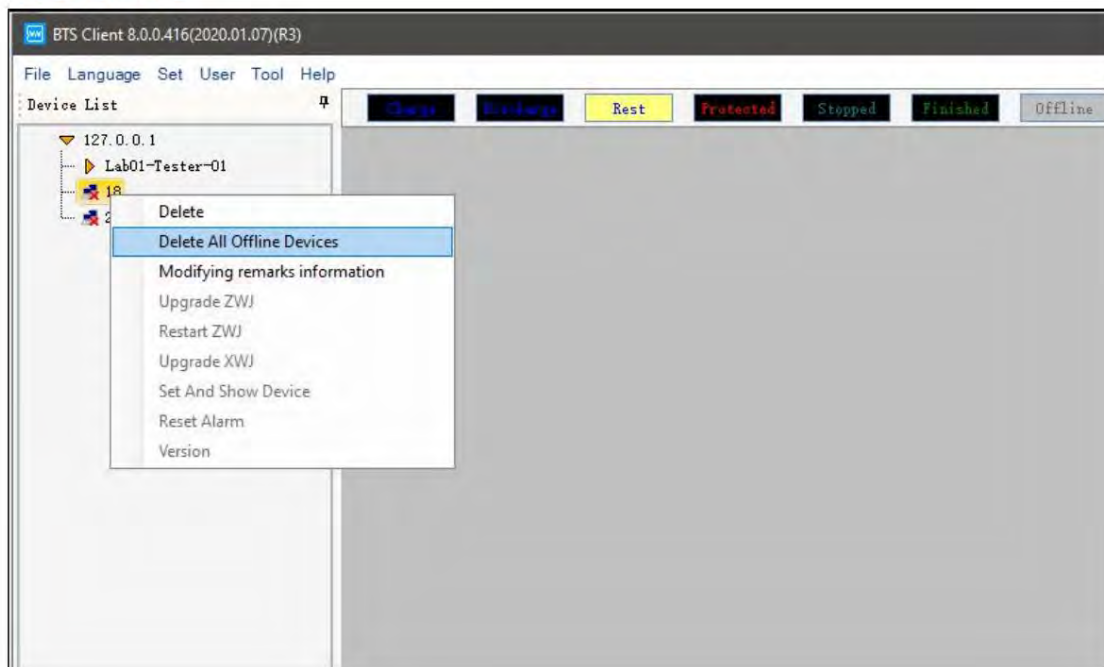
### 3.11.2. オフラインデバイスの削除

 画像はデバイスがオフラインになった後も表示されます。表示したくない場合は、

オフラインデバイスを削除します。

削除命令:

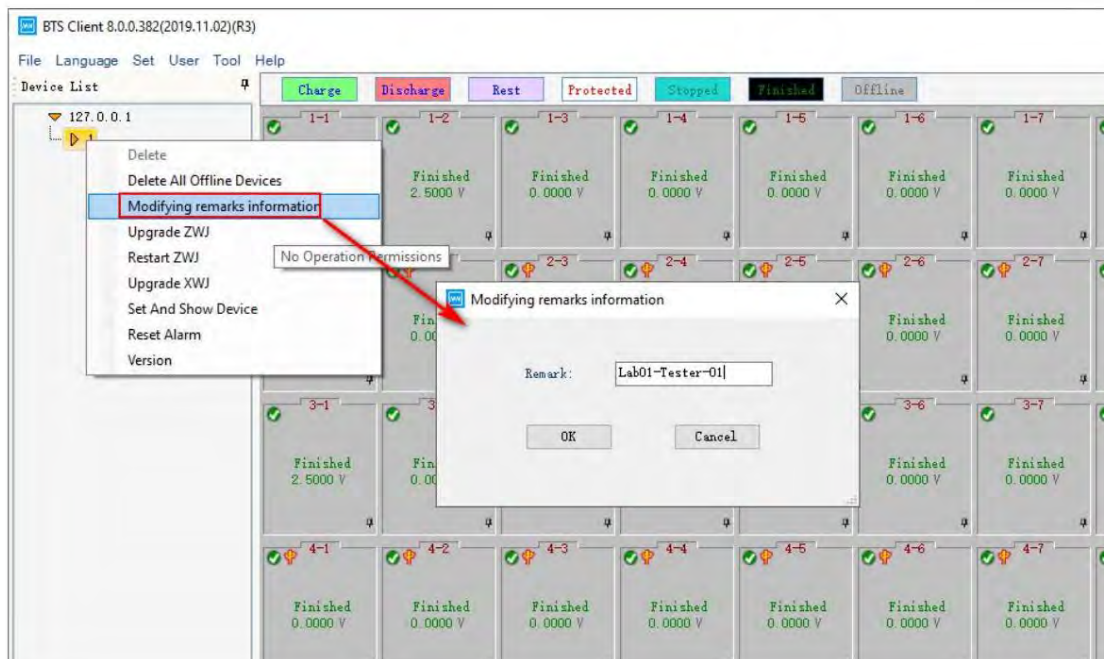
1. デバイスリストからオフラインデバイスを選択します。
2. 右クリックして「削除」または「すべてのオフラインデバイスを削除」を選択します。

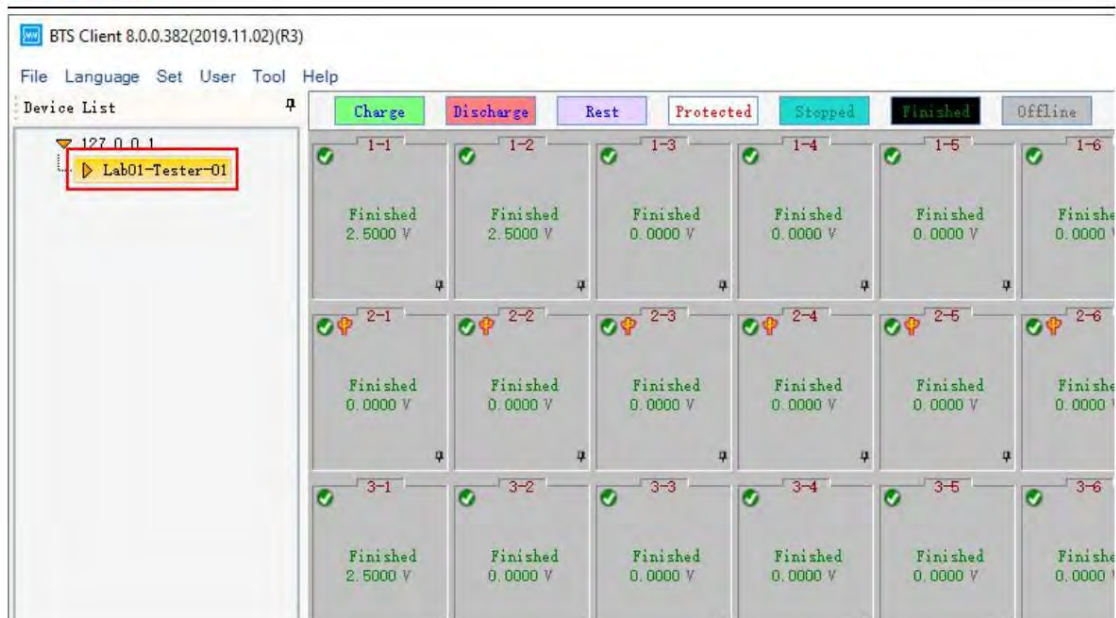


➡ 注意 :オンラインデバイスは削除されません。

### 3.11.3. メモ/コメントの変更

まず中央のマシンを選択し、右クリックしてメモを変更します。(図に表示)





### 3.11.4. ミドルマシンの更新

ミドルマシンは、クライアントソフトウェアを通じてアップグレードパッケージをダウンロードすることで更新できます。

更新手順:

1. デバイスリストで中央のマシンを選択します。
2. 右クリックして「中間マシンの更新」を選択し、ユーザー名とパスワードを入力します。
3. 更新ウィンドウでアップグレード ファイルを選択し、「更新」をクリックします。
4. 完了すると、アップグレード完了ダイアログが表示されるので、閉じます。

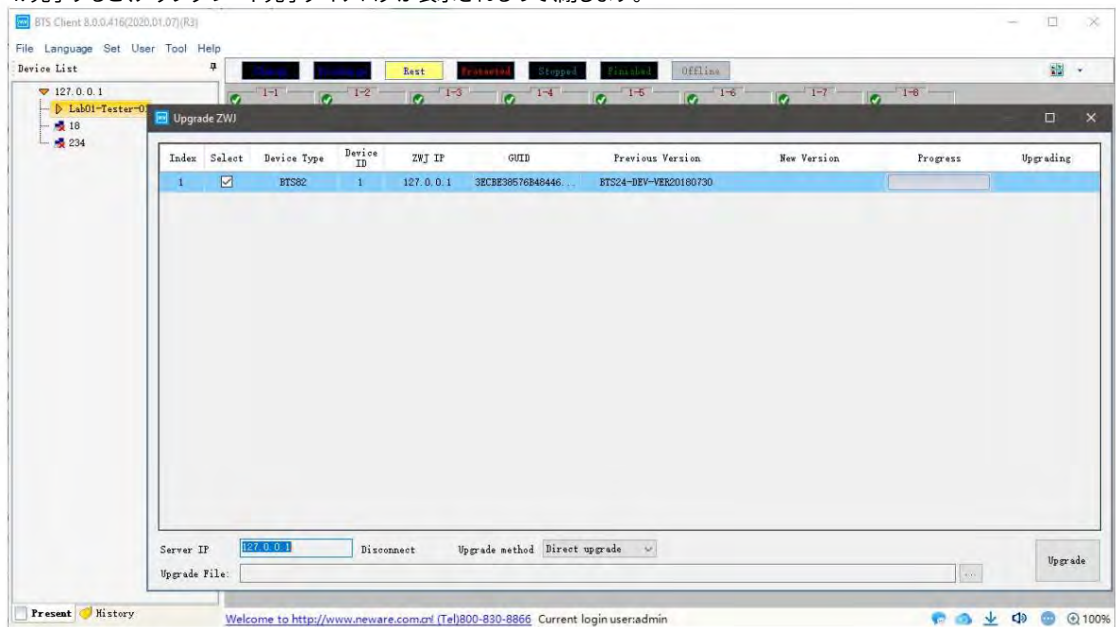


図3.10.4 中間マシンの更新



注意 :オフラインデバイスは更新できません。ファームウェアの更新については、Neware のエンジニアにお問い合わせください。

オンライン ファームウェアは使用しないでください。ハードウェアに問題が発生する可能性があります。

複数の中間マシンを一度に更新する場合は、更新ウィンドウで右クリックします。

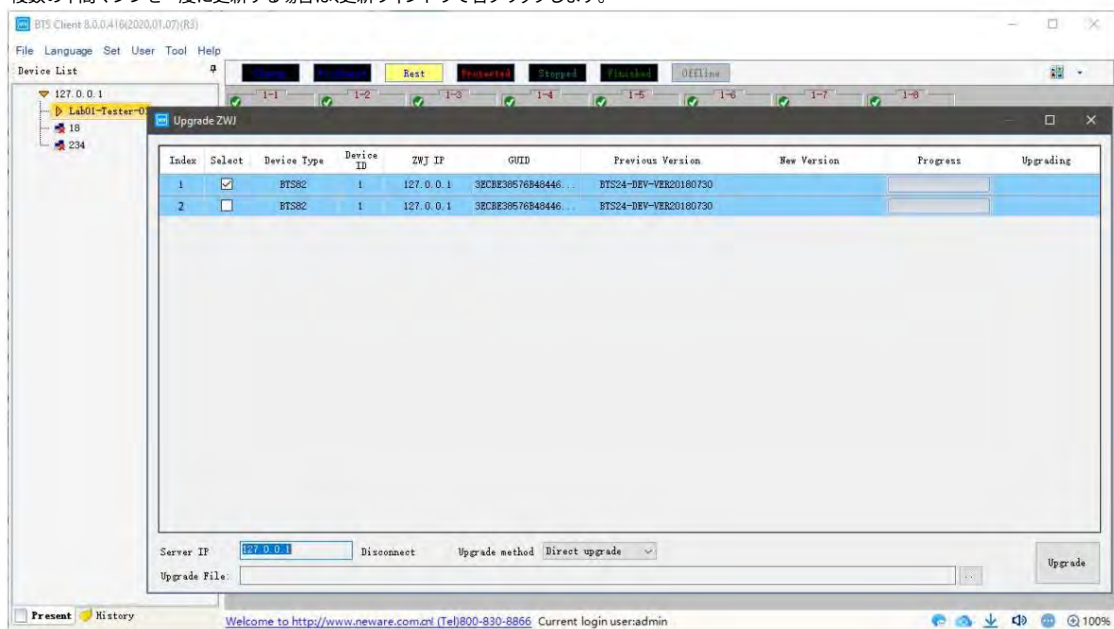


図3.10.5 複数の中間マシンのアップグレード

### 3.11.5. 中間マシンを再起動する

中央マシンには、クライアント ソフトウェアを通じて再起動コマンドを送信できます。

再起動手順:

1. デバイスリストからデバイスを選択する
2. 右クリックして「中間のマシンを再起動」を選択します。

### 3.11.6. 低スペックマシンのアップグレード

低スペックマシンは、クライアント ソフトウェアを通じてパッケージをアップグレードすることでアップグレードできます。

アップグレード手順:

1. デバイスリストで中央のマシンを選択します。
2. 右クリックして「低スペックマシンのアップグレード」を選択します。
3. アップグレード ファイルと下位マシンを選択し、「アップグレード」をクリックします。
4. 終了するとアップグレード終了ダイアログが表示されるので、閉じます。

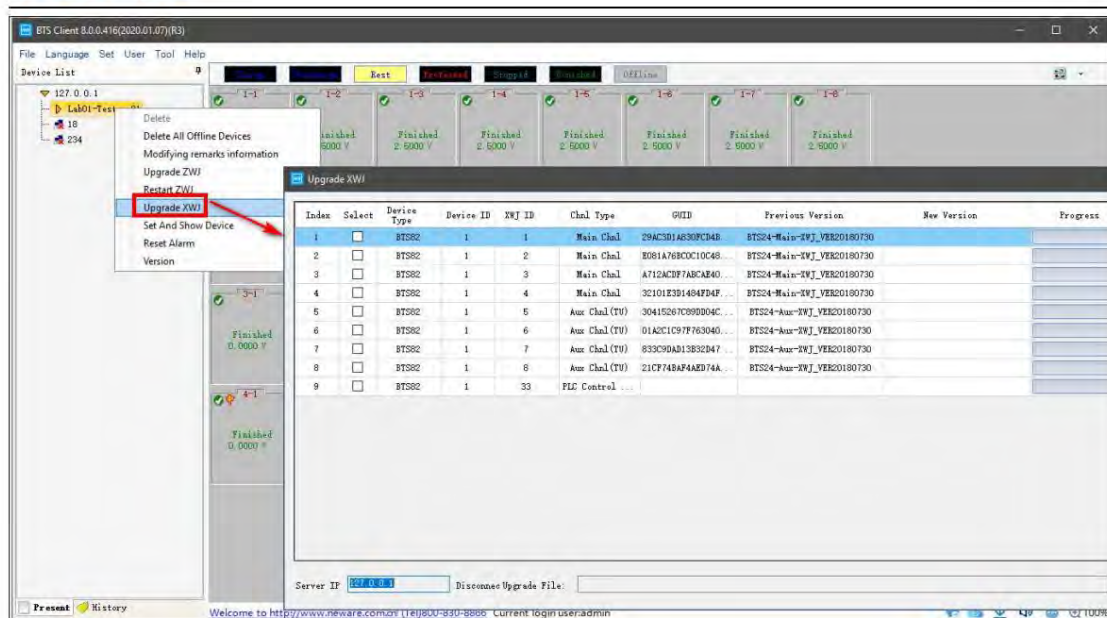


図3.10.7 低速マシンのアップグレード

注意 :オフラインデバイスはアップグレードできません。ファームウェアについてはNewareのエンジニアにお問い合わせください。  
 アップデート。オンラインファームウェアは使用しないでください。ハードウェアに問題が発生する可能性があります。

一度に複数の低スペックマシンをアップグレードする場合は、アップグレードウィンドウで右クリックし、「すべてのデバイスを表示」をクリックし、更新したいマシンと更新ファイルを選択してクリックします。「アップグレード」。(次の図に表示)

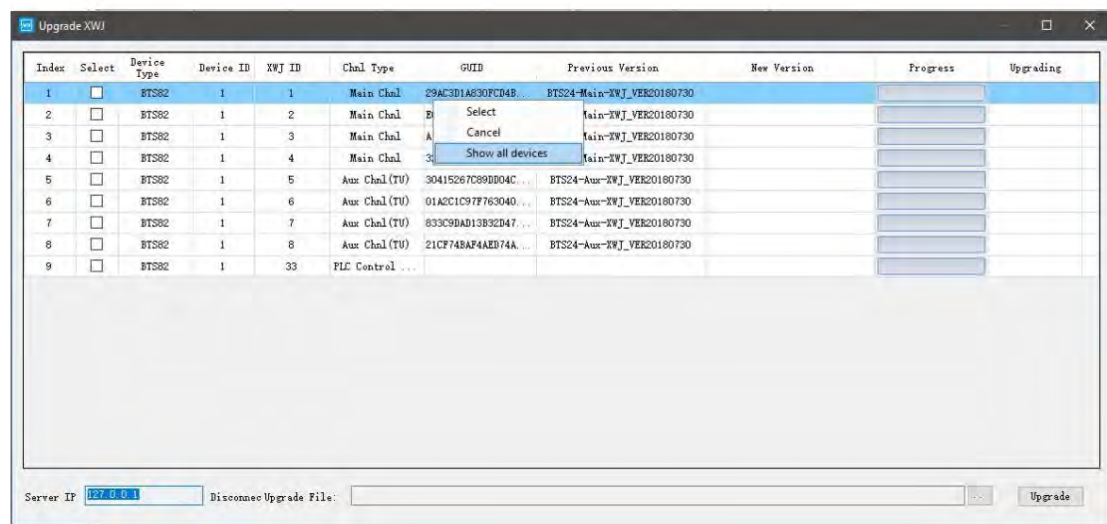


図3.10.8 複数の低速マシンのアップグレード

### 3.11.7. ミドルマシンとローマシンの設定と表示

クライアントからバージョンを確認したり、ミドルマシンとローマシンの台数を変更できますソフトウェア。

命令 :

1. デバイスリストで中央のマシンを選択します。
2. 右クリックして「中機・低機の設定と表示」をクリックします。

### 3. 新しいマシン番号を入力し、「設定」をクリックします。

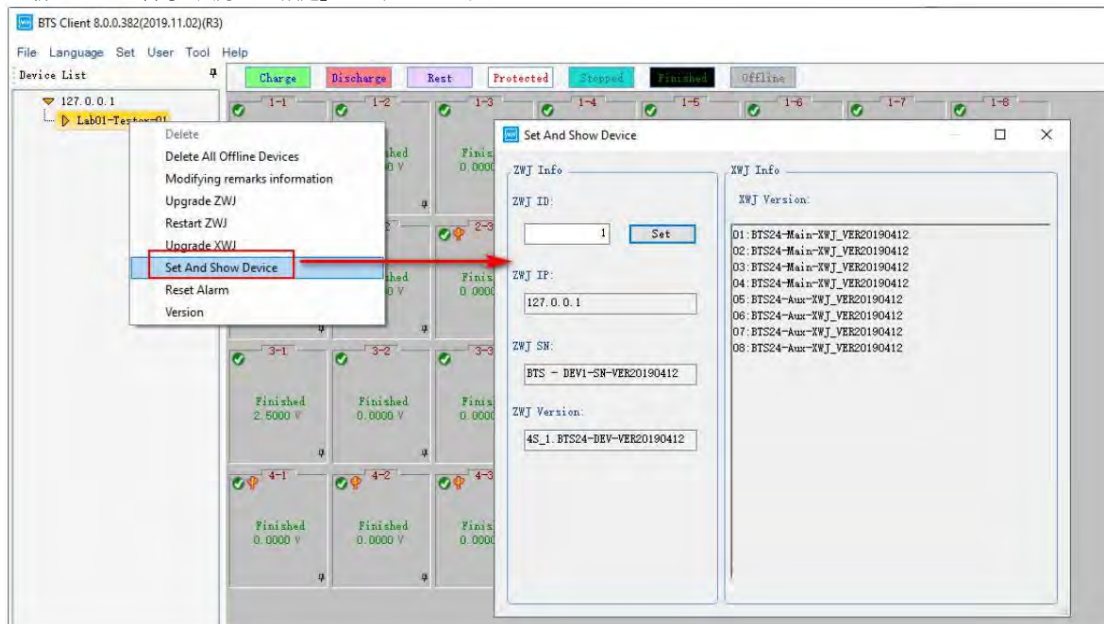


図3.10.9 ミドルマシンとローマシンの設定と表示

### 3.11.8. 音と光によるアラームのリセット

デバイスにブザーが装備されている場合、チャンネルが保護されているときにブザーが鳴ります。

今回は音と光のアラームリセットでアラームをリセットできます。

リセット手順:

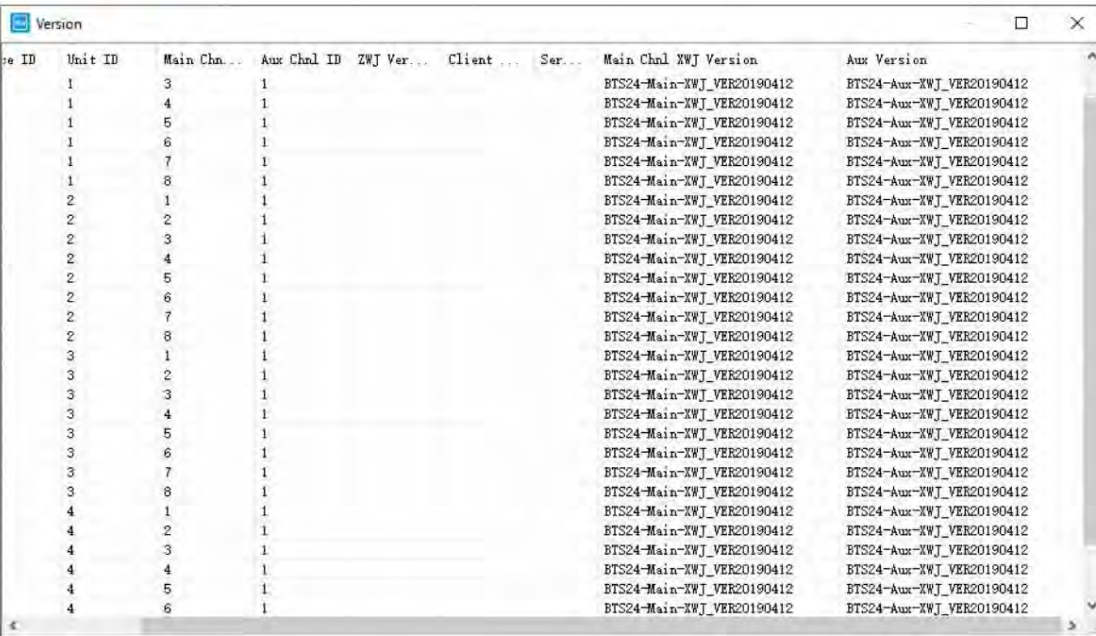
1. チャンネルまたはデバイスを選択する
2. 「音と光によるアラームのリセット」をクリックします。

### 3.11.9. バージョン情報

ミドルマシンとローマシンそれぞれのバージョン編成をご覧いただけます。

命令:

1. デバイスリストで中央のマシンを選択します。
2. 右クリックして「バージョン情報」を選択します。



Unit ID	Main Chn...	Aux Chnl ID	ZWJ Ver...	Client ...	Ser...	Main Chnl XWJ Version	Aux Version
1	3	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
1	4	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
1	5	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
1	6	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
1	7	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
1	8	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
2	1	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
2	2	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
2	3	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
2	4	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
2	5	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
2	6	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
2	7	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
2	8	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
3	1	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
3	2	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
3	3	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
3	4	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
3	5	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
3	6	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
3	7	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
3	8	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
4	1	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
4	2	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
4	3	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
4	4	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
4	5	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412
4	6	1				BTS24-Main-XWJ_VER20190412	BTS24-Aux-XWJ_VER20190412

図3.10.10 バージョン情報

## 3.12.チャンネルインターフェース

### 3.12.1. チャンネルカラー設定

チャンネルカラーは背景色と前景色（フォント色）で構成されており、色を変更できます。

あなたの好みに応じて。

#### 1. チャンネルの背景色の設定:

カラーボックスをクリックして、希望の色を選択します。例えば、「チャージ」をクリックするとカラーボックスが表示され、色を選択します。右クリックして「取り消し」を選択すると、色がデフォルトの色になります。（

（次の図）

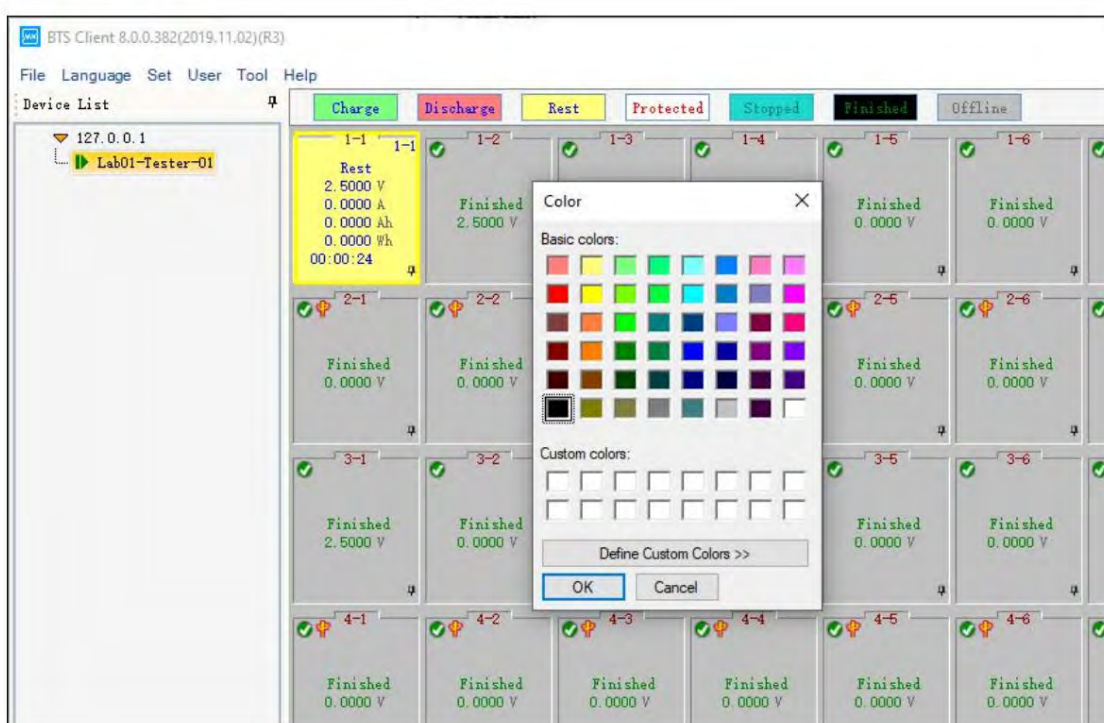


図3.11.1 異なるステータスのチャンネルの色を設定する

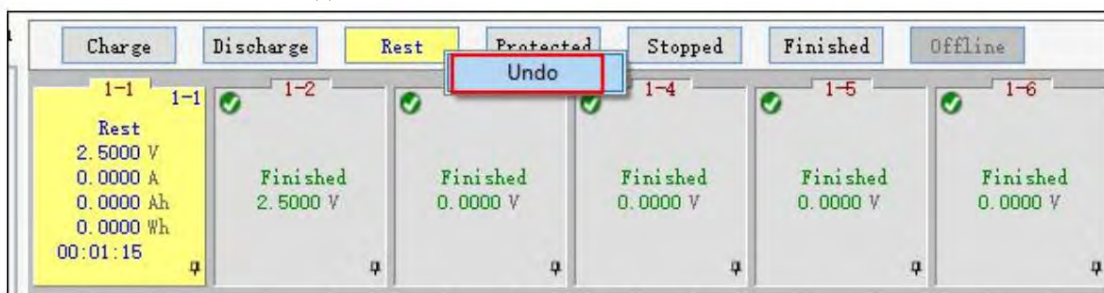


図3.11.2 右クリックしてデフォルトの色に戻す

## 2. フォント色の設定

フォントの色はシステムディスプレイ設定で変更する必要があります。システム設定では、チャンネル色の変更を禁止することができ、これは、

会社。チャンネル表示ウィンドウで設定されていない背景色を非表示にすることもできます。

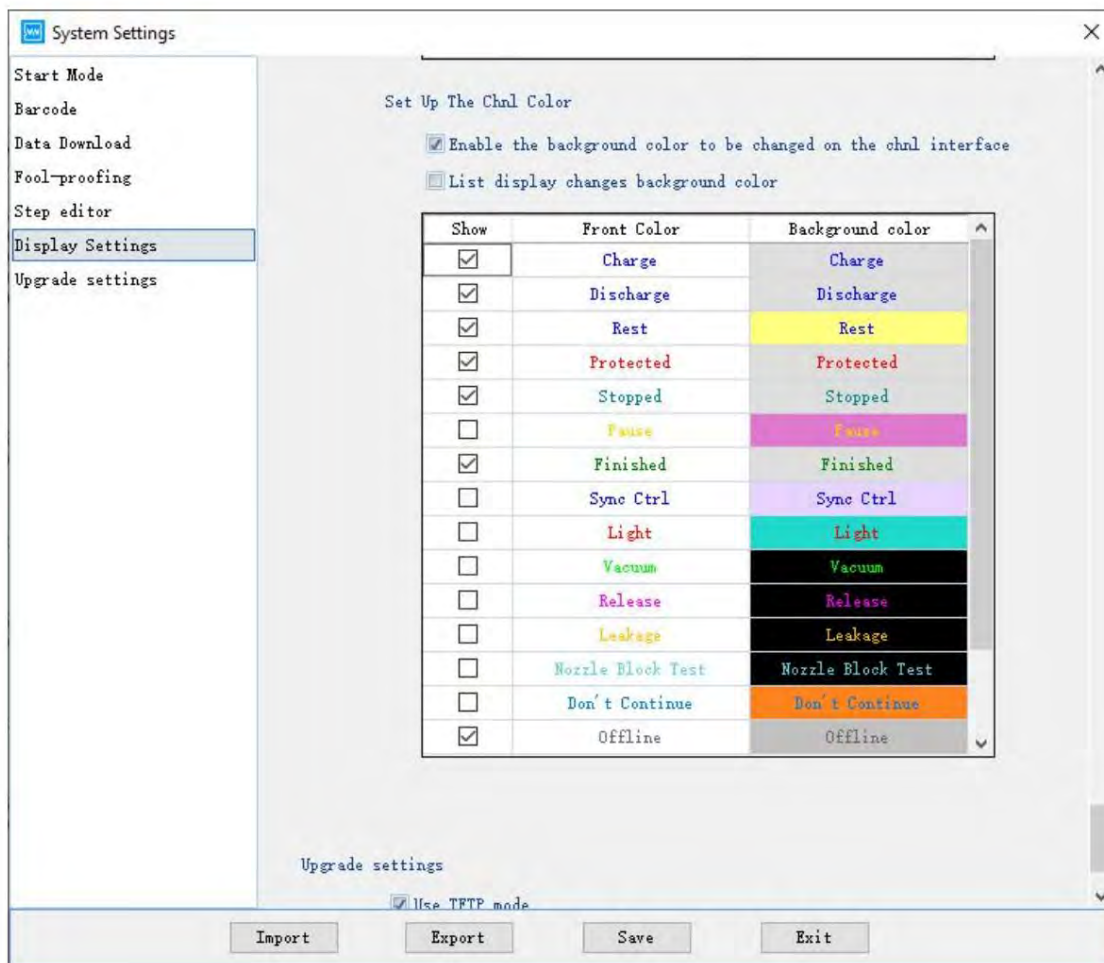



図3.11.2 前景色の設定

## 3.12.2. チャンネル表示設定

### 1 チャンネル保護とアラーム

命令：

クリック  クライアントチャンネル表示ウィンドウの右隅に表示されます。メッセージウィンドウは表示されます。(次の図に示されています)

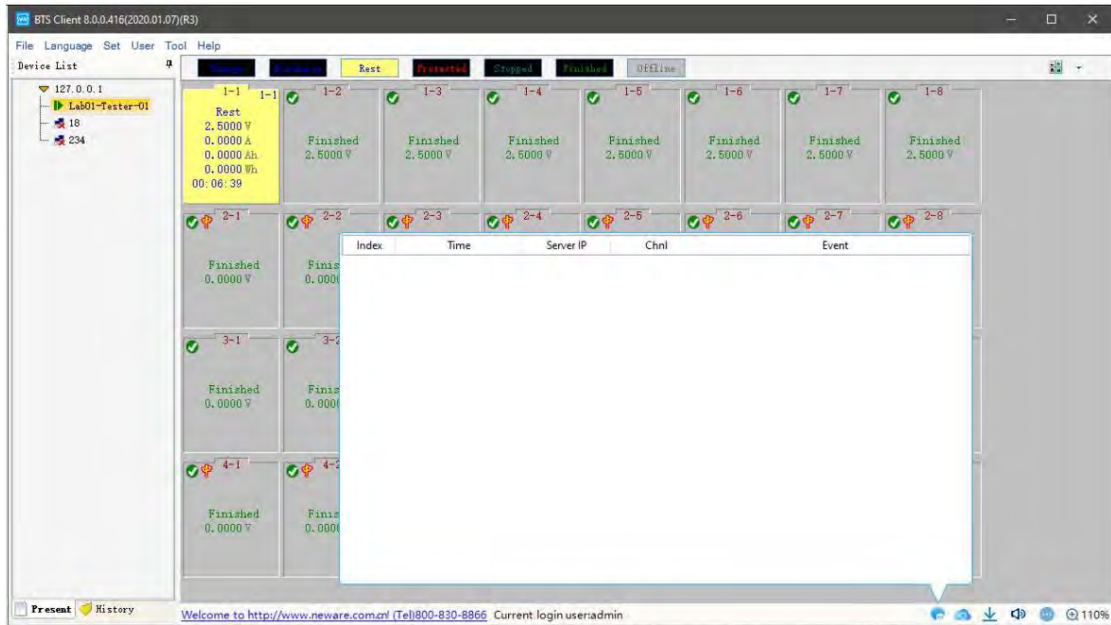


図3.12.1 メッセージ

## 2 自動バックアップ

現在のバックアップデータと過去のバックアップデータを表示します。バックアップ後にデータを追加、変更、削除することもできます。

テストを開始します。

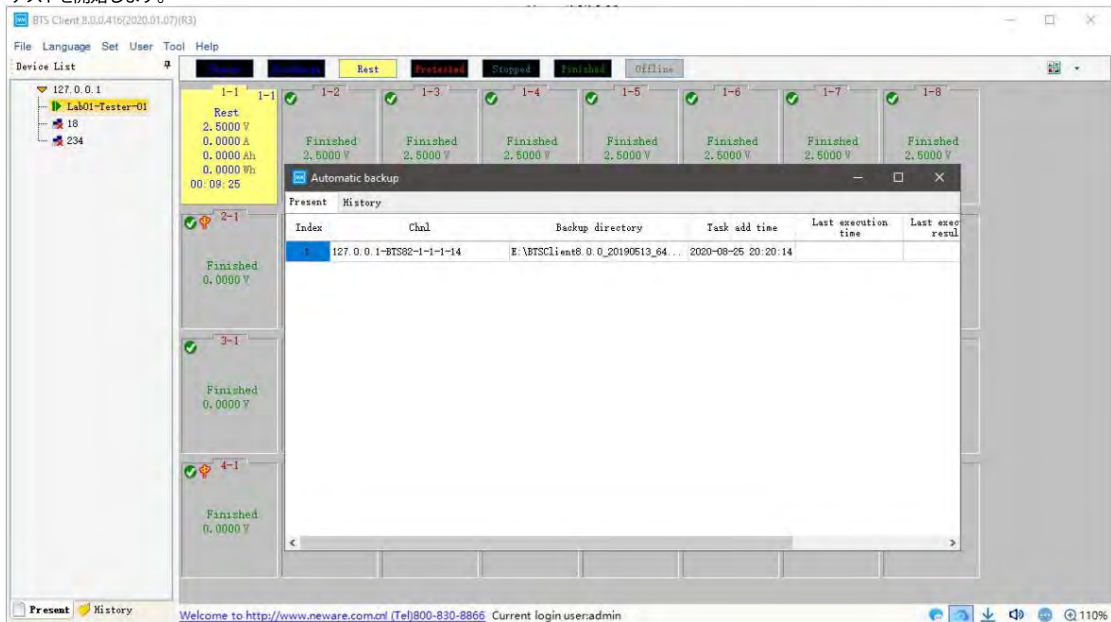


図3.11.2 自動バックアップ

## 3データのダウンロードと表示

BTSClientの右下隅にあるアイコンをクリックします  ダウンローダーウィンドウは下の図のようなポップアップが表示されます。

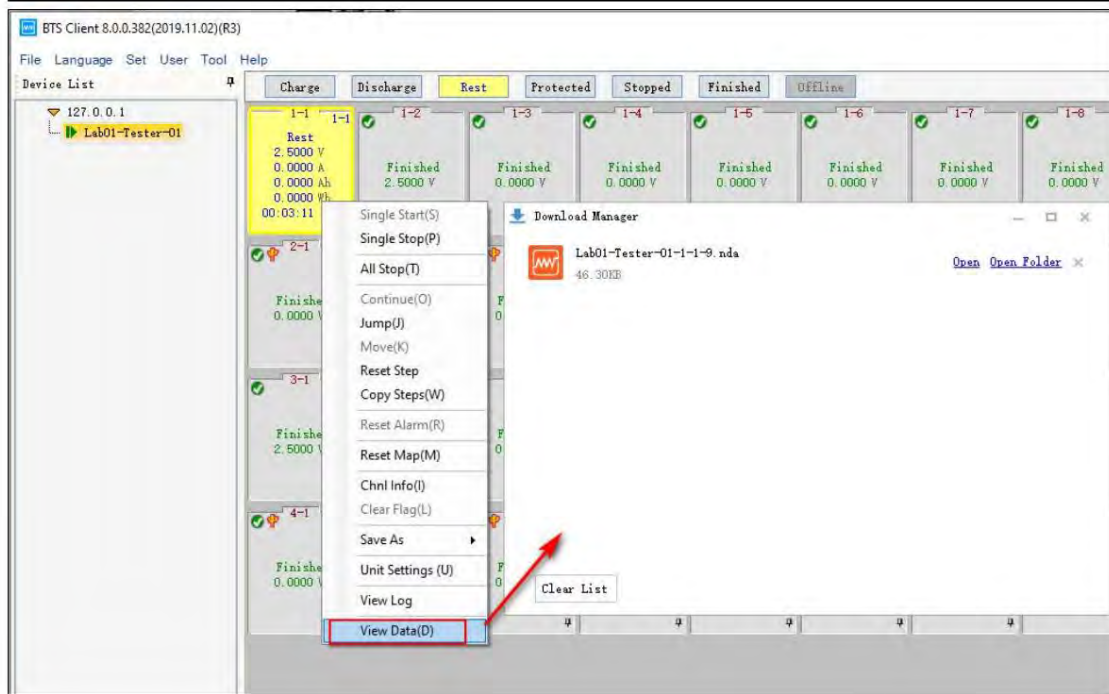



図3.11.3 データの表示とダウンロード

4 アラーム

BTSClientの右下隅にあるアイコンをクリックします 、音アラームが開いたり閉じたりします。下の状況で利用可能なアラームを選択できます。

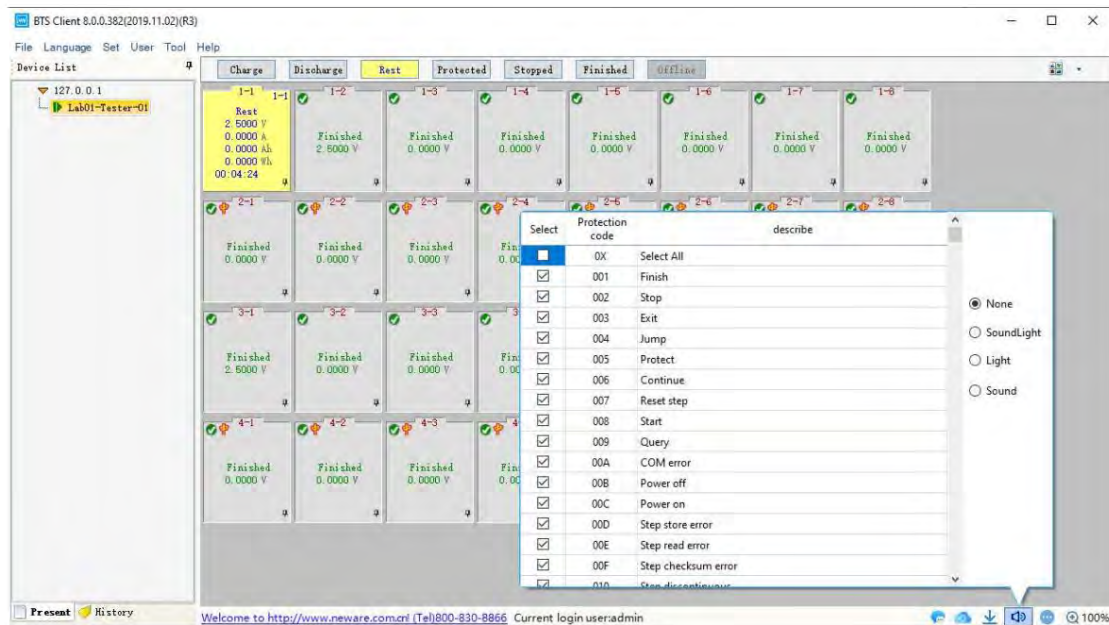



図3.11.4 アラーム設定

5チャンネル情報表示

「大きなアイコン」の操作:BTSクライアントが「大きいアイコン」ビューになっている場合は、アイコンを右クリックします  UIの右下にあるウィンドウ

以下のようなポップアップが表示されます：

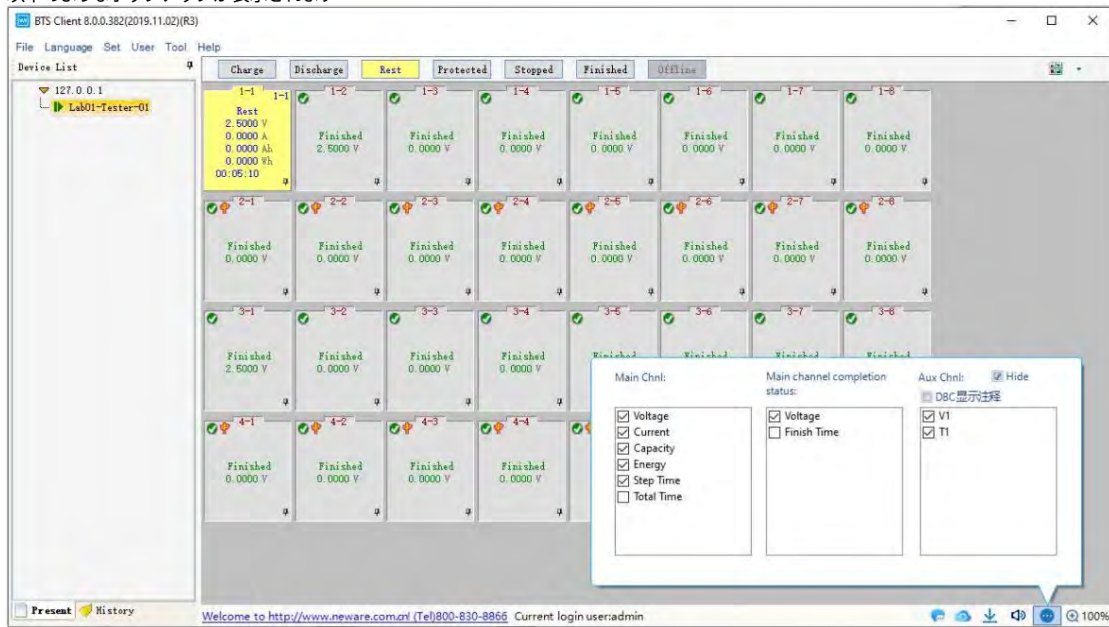



図3.11.5 表示/表示設定

「小さいアイコン」の操作:

BTSクライアントが「小さいアイコン」ビューになっている場合は、アイコンを右クリックします  UIの右下にあるウィンドウ

以下のようなポップアップが表示されます：

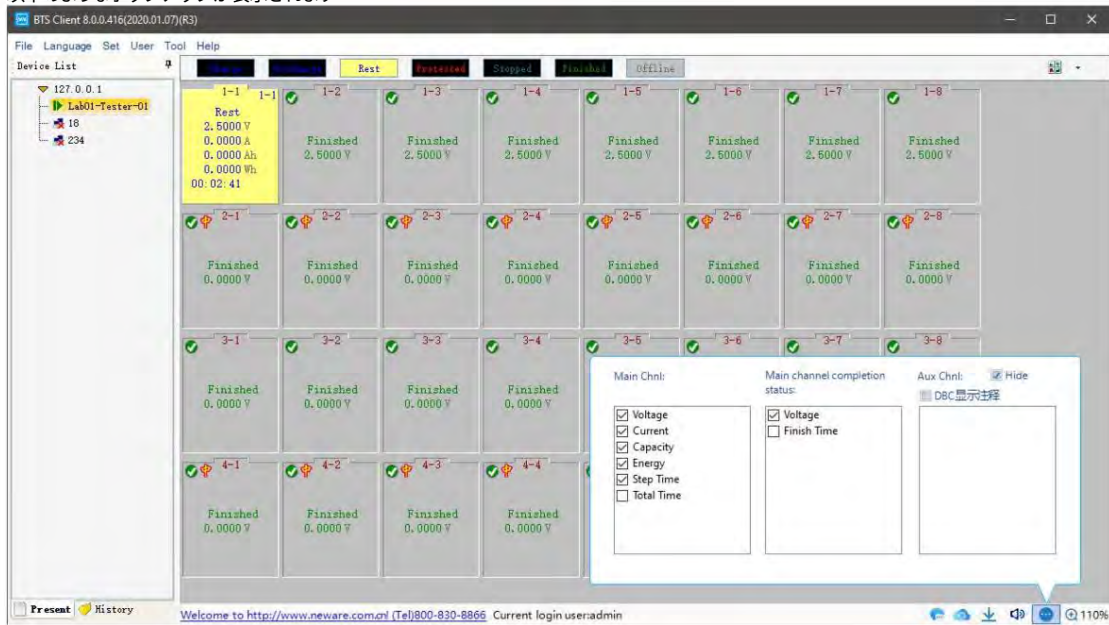



図3.11.6  
設定アイコンには利用可能なフィールドが表示されます

5 フォントとチャンネル/バッテリーサイズ：

右下隅のアイコンをクリックします  フォントやチャンネル/バッテリーサイズを拡大/縮小できます UI

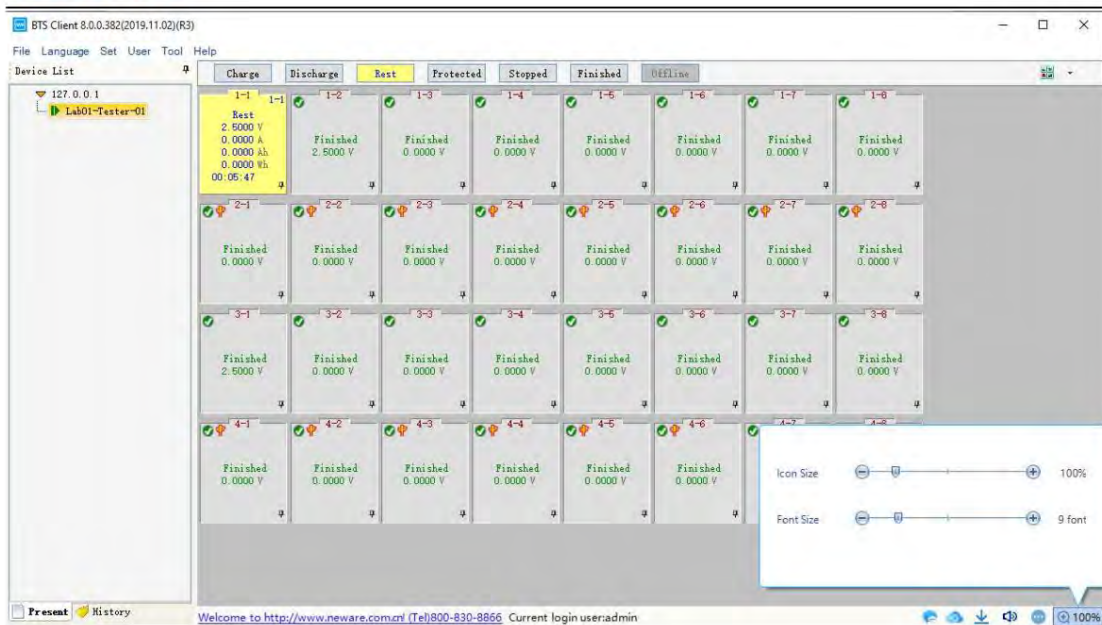


図3.11.7

ユーザーインターフェースズームインとズームアウト

ソフトウェアはデフォルトでBTSリストのBTS番号をクリックすると、右側にそのBTSのすべてのチャンネルが表示されます。

対応する機器、他のノードをクリックするとチャンネルは表示されません。複数のBTSがある場合

均一に起動する必要がある場合は、システム構成インターフェースで「すべてを表示する」を選択できます。

サーバーの下にあるチャンネルその後、サーバーノードをクリックすると、このサーバーの下にあるすべてのチャンネルが右側に表示されます。下の図の通りです。

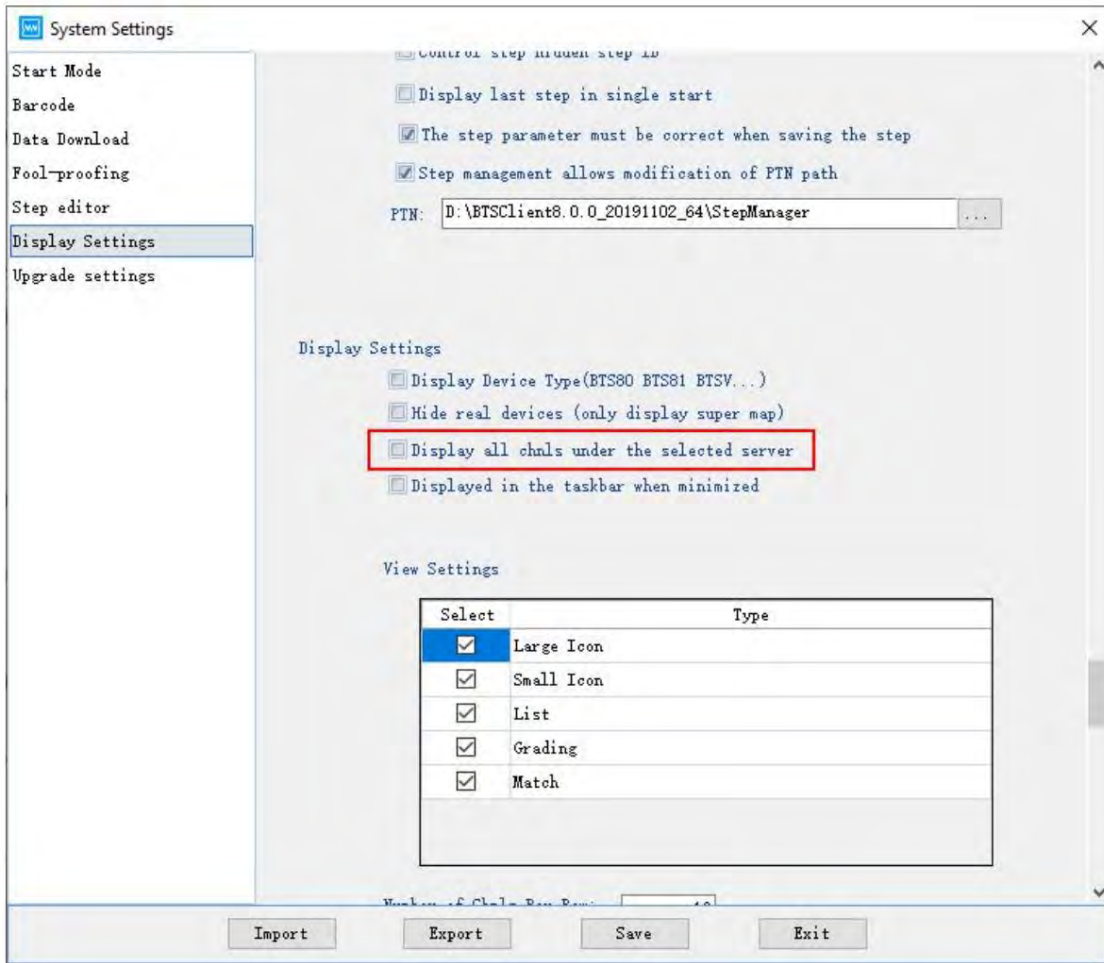


図3.11.8 すべてのチャンネルを1か所に表示する設定

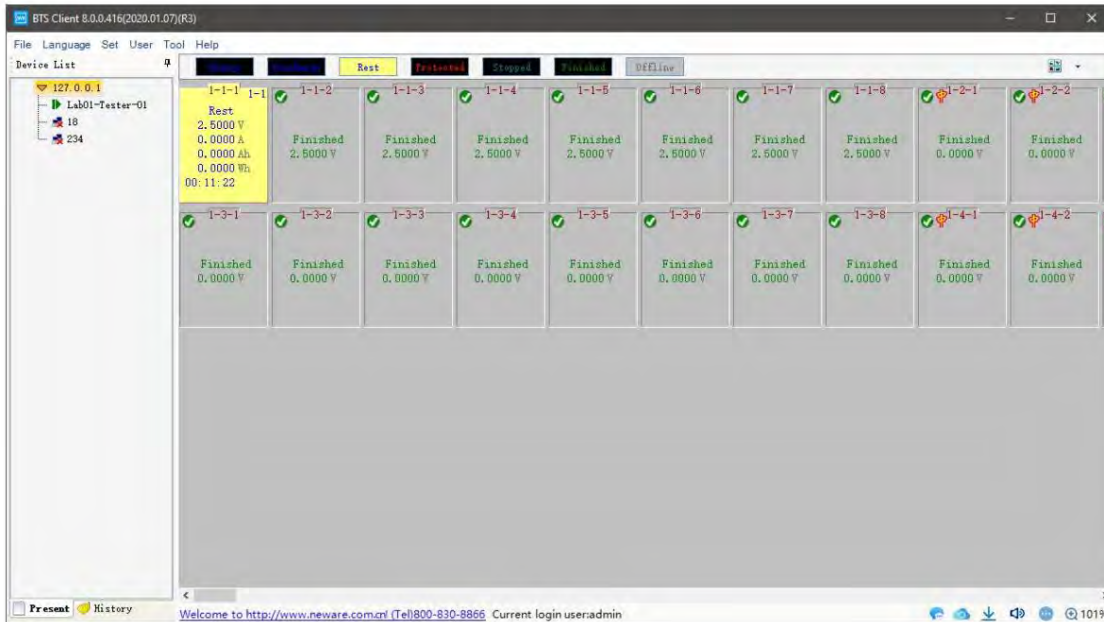


図3.11.9 すべてのチャンネルを1か所に表示する

### 3.12.3. 表示インターフェース

下の図に示すように、右上隅のボタンを使用して、それぞれ大きいアイコン、小さいアイコン、リスト、並べ替えのインターフェイスに切り替えます。

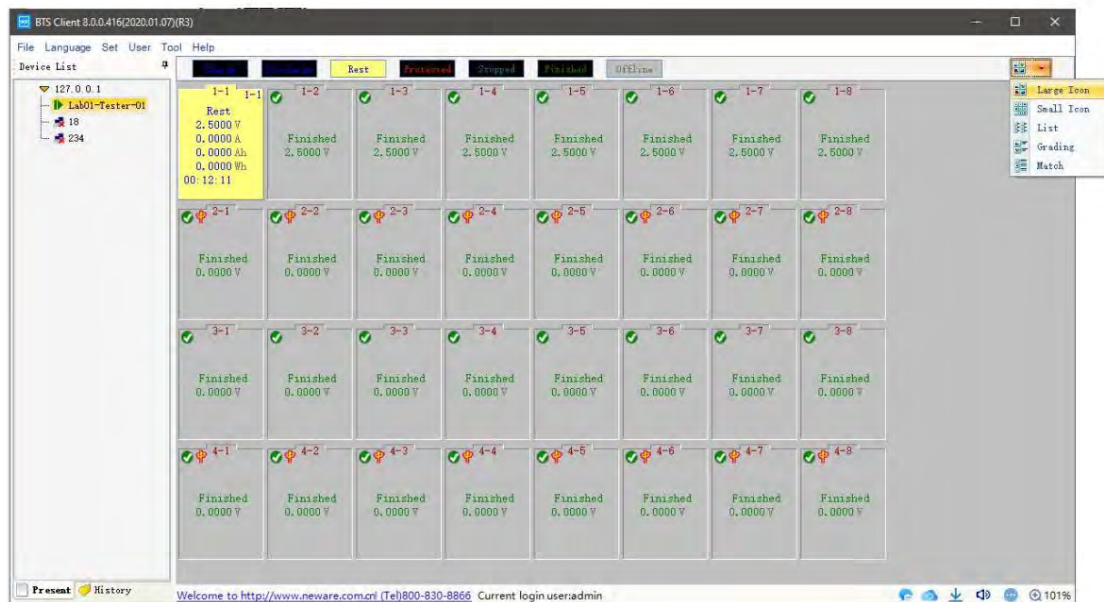


図3.11.10 異なるビューを切り替える

### 3.13. チャンネルインターフェースを右クリック

チャンネル表示領域を右クリックし、オプションがグレー表示されている場合は、ユーザーは最初にログインする必要があります、その後対応する操作を実行できます。

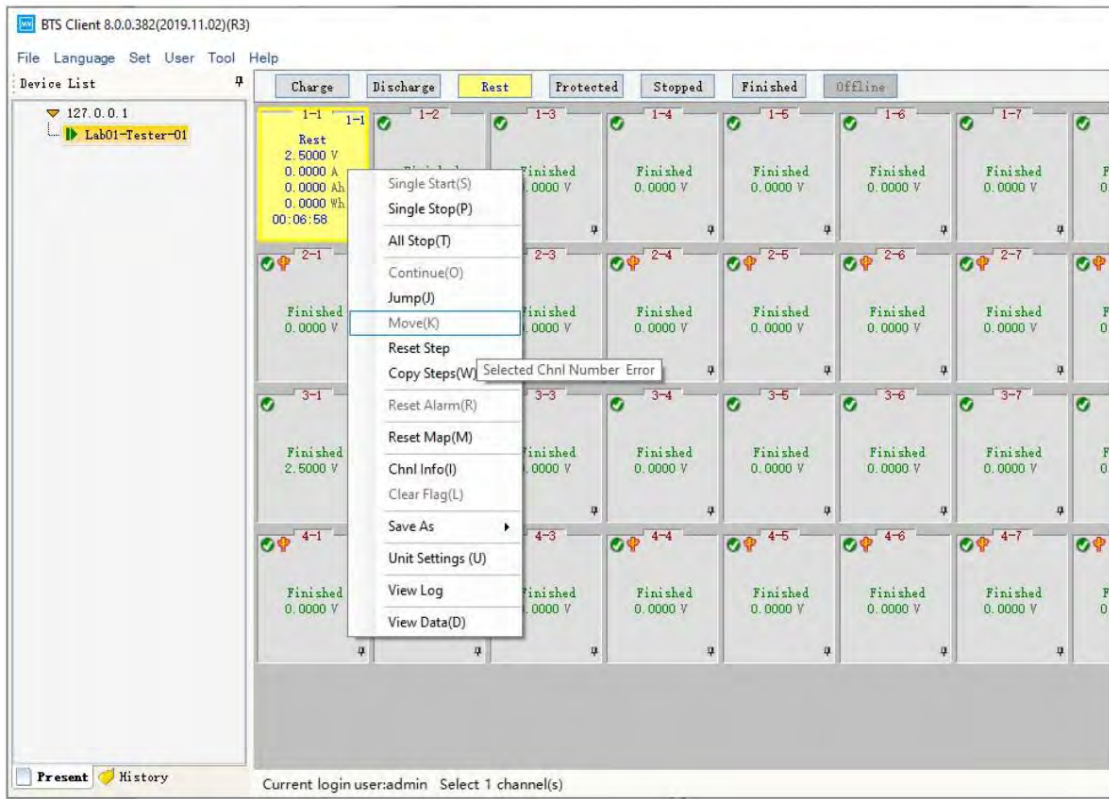


図3.12.1 右クリックしてチャンネルのメニュー

チャンネルがオフラインの場合、チャンネルの背景色は灰色に変わります。  
下の図。

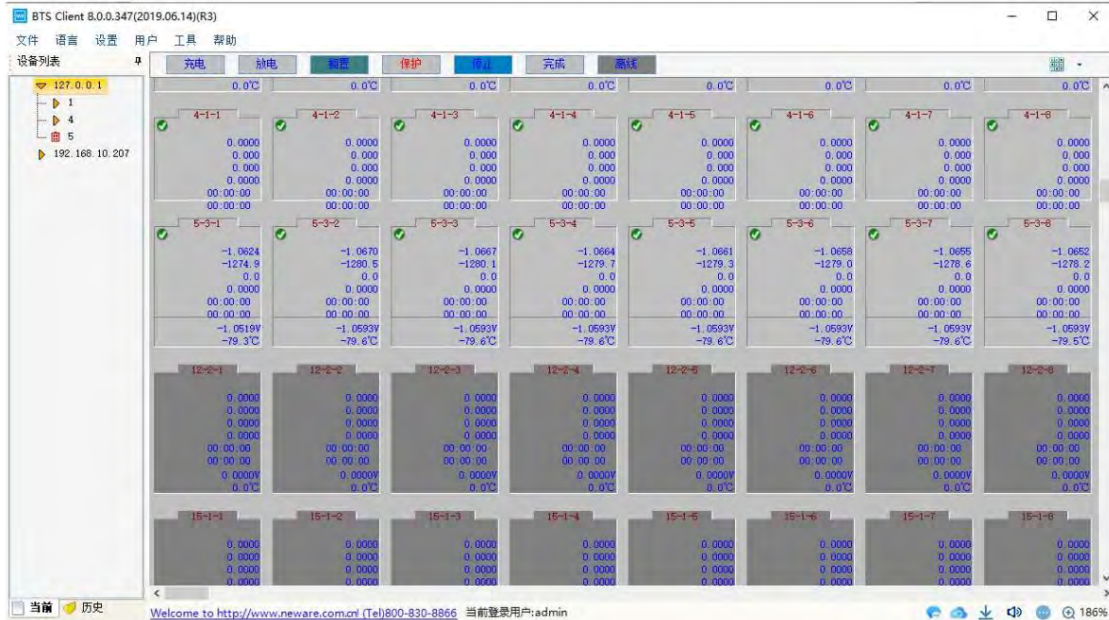


図3.12.2 オフラインチャンネルを表示

右クリックメニューで操作できない機能については、  
対応する位置に、下の図に示すように、対応する理由がポップアップ表示されます。

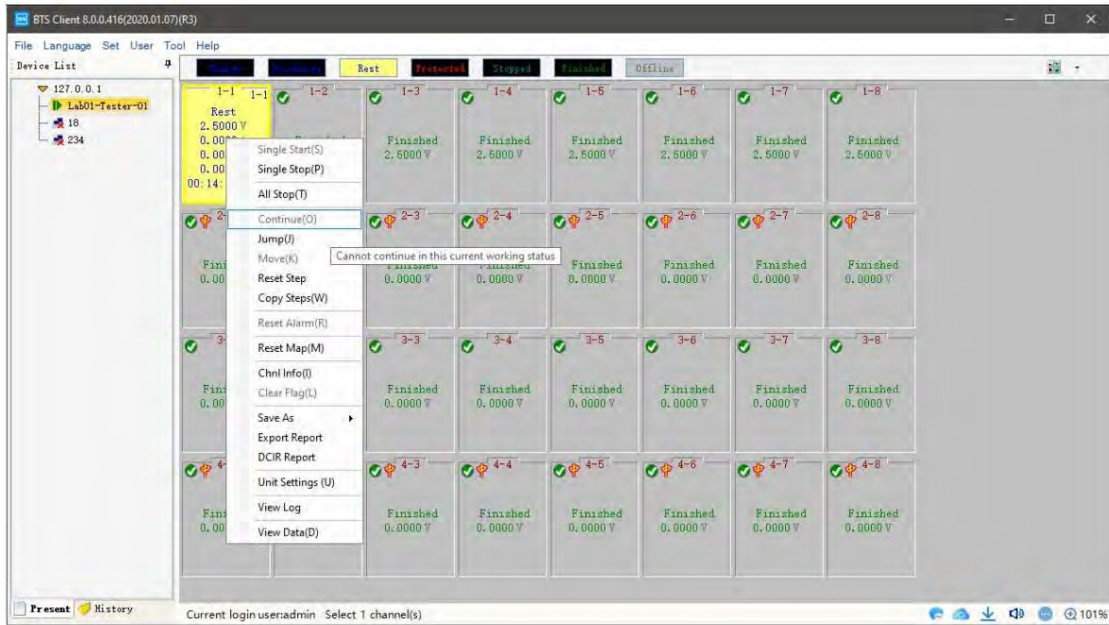


図3.12.3 利用できないアイテムについては、システムがなぜそれを利用できるのかを尋ねます。

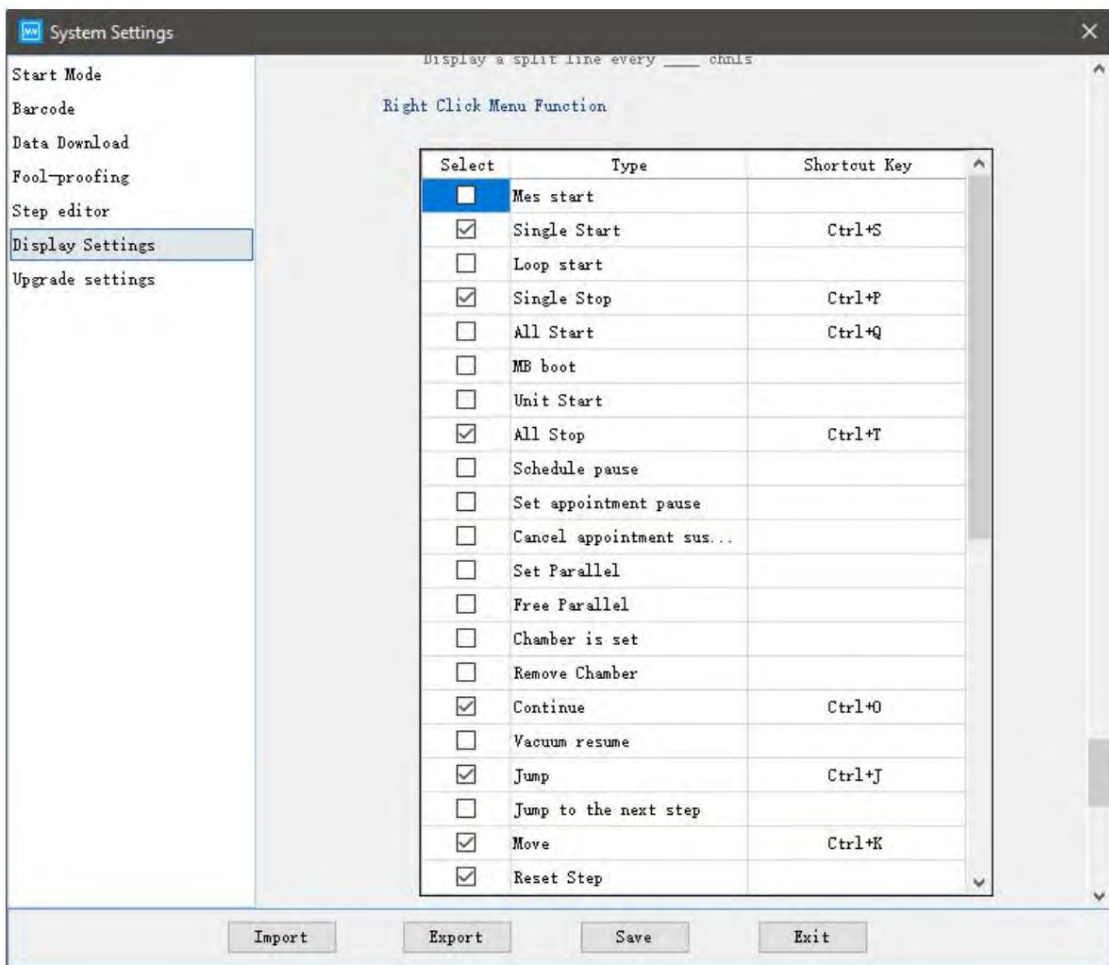


図3.12.4 右側のメニューに表示する項目を選択します

### 3.13.1. シングルスタート

「シングルスタート」操作が必要な場合、操作は次のようになります。

操作するチャンネルを選択→右クリック→「シングルスタート」

作業ステップ、記録条件、安全保護などを設定できます（下図参照）。

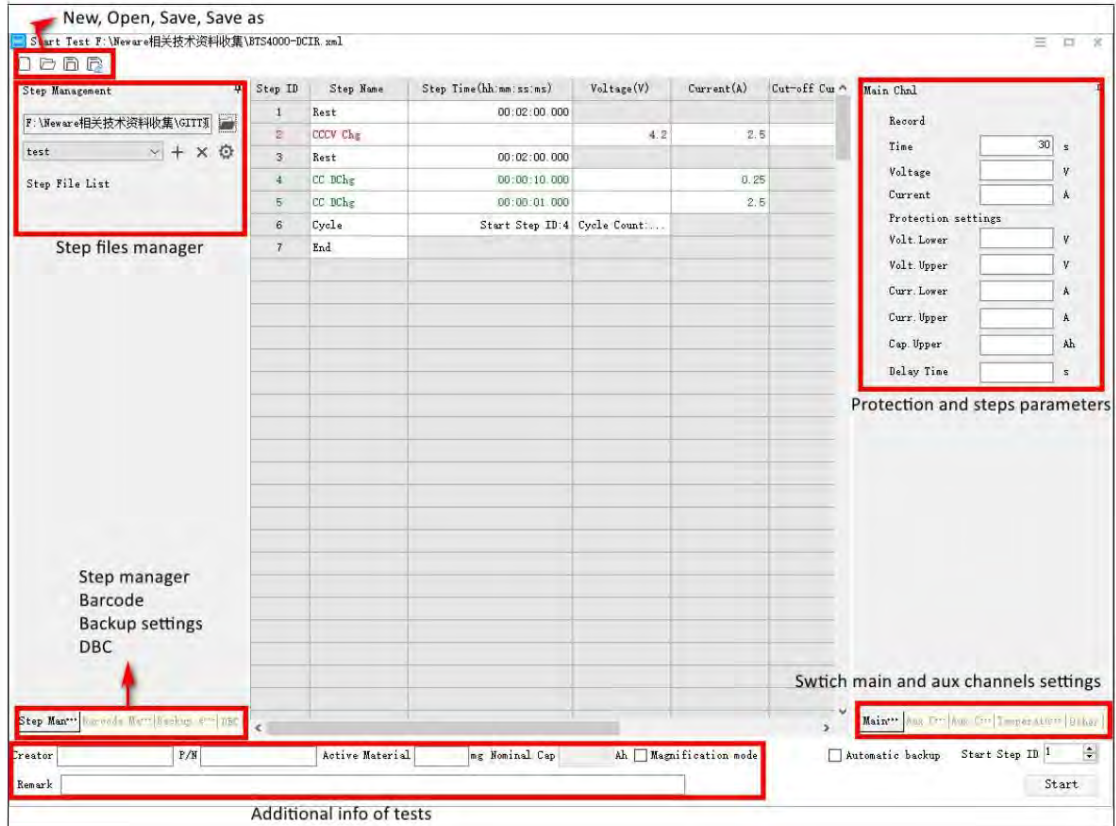


図3.12.5 テストプロファイルの管理と作成インターフェース

バーコードを入力するチャンネルを選択→右クリック→「シングルスタート」

下の図に示すように、バーコード管理インターフェイスをクリックしてバーコードを入力します。



図3.12.6 バルコード入力ユーザーインターフェース

バックアップ設定インターフェース

操作方法→テストするチャンネルを選択し、右クリックスタート→バックアップ設定をクリック

下の図に示すように、自動バックアップを実行します。

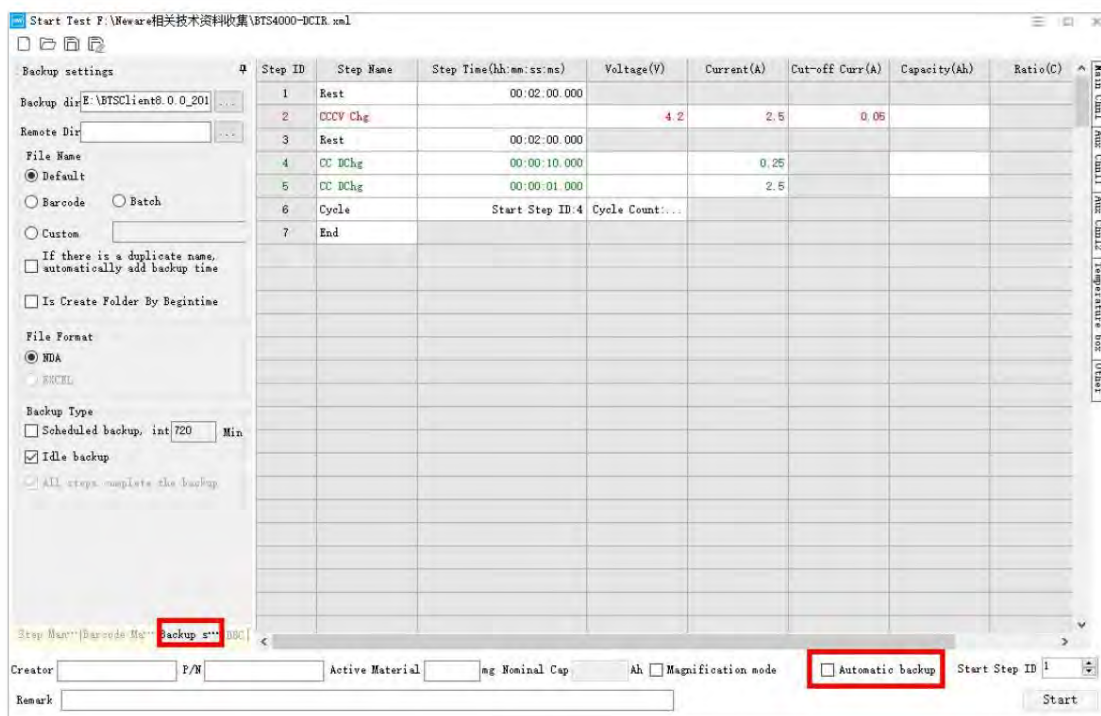


図3.12.7 バックアップ設定インターフェース

### 3.13.2. シングルストップ

単一または複数のチャンネルの作業ステップをリセットする必要がある場合、  
単一または複数のチャンネルを選択→右クリック→「シングルストップ」

### 3.13.3. 行/層ごとの起動テスト

同時に1つ以上のチャンネルのテストを開始する必要がある場合は、startと入力します。

行またはレイヤーにテストをアップします。次のようにして作成できます。

- 1) 右クリック→「ユニット起動」；
- 2) ここでユニットの起動ウィンドウがポップアップ表示されるので、プロファイルパス、サンプル周波数、安全性設定を設定した後、「OK」ボタンをクリックします。

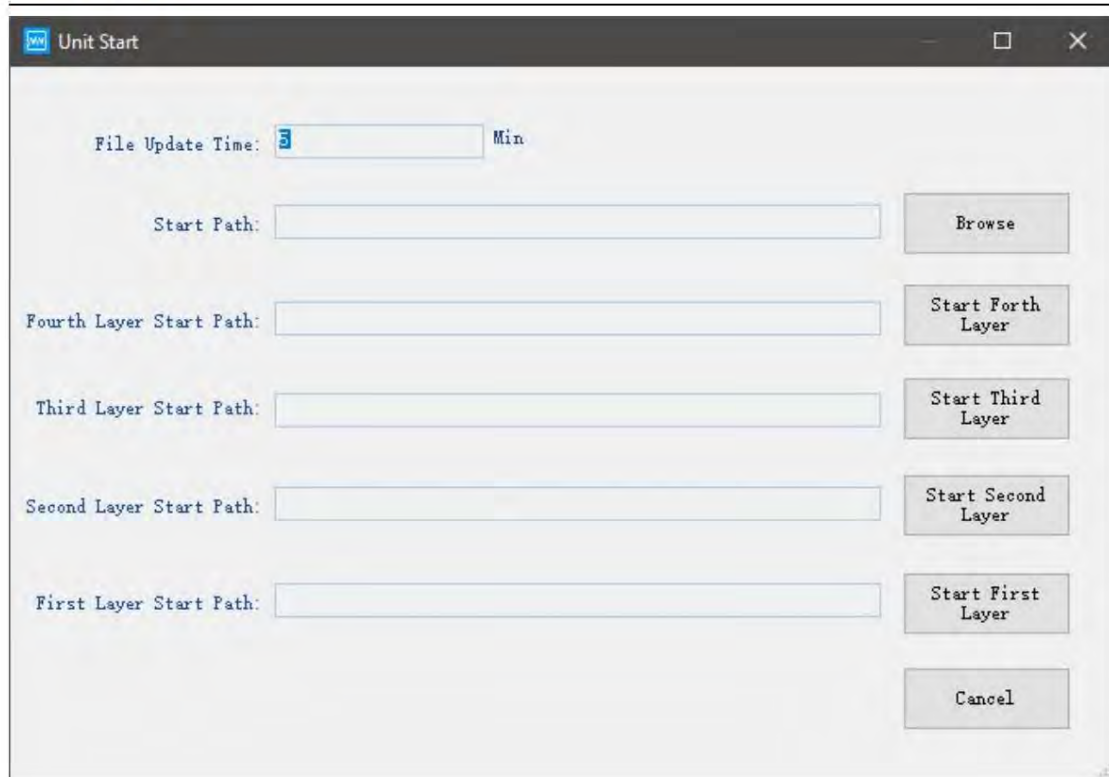


図3.12.8 レイヤー/ユニット全体でテストを開始する

### 3.13.4. すべて停止

「all stop」オプションは、すべてのチャンネルのテストを同時に停止する必要がある場合に実行する必要があります。操作は次のようになります。チャンネルステータス表示領域を右クリックします。この時点で、すべてテスト中のチャンネルは「停止」状態になります。

#### 指定された休止

作業ステップが完了した後にチャンネルの実行を自動的に停止したい場合  
完了すると、「指定された休止」を通じて実現できます

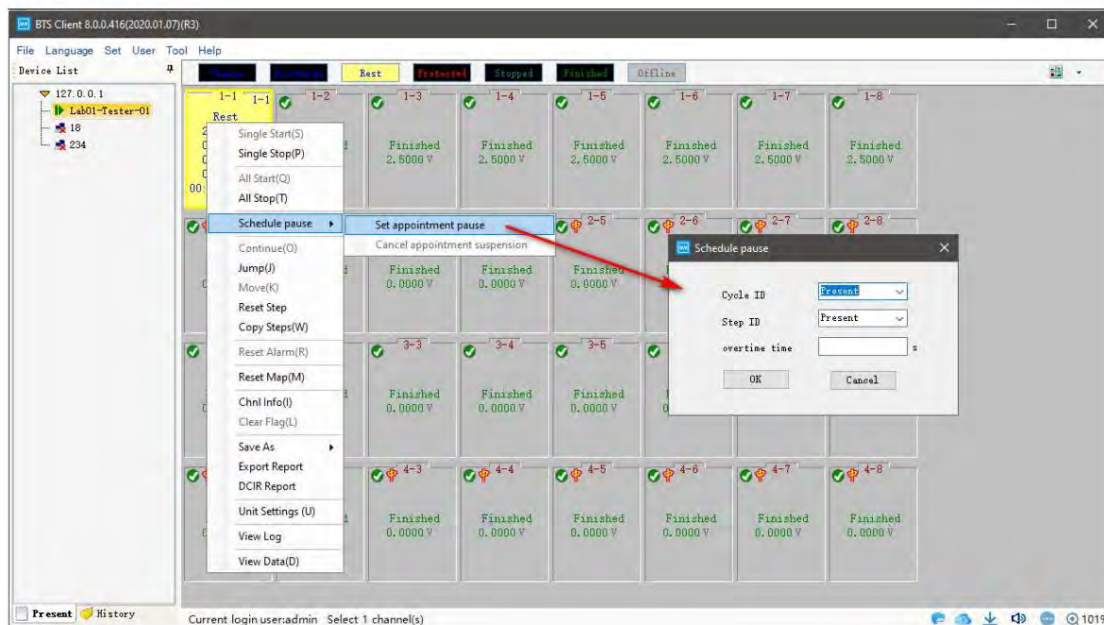


図3.12.9 予約の一時停止を設定する

操作は以下のとおりです

1. 一時停止が必要なチャンネル（黄色の枠でマークされたチャンネル）を選択します。

図に示す

2. 右クリック→「一時停止の設定」→「一時停止の指定画面を表示」
3. 右クリック→「一時停止の設定」→「一時停止の指定解除画面を表示」

予約の一時停止を設定すると、対応するチャンネルに一時停止が表示されます。

マークは、現在のサイクルが一時停止されるか、指定されたサイクルが一時停止されることを示します。

完了後、一時停止マークの右隅に数字が表示されている場合は、

現在の作業ステップの完了後に一時停止するか、作業ステップが完了した後に一時停止を指定します。

完了すると、数字は作業ステップのシリアル番号を表します。一時停止設定

設定を解除する必要がある場合は、右クリックメニューで予定の一時停止をキャンセルするオプションを選択します。

チャンネル上の一時停止マークは消えます。現在の作業ステップまたはサイクルが終了すると、

完了した「一時停止」はチャンネルに表示されます



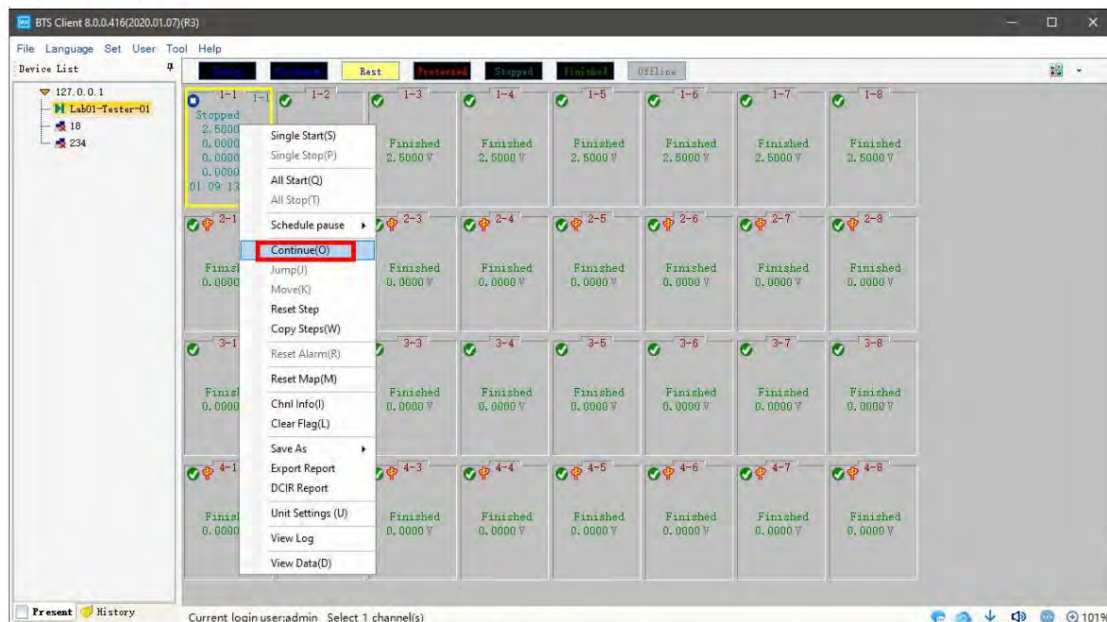
注意：この機能はBTS82以上のBTSタイプのみをサポートします

### 3.13.5. テストの継続/再開

実行中のテストで操作を続行/再開して、データを保護する必要がある場合があります。

失われたり、その他の理由により、テストが中断されたりすることがあります。その後、テストを続行/再開するには、この機能を使用できません。

操作: 続行するチャンネルを選択し、右クリックして「続行」を選択し、一時停止されたテストは再開され、続行されます。



注: 停止と継続は進行中のチャンネルでのみ使用できます。  
終了しました。この機能は意味がありません。

### 3.13.6. ジャンプ

チャンネルが作業ステップを実行している場合、現在の作業ステップはターゲット作業にジャンプすることができます。ステップ、この操作はテストデータの通常の継続を維持する

方法：

1. 作業ステップをダブルクリックします。作業ステップの背景が黄色になったら、選択されています。
2. 「ジャンプ」インターフェース、必要な作業ステップ番号を入力してください

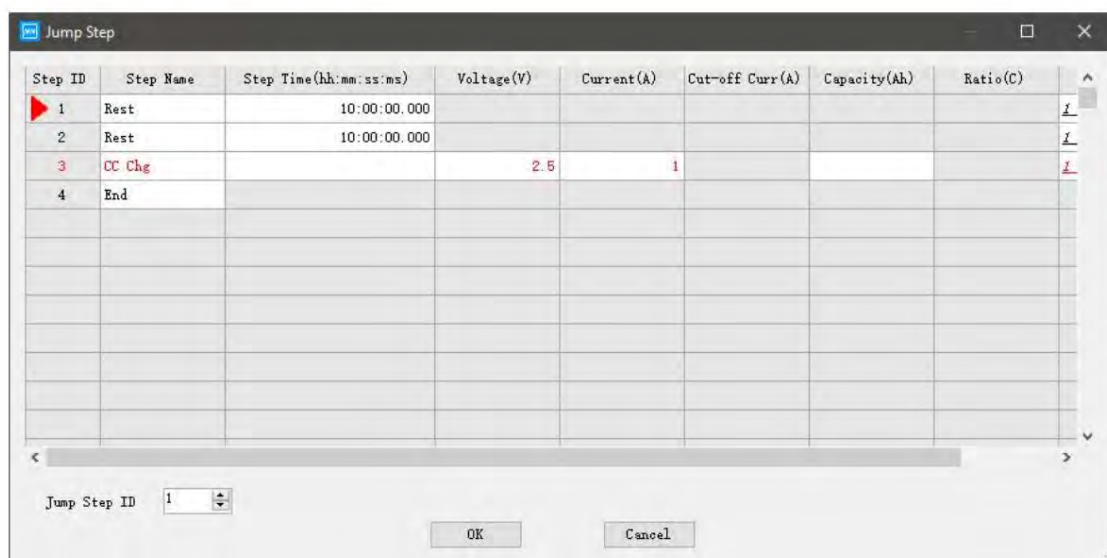
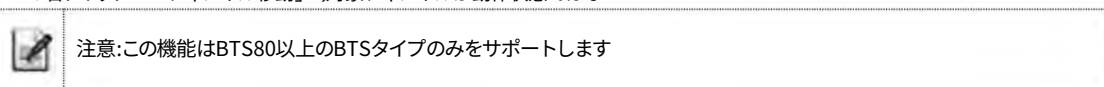


図3.12.10 ステップジャンプ

### 3.13.7. チャンネルの移動

機能: 作業ステップのパラメータとテストデータを未完了のテストチャンネルから別の完了したテストチャンネルに移行してテストを続行します。目的は、チャンネルの損傷によるこのテストの失敗を防ぐことです。運用アプローチ:

1. 両方のチャンネル（テストチャンネル、移行後のターゲットチャンネル）を選択します。
2. 右クリック→「チャンネル移動」;対象チャンネルが動作状態ではない



### 3.13.8. テストプロファイルのリセット/変更

機能 :ユーザーが実行中のチャンネルの作業ステップまたはパラメータを変更する必要がある場合、作業ステップをリセットすることでそれを実現できます。操作方法 :1.テストプロファイルを変更する必要がある

実行中のチャンネルを選択

します。2.右クリックして「ステップをリセット」を選択すると、テストプロファイルエディタが

表示されます。

下のスクリーンショットの通り。

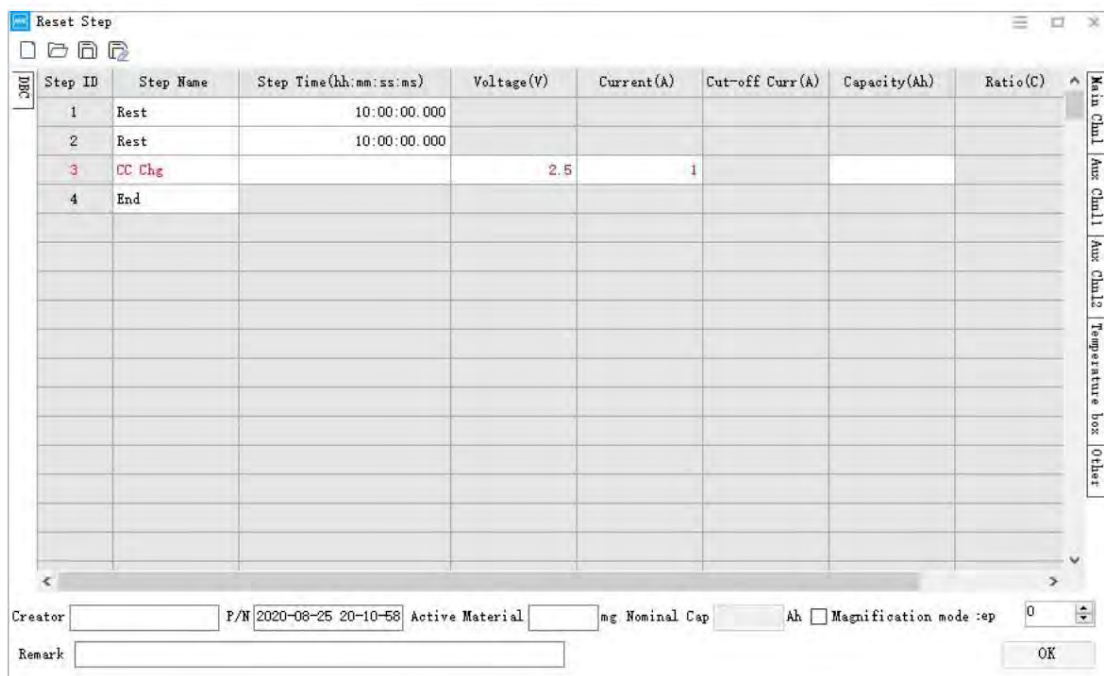


図3.12.11 リセットテスト手順

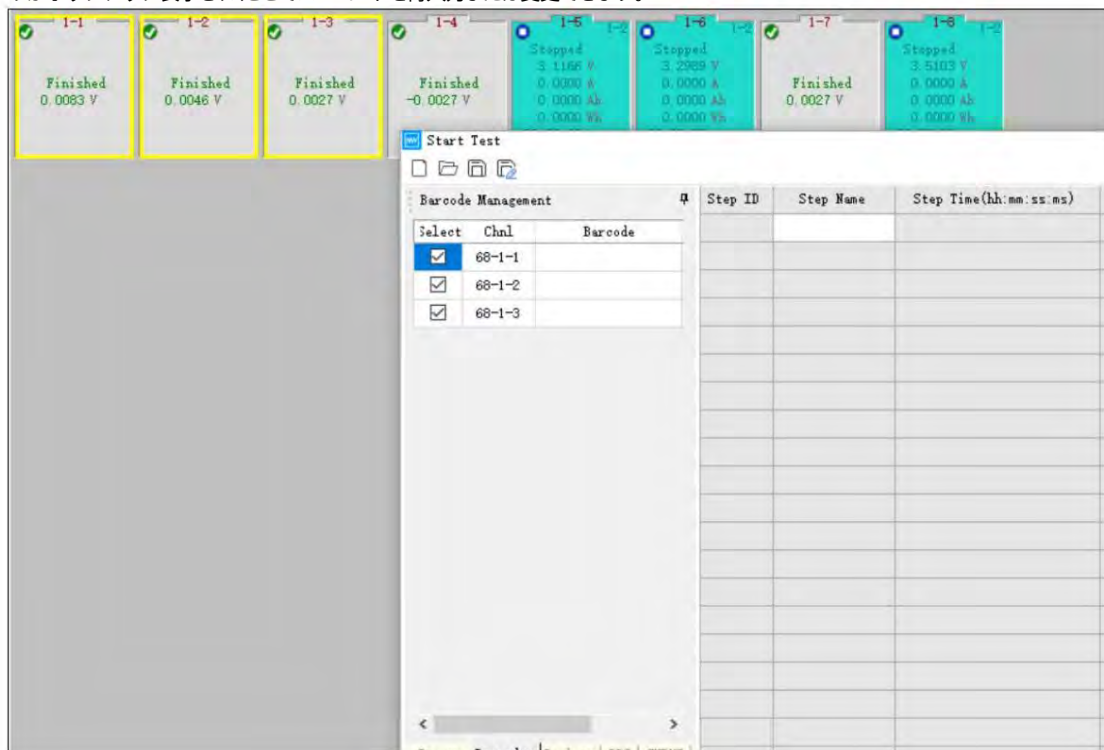
### 3.13.9. バーコードリセット

機能: テストはすでに開始されているが、オペレーターがバーコードが間違っていることに気付いた場合、

バーコードリストを使用してバーコードを変更できます。

操作手順:

- 1) 変更する必要があるバーコード/チャンネルを選択し、右クリックして「バーコードリセット」を選択すると、テスト開始ウィンドウがポップアップ表示され、ここでバーコードを再入力または変更できます。

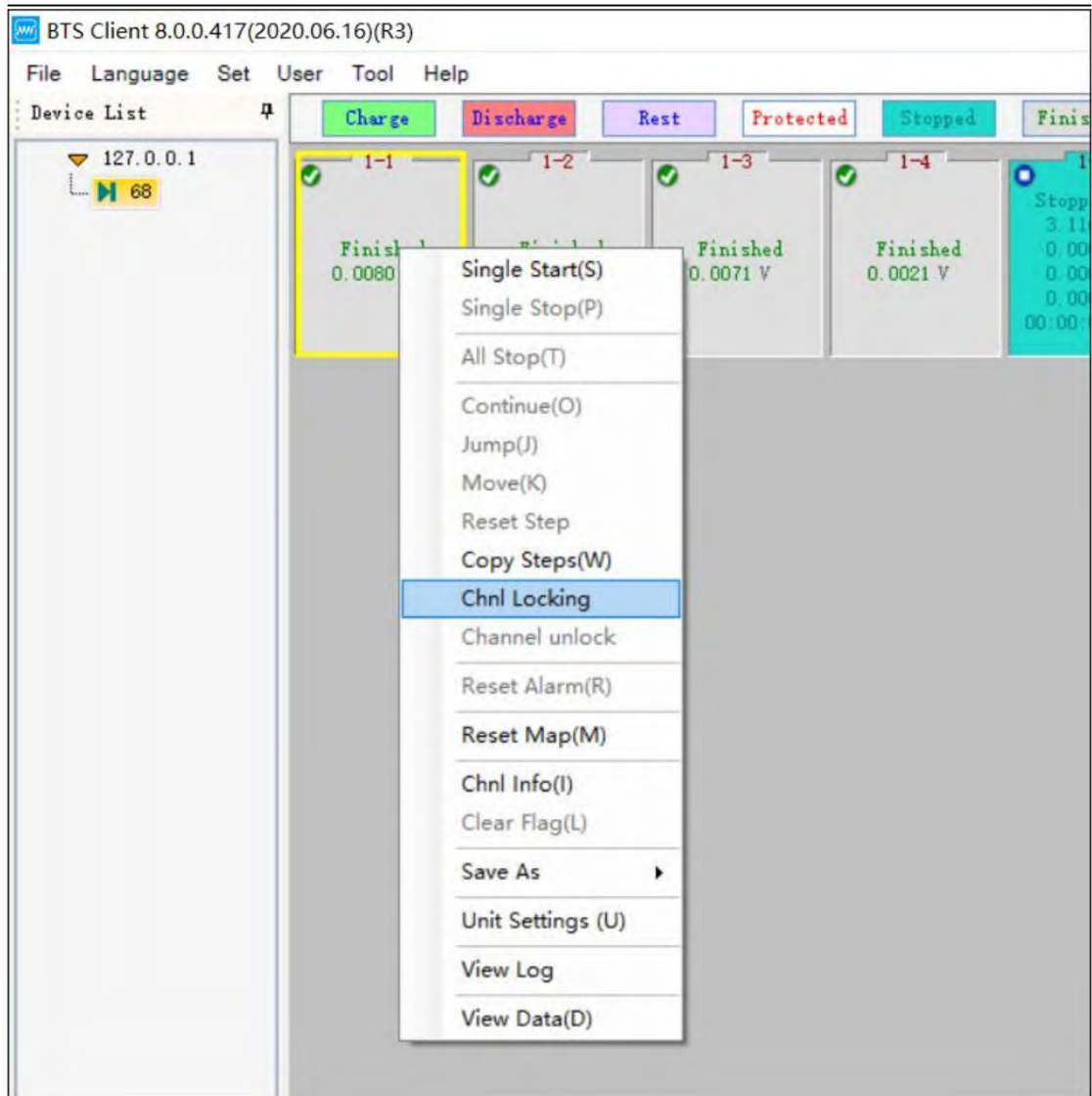


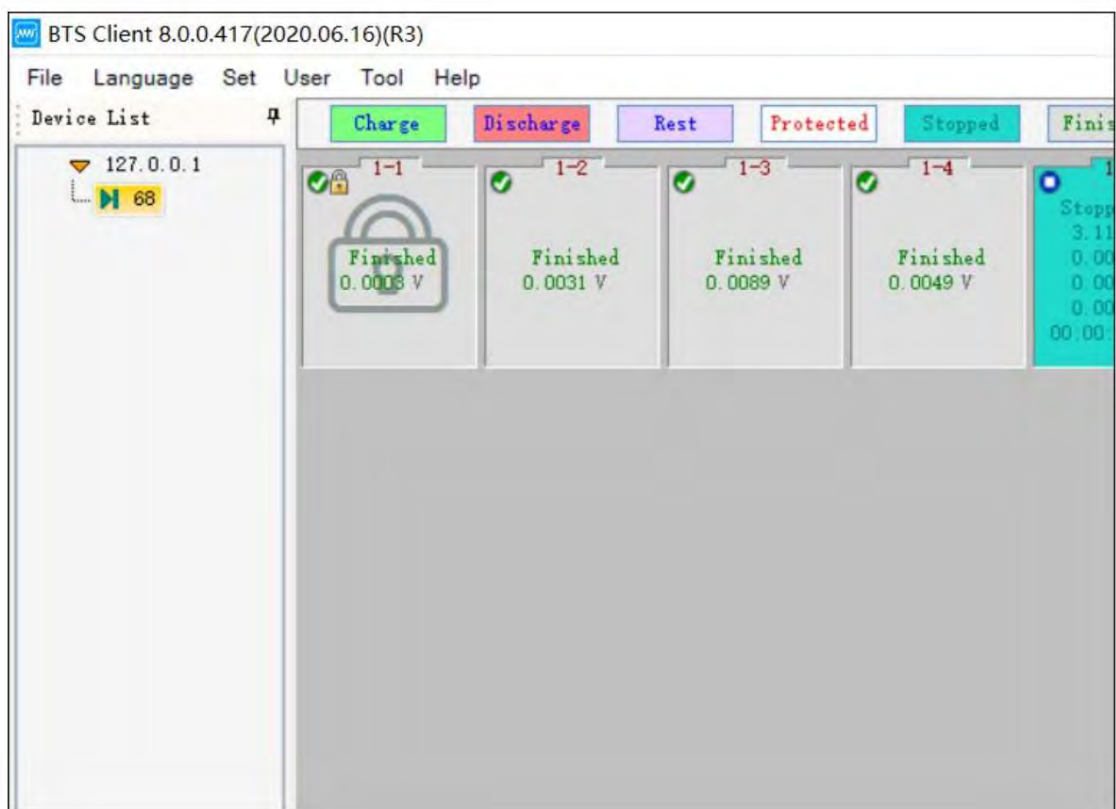
### 3.13.10. チャンネルのロック/ロック解除

1. 重要なテストを実行している一部のチャンネルでは、他の人が偶然触れてしまったら、閉じ込めてしまうのが最善の選択肢でしょう。ロックしたいチャンネルを右クリックして「チャンネルロック」を選択すると、チャンネルは

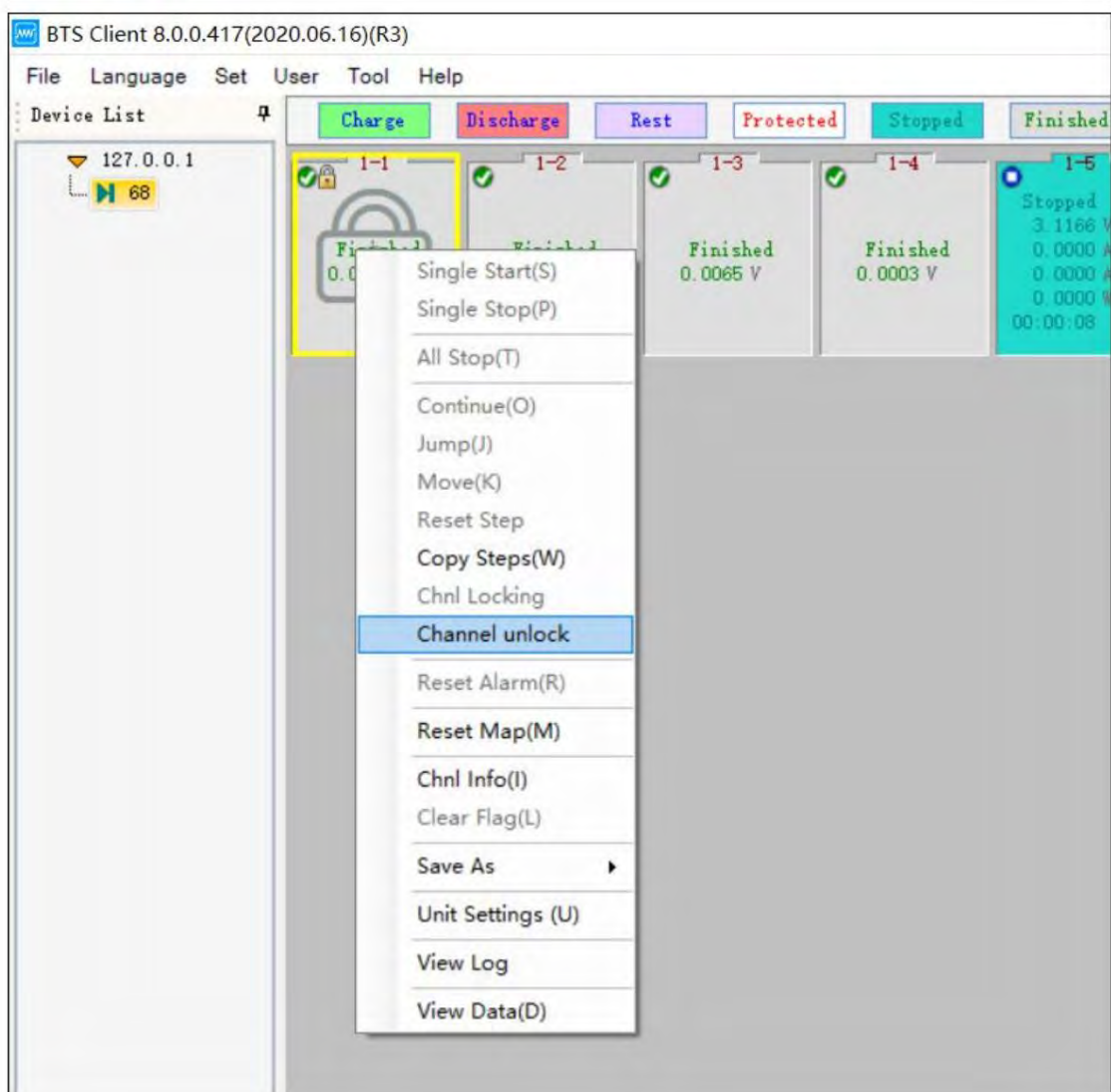
アイコンでロックされています。かなり便利ですよね？

2. チャンネルのロックを解除したい場合は、チャンネルを右クリックして「チャンネル」を選択するだけです。「ロック解除」を選択するとロックが解除されます。





ロックを解除する必要があるチャンネルを選択します。



### 3.13.11. アラームをリセットする

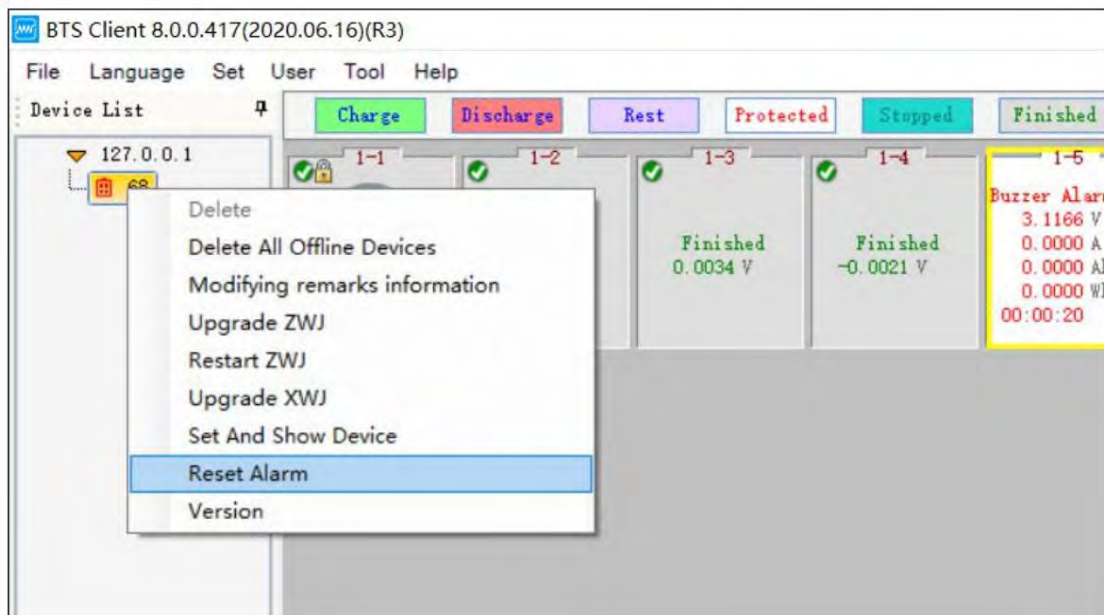
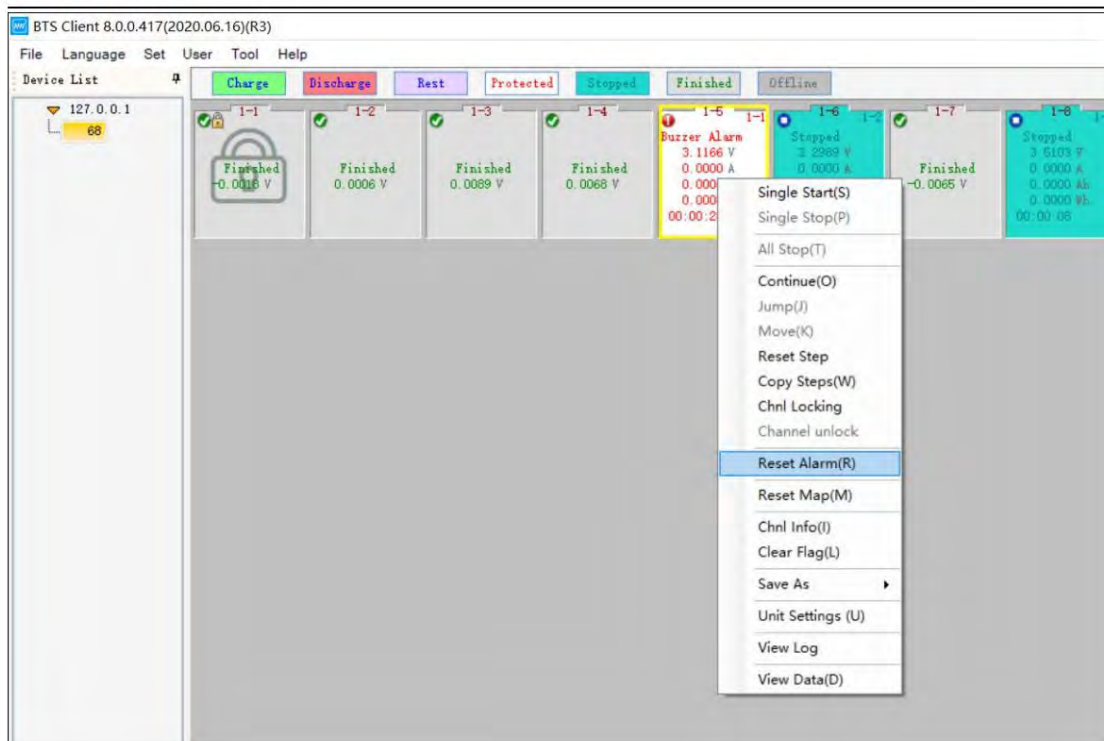
- 一部のチャンネルでは、安全設定が作動したために赤い感嘆符が表示されていました。

このような場合、警告をクリアする必要がある場合は、右クリックして

チャンネルで「アラームをリセット」を選択すると、警告メッセージは消えます。

- 警告状態になっているチャンネルが複数あり、それらをすべてクリアしたい場合は、中間マシンIDを右クリックし、「アラームをリセット」を選択すると、すべてのアラームをクリアできます。

このミッドマシンの下にあるすべてのチャンネルに警告メッセージが表示されます。



### 3.13.12. マッピングをリセットする

マッピングされていない中間マシンのマッピング操作を設定するには、マッピングする中間マシン（下の図に示すようにデバイスリストで選択）をクリックし、インターフェースの右側の空白領域でマウスの右ボタンをクリック→「マッピングをリセット」→ポップ上「設定マッピング」インターフェース。

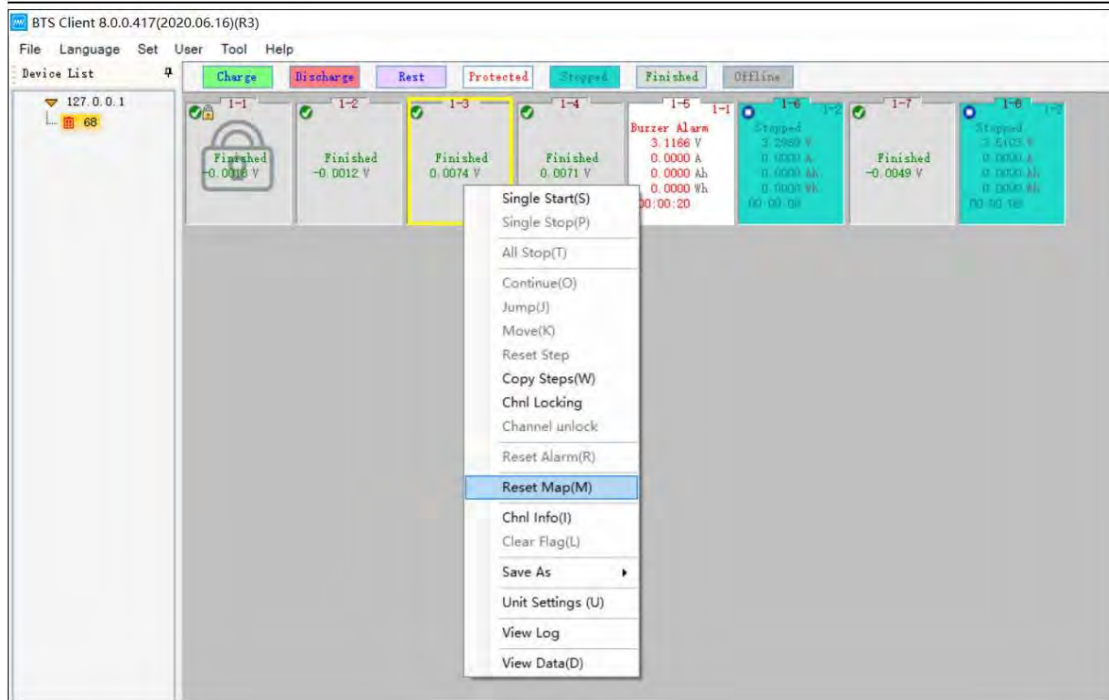


図3.12.12 チャネルマッピング

1. 主要チャネルのマッピング：

メインチャンネルとインターフェース上のチャンネルは任意にマッピングすることができ、メイン チャネル マッピングの場所は、マッピング インターフェイス上の大きなボックスの場所です。

チャンネルを選択し、マウスで右クリックして「メイン チャネルのデフォルト マッピング」を選択します。

主な設定は1\*8、1\*16、1\*24、1\*32、カスタムの5つです。マッピングの1つを選択します。

方法を選択すると、システムはすべての主要チャンネルを以下の図のようにマッピングします。

マッピングチャンネルをキャンセルするには、チャンネル上でマウスの右ボタンをクリックして「キャンセル」を選択します。

現在のチャンネル"; すべてのマッピング関係をキャンセルする場合は、"すべてクリア" を選択します。

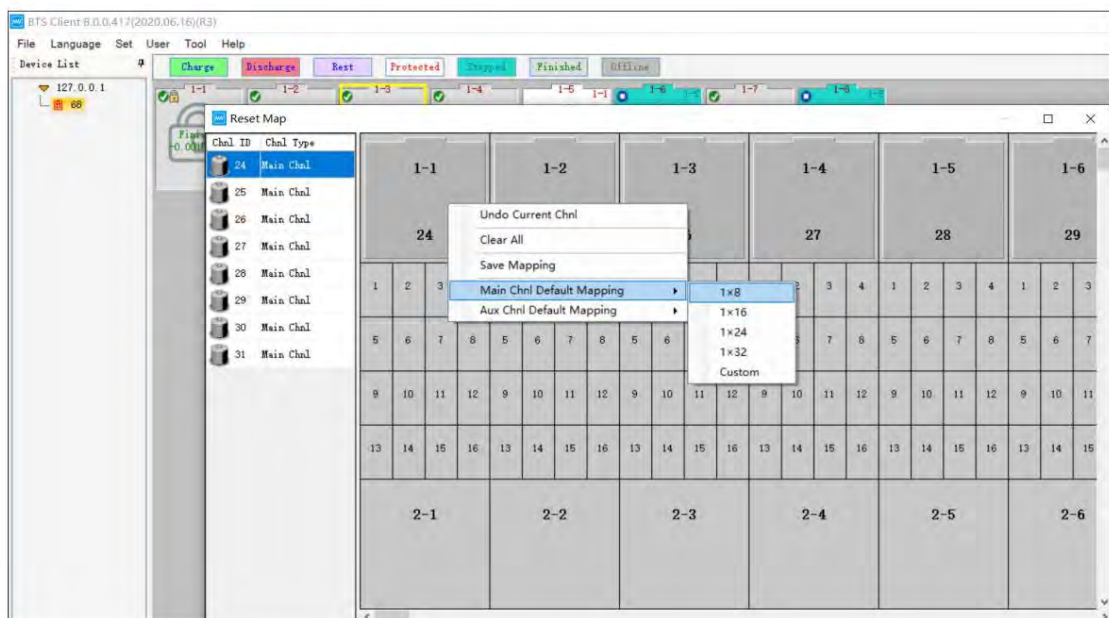
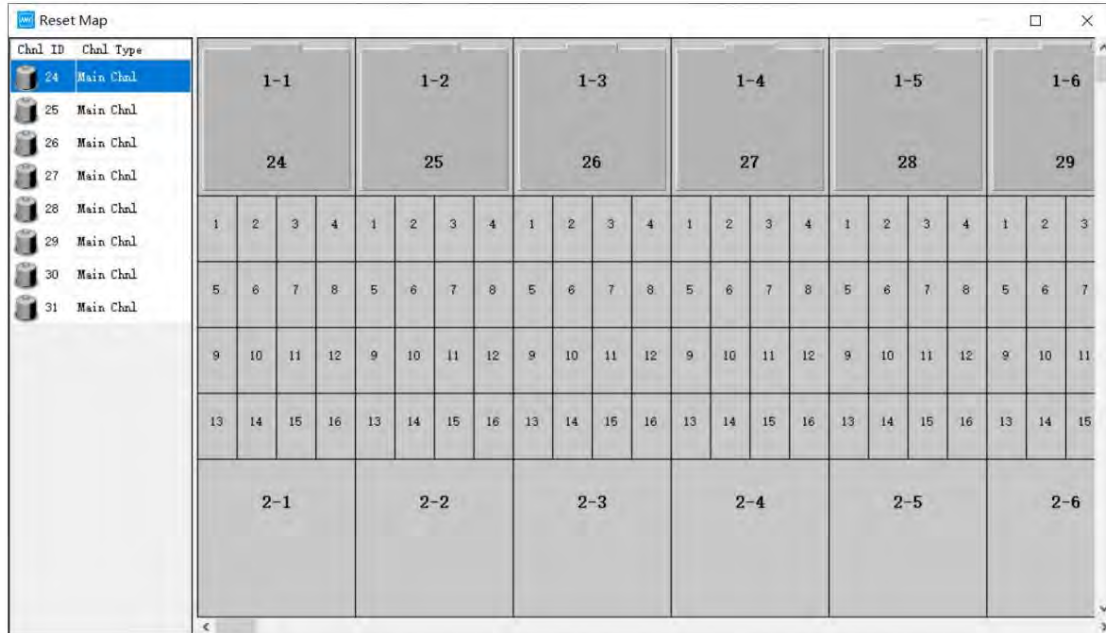


図3.12.13 チャネルマッピング

デフォルトのマッピング1x8は各行に8つのチャンネルがあることを意味し、1x16は各行には 16 個のチャンネルがあります。

1x24は各列に24チャンネル、1x32は各列に32チャンネルあることを意味します。

行。1x8 は下の写真のようになります。



また、行\*列のマッピングをカスタマイズすることもできます。たとえば、20を入力すると、各行には20チャンネルあります。1行あたりの最大チャンネル数は32なので、32 と入力すると、列は自動的に 8 になります。

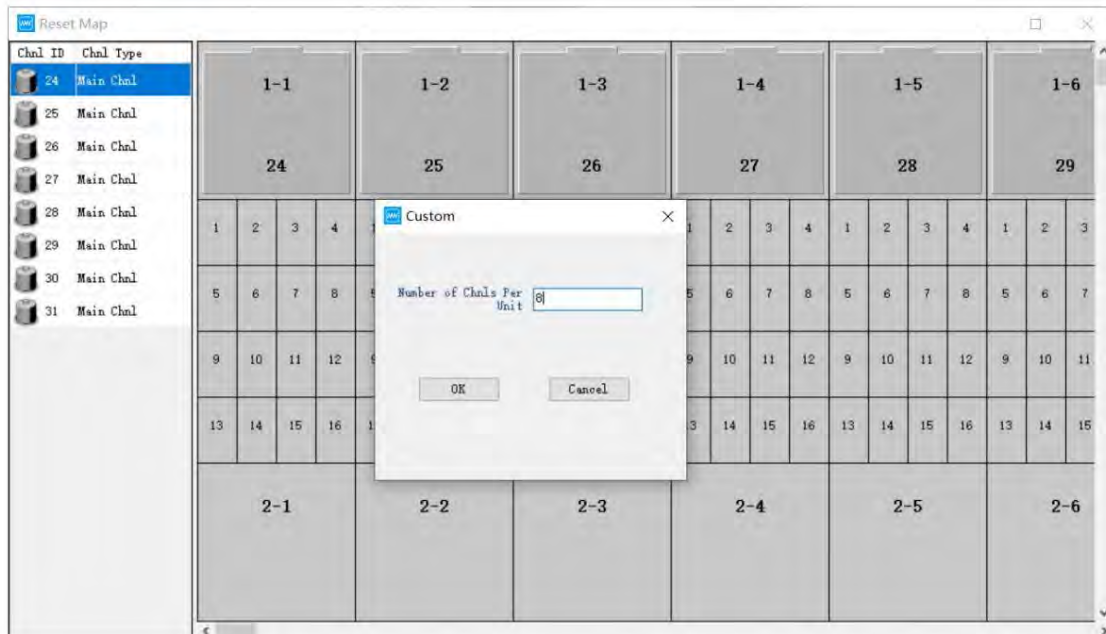


図3.12.14 連続して表示するチャンネル数

補助チャンネルのマッピング: 補助チャンネルを追加するメインチャンネルを右クリックします。「AUXチャンネルマッピングをデフォルトにする」メニューを選択すると、AUXチャンネルが平均的にはメインチャンネルにマッピングされます。マッピング操作後、右クリックしてもう一度「マッピングを保存」を選択します。下の図を参照してください。

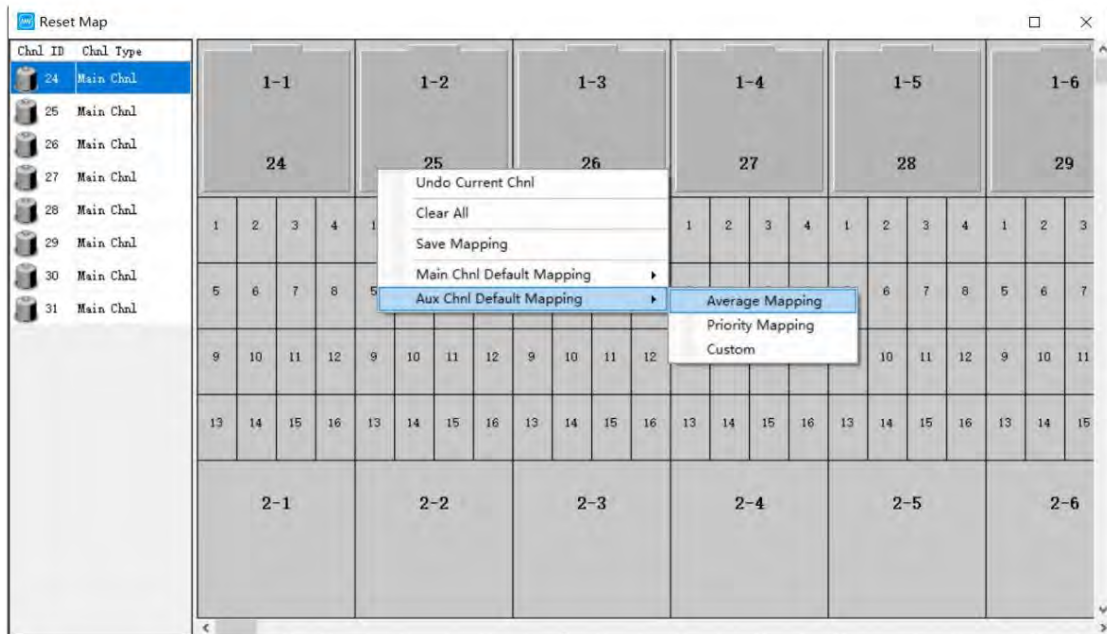







図3.12.15 補助チャンネルのマッピング

	<p><b>注</b> :黄色のアイコン  上の図は、まだマッピングされていないチャンネル、紫色  アイコン</p> <p>補助チャンネルがまだマッピングされていないことを意味します。チャンネルがマッピングされると、色は灰色になり、チャンネルを再度マッピングできなくなります。</p>
	<p><b>注意</b> :マッピングされたメインチャンネルの前のバッテリーアイコンが黄色から灰色に変わります。</p> <p>再マッピングすることはできません。現在マッピングされているチャンネルをキャンセルしたい場合は、右側のチャンネル上でマウスボタンを押し、「現在のチャンネルをキャンセル」を選択します。「すべてクリア」を選択した場合は、マップされたすべてのチャンネルをキャンセルします。</p>
	<p><b>注意</b> :補助チャンネルのマッピングをキャンセルしたい場合は、マウスの右ボタンをクリックしてください。</p> <p>補助チャンネルで「現在のチャンネルをキャンセル」を選択します。すべてのマッピングをキャンセルするには、「すべてクリア」。この時点で、すべてのメインチャンネルと補助チャンネルのマッピングがクリアしました。</p>

### 3.13.13. チャンネルのコピー

機能: チャンネル範囲が同じ場合、1つのチャンネルのステップパラメータをコピーします。

別のまたは複数のチャンネル。

操作方法 :

1. 対象チャンネルを選択します。
2. 右クリック→「チャンネルコピー」をクリックして、図に示すようにチャンネルコピーインターフェースに入ります。

下に;

3. インターフェースの右下にある「チャンネルを選択」をクリックしてチャンネル選択に入ります。

インターフェース:

4. コピーするチャンネル番号を選択します。

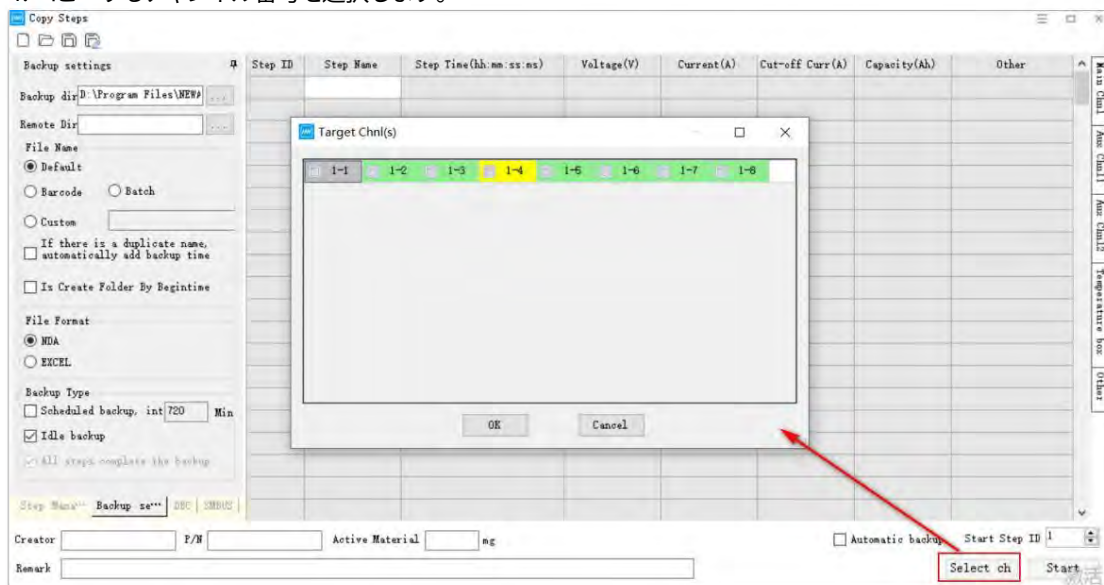


図 3.12.16 道路の復制

### 3.13.14. マークをクリア（チャンネルをリセット）

一部の機能は、チャンネルが完了したときのみ操作できます。保護または停止されている場合チャンネルを完了するには、クリア フラグを使用してチャンネルのステータスを完了に変更します。

操作方法：

1. チャンネルエリアで対象チャンネルを選択する
2. 「マークをクリア」を右クリック

### 3.13.15. 単位設定

ユーザーのさまざまなテスト目的に応じて、対応するユニットパラメータを設定します。

柔軟でシンプルな設定プラットフォームを提供します。

操作方法：

チャンネルを右クリック→「単位のカスタマイズ」で設定する単位を選択→「OK」、このとき、テストデータ内のデータ単位は、ユーザーが設定した単位パラメータに従って次のように表示されます。

形：

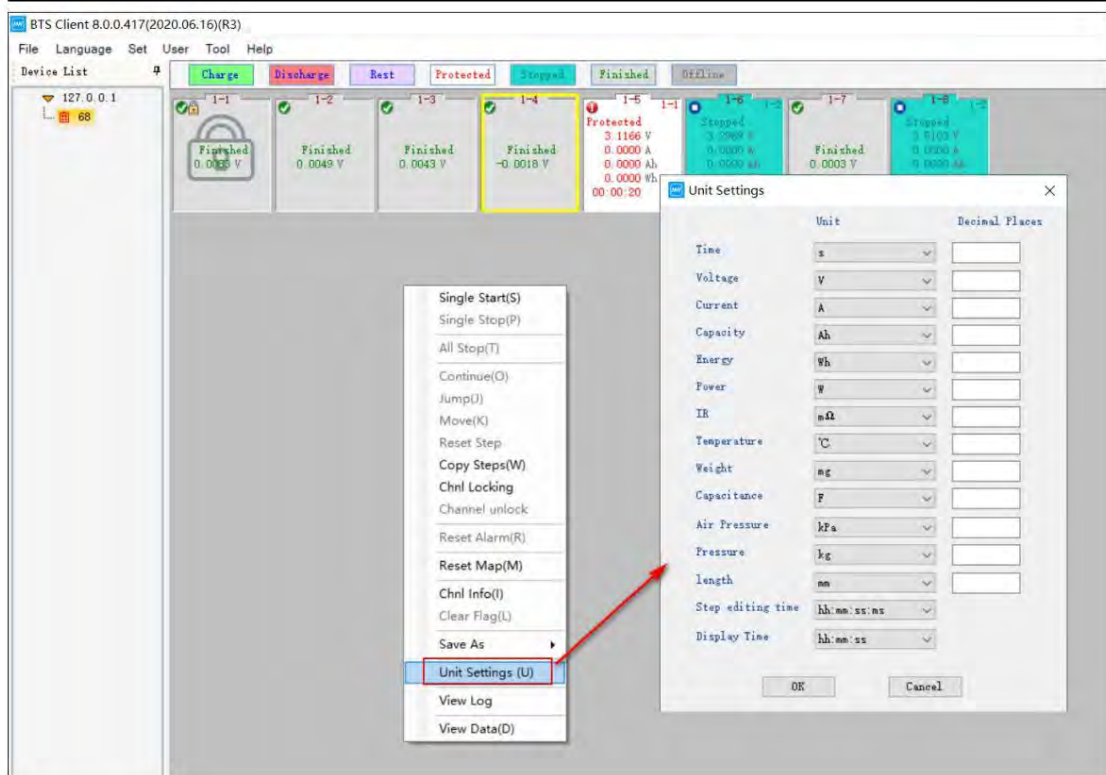


図3.12.17 BTSクライアントの単位設定

### 3.13.16. ログを確認する

BTSログにはローカルログと機器ログが含まれます。ローカルログはユーザー操作です。

クライアントによって記録された。機器ログは、クライアントによって記録されたチャンネルテストステータスの変更です。

中央コンピューターとテスト中の異常および迅速な情報。

操作方法：

チャンネルを選択し、右クリックして [ログ] を選択すると、次の図に示すようにログ リストが開きます。

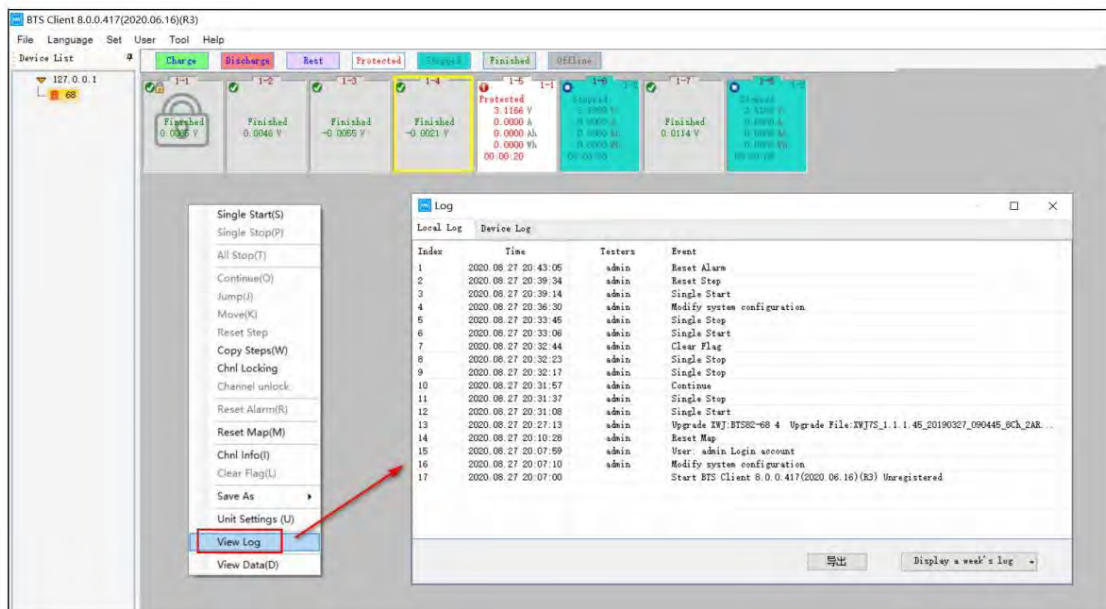


図3.12.18 BTSログビュー

ローカルログの場合は、ダブルクリックして詳細情報を表示できます。たとえば、マッピングをリセットします。  
次の図に示すように、マッピング前とマッピング後のマッピング情報を表示します。

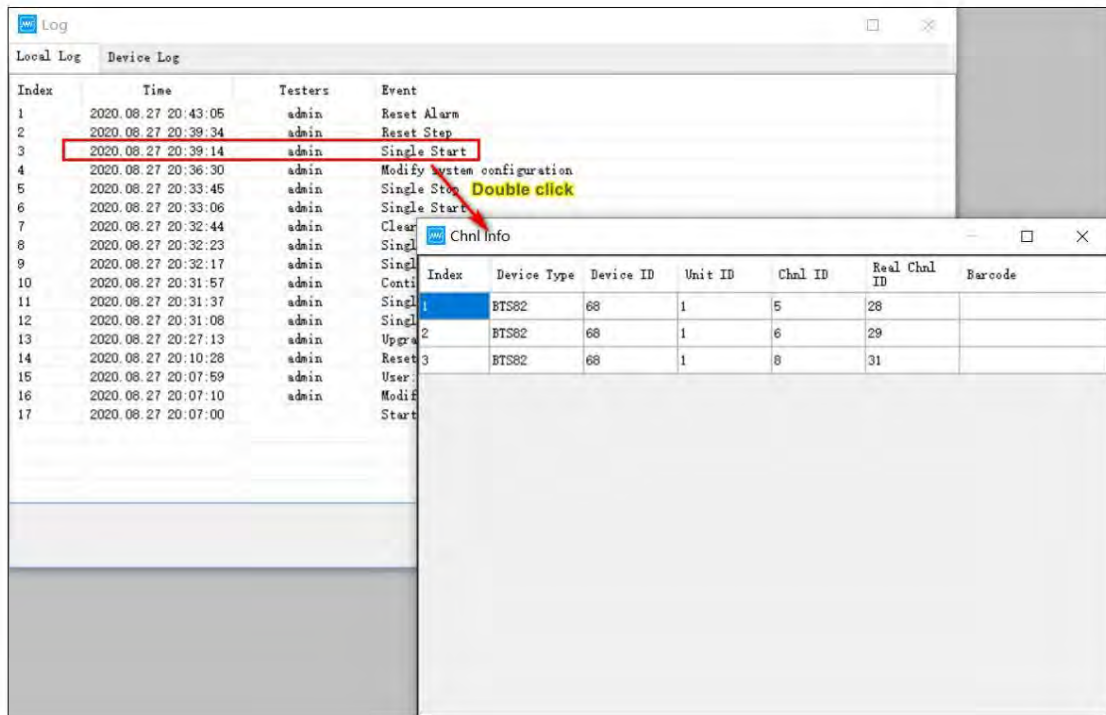




図3.12.19 ダブルクリックしてログの詳細を表示

### 3.13.17. チャネルデータ

右クリック→「チャンネルデータ」で選択したチャンネルのテストデータを開きます。これで、  
対応するチャンネルテストデータを分析するには、下の図に示すようにインターフェイスをクリックします。




アイコン  すると、曲線設定インターフェイスが表示されます。「曲線設定」インターフェイスの下で、  
X 座標軸と Y1 座標軸および Y2 座標軸によって表されるパラメータを選択します。



デフォルトのパラメータ設定は次のとおりです: Xは「時間」、Y1は「空」、Y2は

「空」、Y3は「空」を意味し、Y4は「空」を意味し、ラベル属性の下の色をクリックします 

グラフエリアの曲線の色を設定できます。他にもショートカットがあります

ツールバーの機能、例えば  曲線の比較、  データフィルタ、  サイクルレイヤーデータ

拡大する、  ステップレイヤーデータの展開、  サンプルレイヤーデータの拡張、  Excelファイルのエクスポート、

 DCIR計算、  データ領域とグラフ領域を切り替えます。

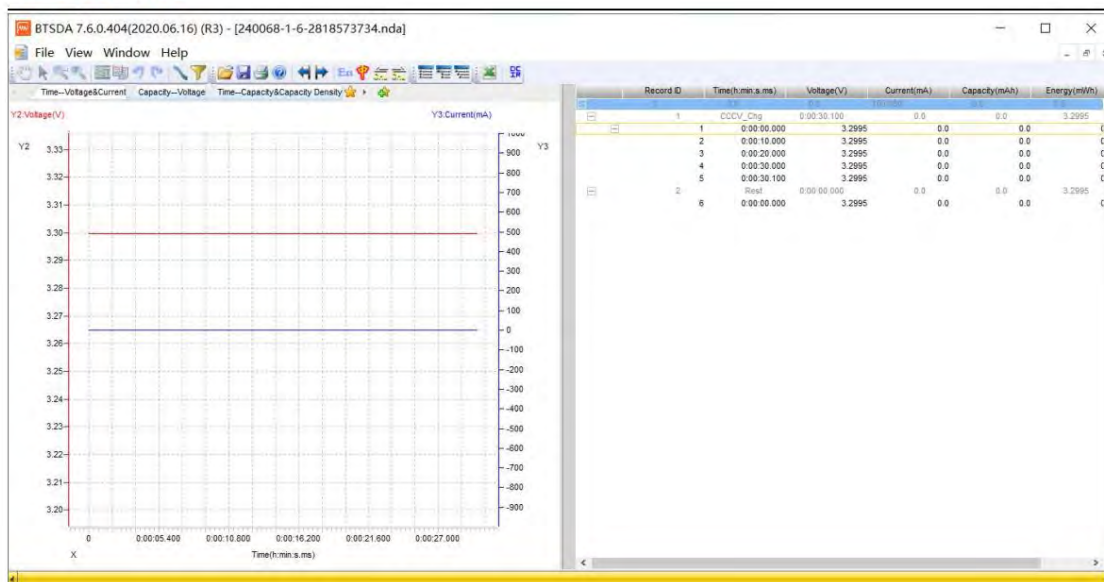


図3.12.20 BTSDAインターフェース

### 3.13.18. チャンネルデータ/テストデータの保存

テストデータは、「チャンネルデータ」および「名前を付けてデータを保存」を通じて表示できます。

チャンネルデータ操作方法:

右クリックメニュー->「チャンネルデータ」をクリックして、選択したチャンネルのテストデータを開き、

次に、BTSDA ソフトウェアを使用してデータを分析します。

データの保存方法:

右クリックメニューをクリックし、「名前を付けてデータを保存」を選択し、「NDAファイル」または「Excelファイル」を選択して、

エクスポートパスは次の図のようになります。

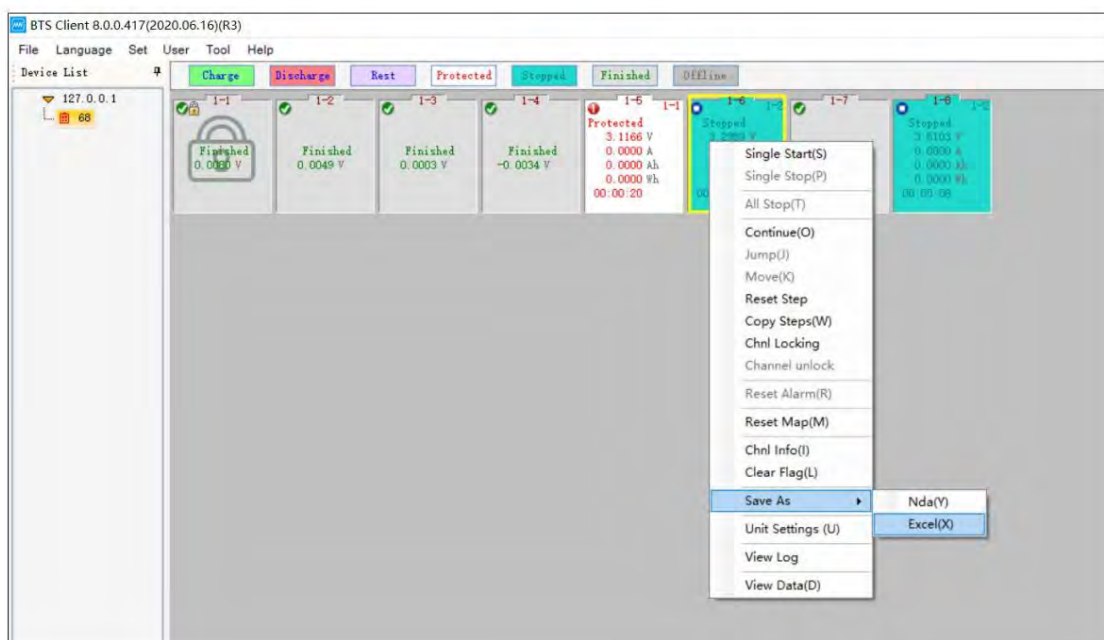


図3.12.21 Neware NDAテストデータを他のファイル形式で保存

ファイルとして保存されたデータの命名形式は、システム設定で設定できます。

下図の通り：

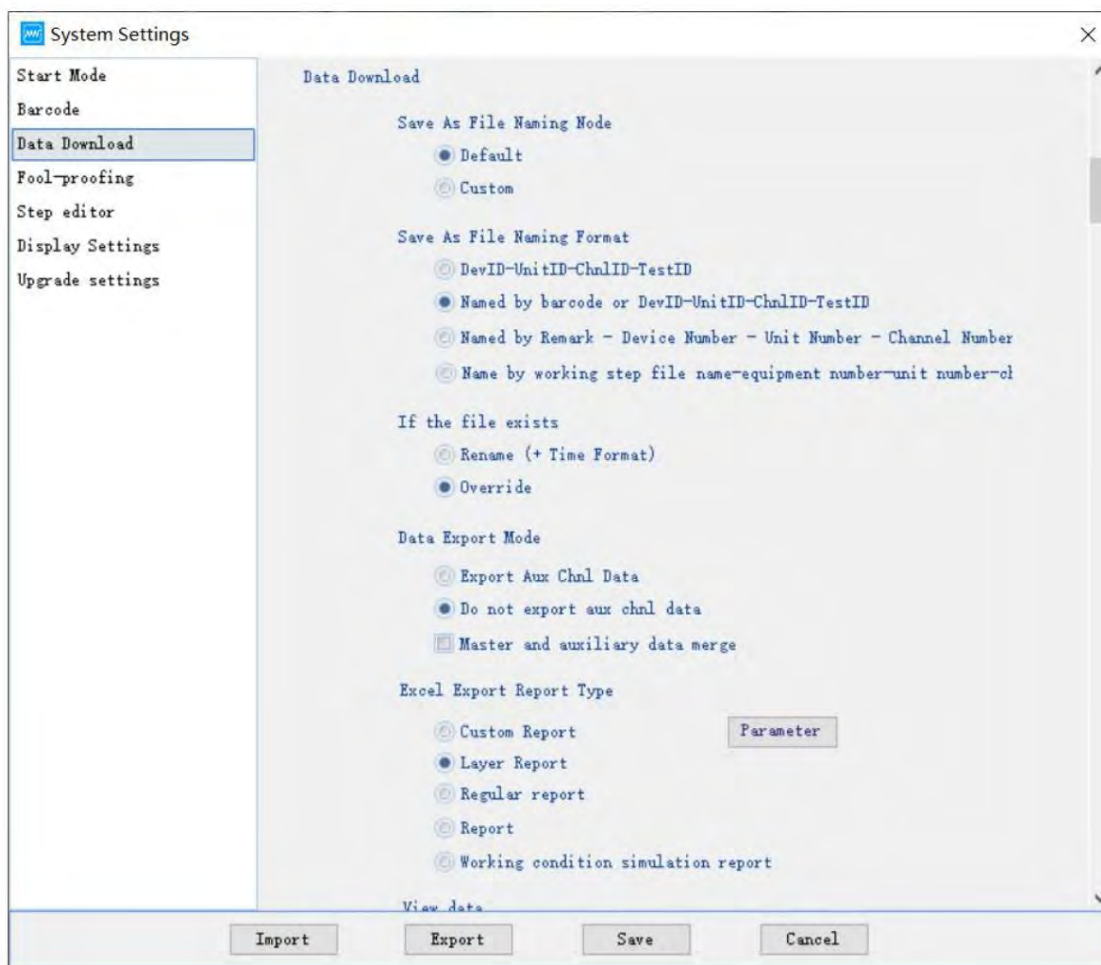


図3.12.22 データを他の形式で保存

### 3.13.19. チャンネル情報

チャンネル情報を照会して、選択したチャンネルの詳細情報を確認します。

たとえば、現在のチャンネル範囲、チャンネル番号、実行ステップのステータス、ソフトウェアバージョンなどの詳細情報を表示できます。このアイコンは現在実行中であることを示します。▶ ステップ。

操作方法：

1. 視聴するチャンネルを選択します（選択されたマークは、チャンネルに黄色のフレーム）；
2. 「チャンネル情報」をダブルクリックまたは右クリックします。
1. デュアルレンジ機器の航続距離情報は、バッテリー航続距離を通じて確認できる。

チャンネル情報インターフェースに関する情報。



図3.12.23 実行中にチャンネル/プロファイル情報を確認する

「チャンネル情報」インターフェースで、「中間コンピュータ/下位コンピュータ」をダブルクリックします。次の図に示すように、チャンネル属性列の「情報」項目をクリックすると、より詳細な情報が表示されます。

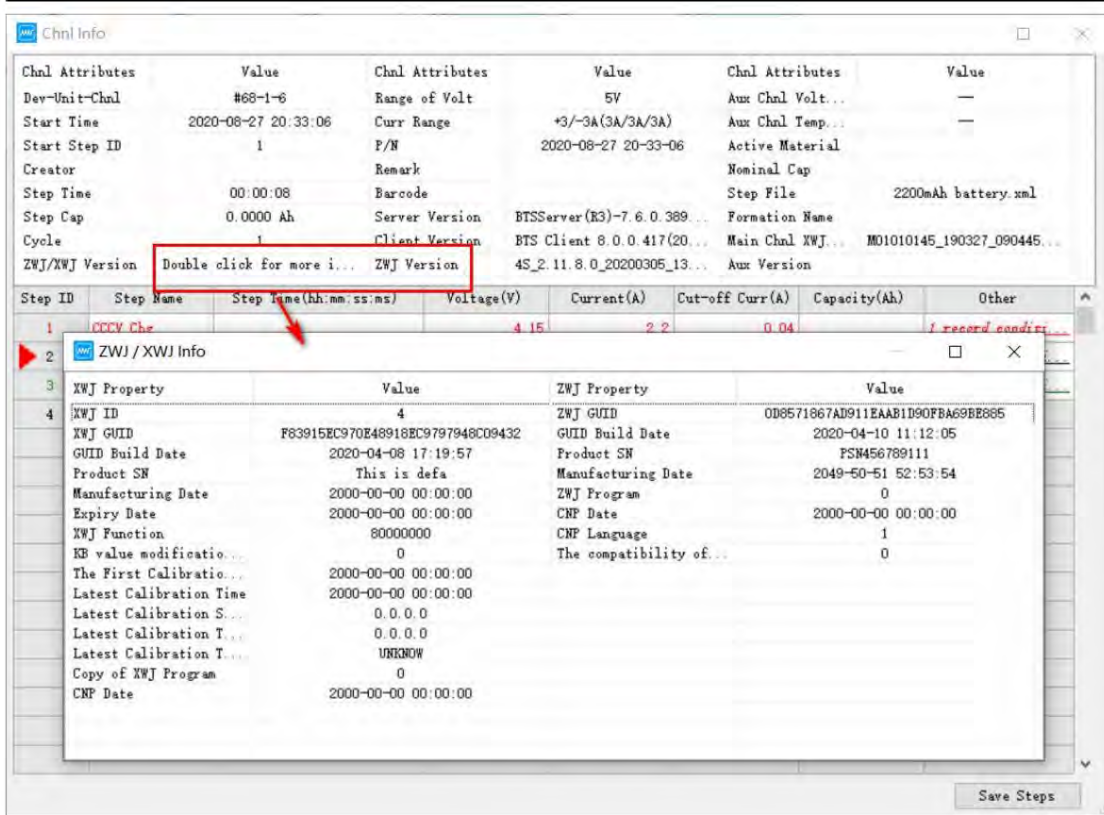
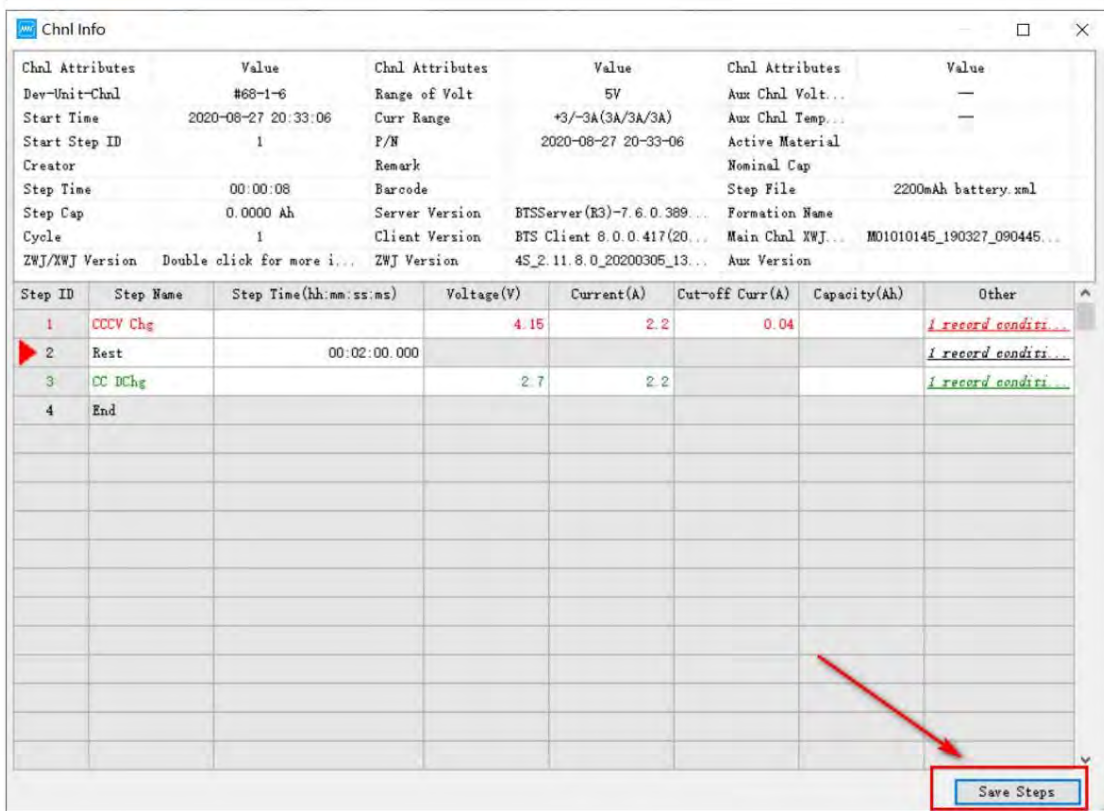


図3.12.24 ミッドマシンとテスターの情報を詳細に確認する

現在のステップ操作を保存するには、[ステップを保存] をクリックします。

ステップの保存ボタンをクリックすると、保存パスがポップアップ表示されるので、ステップファイル名を入力します。

下に：



### 3.14. リストビュー

チャンネル状態パラメータはリスト形式で表示され、リスト表示インターフェイスには、テストの開始、テストの停止、データの表示など、チャンネル グラフィック表示インターフェイスと同じ機能があります。

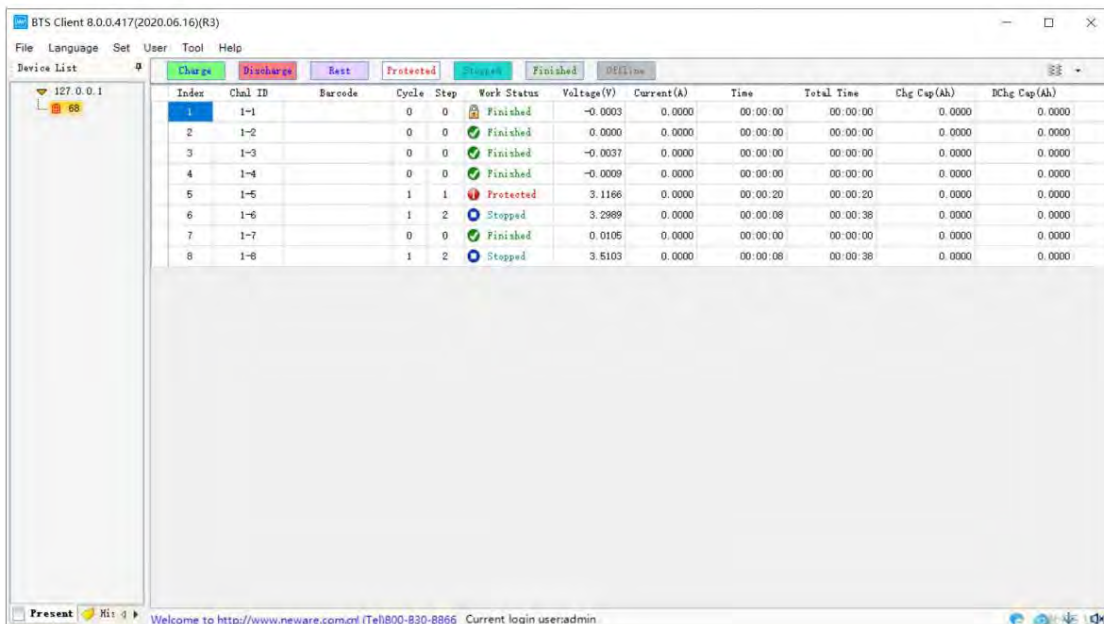


図3.13.1 リスト表示モード

### 3.14.1. 右メニューの機能

リストインターフェースとチャンネルグラフィカルインターフェースには同じ右クリックメニューがあります。次の図に示すように機能します。

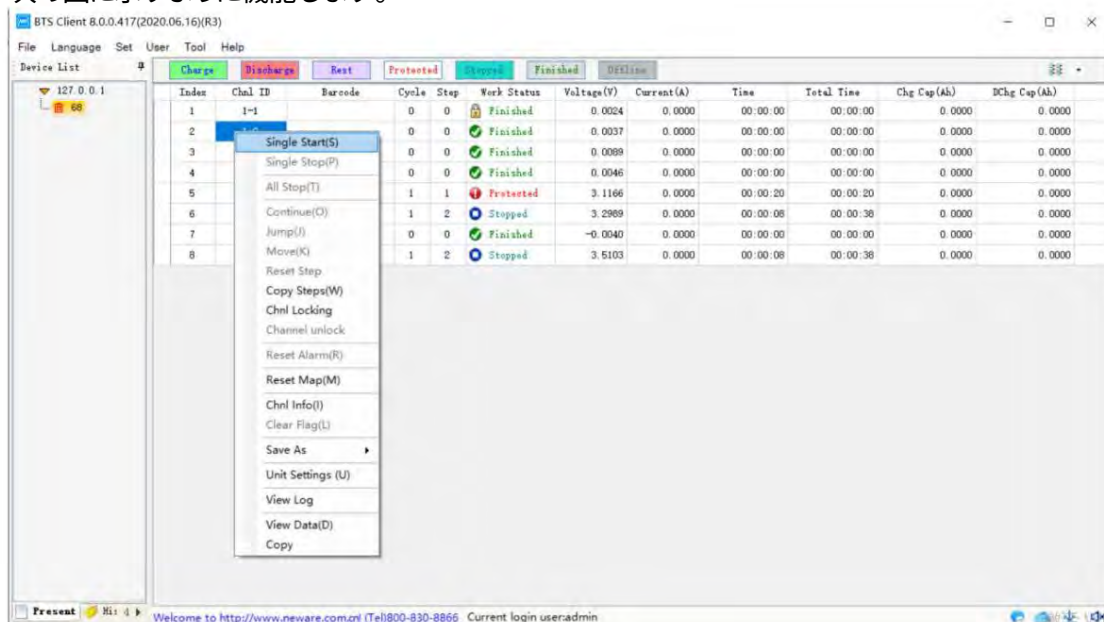


図3.13.2 リスト表示モードの右メニュー

### 3.14.2. 表示パラメータの設定

リスト表示では、表示する列パラメータを設定できます。

操作方法：

1. リストの先頭にマウスを置きます。
2. 右クリック --> 設定するパラメータをチェック表示されます。

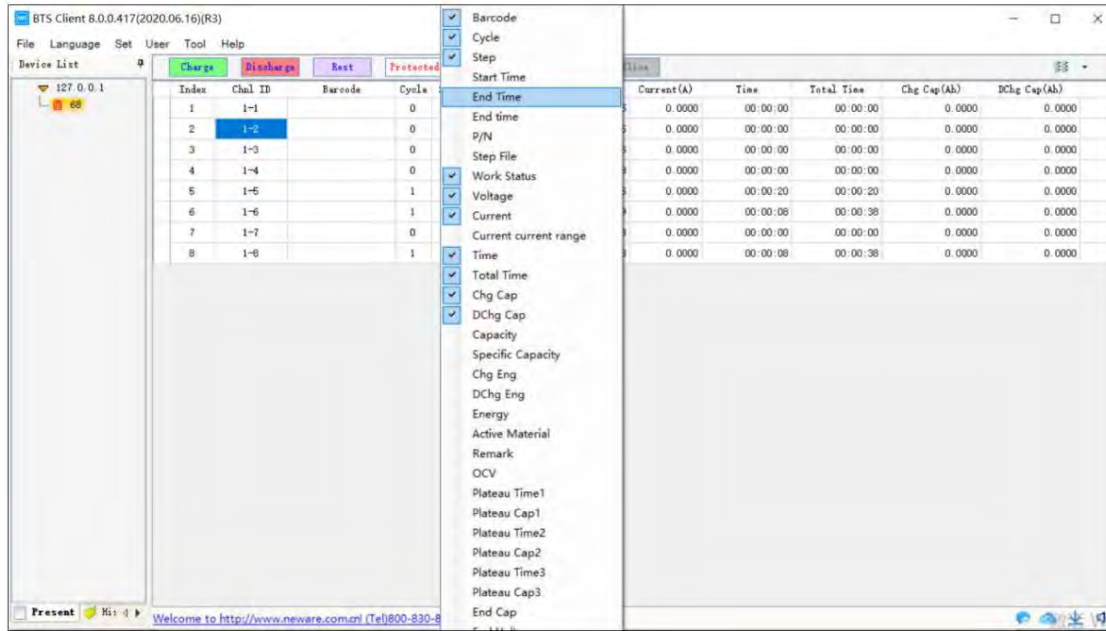


図3.13.3 リスト表示モードのフィールドを構成する

### 3.14.3. バーコード入力

バーコード入力機能がリストに表示されます。バーコード入力列を右クリックすると、次の機能があります。バーコードの削除、バーコードのクリア、バーコードの一括生成、バーコードのインポート、バーコードのエクスポート、コピーその他の機能。

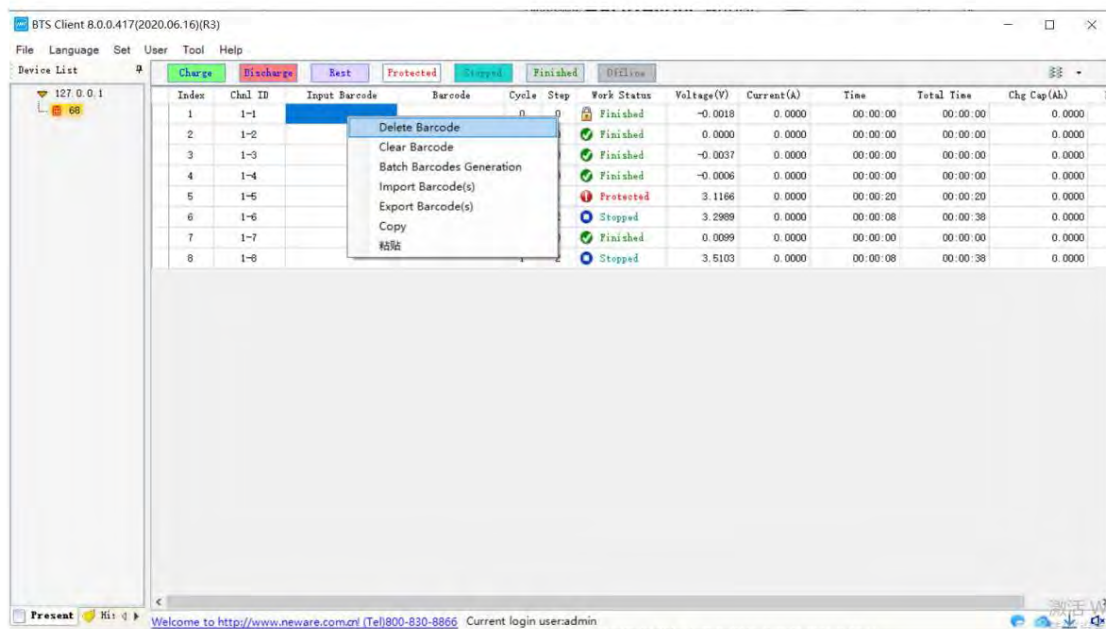


図3.13.4 バーコード入力

1. バーコードを入力する

① 手でバーコードを入力またはスキャンして、1つのポイントでテストを開始し、バーコード対応するチャンネルのテストデータにバインドできます。

② 操作方法：

- ③ リスト表示で「バーコードを入力」をチェックします（新しく入力したバーコードは「次のテストで使用されるバーコード」および「バーコード」（現在テストされているバーコード）
- ④ 入力バーコード列に対応するチャンネル番号を選択し、ダブルクリックします。

マウスの左ボタンで入力モードに入り、コード スキャナーを使用することもできます。

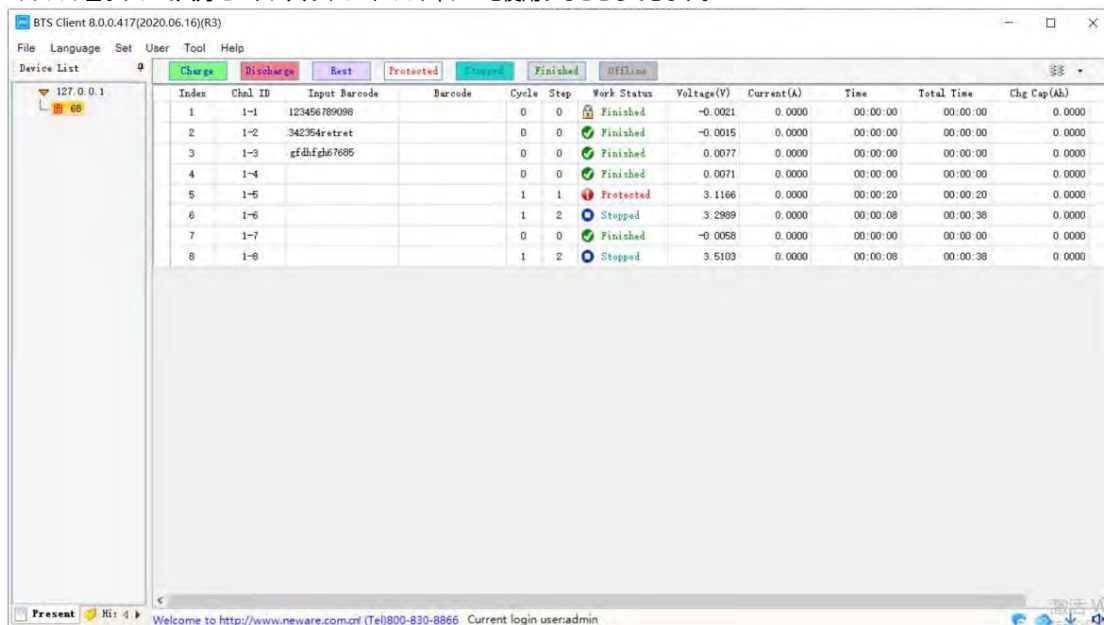


図3.13.5 バーコード入力

- ⑤バーコードを手動で入力した後、Enterキーを押すか、バーコードリーダーでバーコードをスキャンします。スキャナーでは、入力フォーカスが正しいバーコード フィールドにあることを確認してください。
- ⑥編集ボックスは自動的に次の選択されたチャンネルにジャンプし、スキャンを続けます。
- バーコード;
- ⑦スキャンが完了したら、対応するチャンネルをシングルポイント起動します。

注記：

1. バーコードはスキャン後に自動的に保存されます。テストが終了しない限り、他のデバイスを切り替えたり、ソフトウェアを再起動したりしても、切り替え後に戻ってみると、スキャンしたバーコードはまた存在しています。
2. 「バーコード入力」メニューを選択すると、他の列の表示ボックスは選択しないと、対応する右クリック メニューが表示されません。
3. 「バーコード入力」を選択しなかったチャンネルはバーコードをスキャンできません。バーコードを入力するのに選択されたチャネルは連続していないため、現在のチャンネルを選択すると、次のチャンネル番号ではなく、入力した次のチャンネルにスキップします。
4. 「バーコード入力」列はバーコードをインポートおよびエクスポートでき、「バーコード」列はエクスポートできます。バーコードを txt 形式に変換する場合、この機能は便利です。

## 2. 削除

バーコード入力欄で、バーコードを削除するチャンネルを選択し、右クリックしてバーコードを削除します。

## 3. すべてをクリア/削除

バーコード入力列で右クリックしてバーコードをクリアすると、すべてのバーコードがクリアされます。

## 4. バッチでバーコードを生成する

テストの便宜上、ソフトウェアは連続バーコードをバッチで生成できます。

操作方法：

1. 「バーコードを入力」列の編集ボックスを選択します。
2. 右クリック --> 「バーコードをバッチで生成」
3. バッチバーコード生成ウィンドウに初期バーコードを入力します -->

"わかりました".

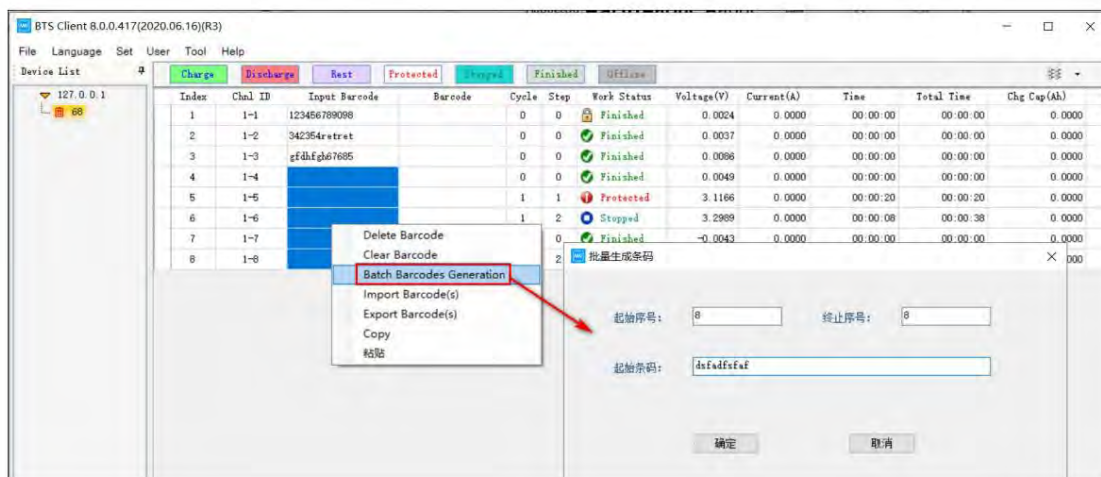


図3.13.6 バッチでバーコードを生成する

#### 5. インポート

バーコード入力列を選択し、バーコードをインポートするチャンネルを選択し、右クリックして選択します

バーコードファイルをインポートし、確認後、バーコードファイルをインポートできます。

注意 : 選択したチャンネルからバーコードの入力/インポートが開始されます。

#### 6. エクスポート

入力バーコードまたはバーコード列を選択し、右クリックしてバーコードのエクスポートを選択すると、列バーコードのエクスポートは TXT ファイルとして保存されます。

#### 7. コピー

コピーするバーコードを選択し、右クリックしてコピーします。

## 3.15.容量の等級分け

バッテリーは性能に応じて分類され、このソフトウェアは分類条件を設定できます  
並べ替え結果を表示します。

### 3.15.1. 採点設定

ソートは前回のサイクルのテストデータを使用して計算されます

ソートの説明:

放電容量:最後のサイクルの最後の放電ステップの放電容量。

放電時間:最後のサイクルの最後の放電ステップの放電時間。

プラットフォーム時間:最後のサイクルで、最後の排出ステップが指定された時間に到達した時間

プラットフォーム電圧;

プラットフォーム容量:最後の排出ステップが指定されたプラットフォームに到達したときの容量  
最後のサイクルの電圧。

開回路電圧:最後のサイクルで最初に記録されたデータの電圧

放電中間電圧 :最後のサイクルで、放電の半分に相当する電圧

最後の排出ステップの容量。

定電流充電時間:最後の定電流充電ステップにかかる時間。

最後のサイクル。

充放電効率:最後のサイクルにおける充電ステップ/放電ステップの容量。

回復電圧:最後のサイクルの最後の放電ステップの回復電圧。

間隔ソート設定:

方法 1: テキスト ボックスをダブルクリックし、各間隔を XX-XX (最小値-最大値) 形式で入力します。

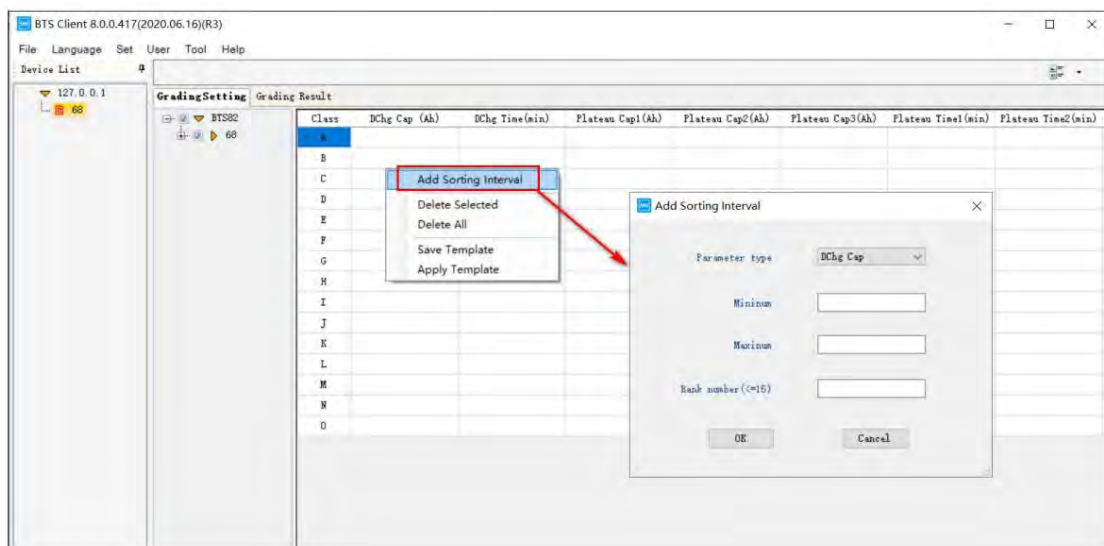
方法2 :右クリック→採点基準を追加

ソート手順はファイルとして保存することも、保存したファイルから読み込むこともできます。

ソートは複数の機器で同時に操作できます。デフォルトでは、現在の

機器、複数の機器を操作する必要がある場合は、対応する機器を選択してください

左側のリストにある機器。



3.14.1 評価基準の設定

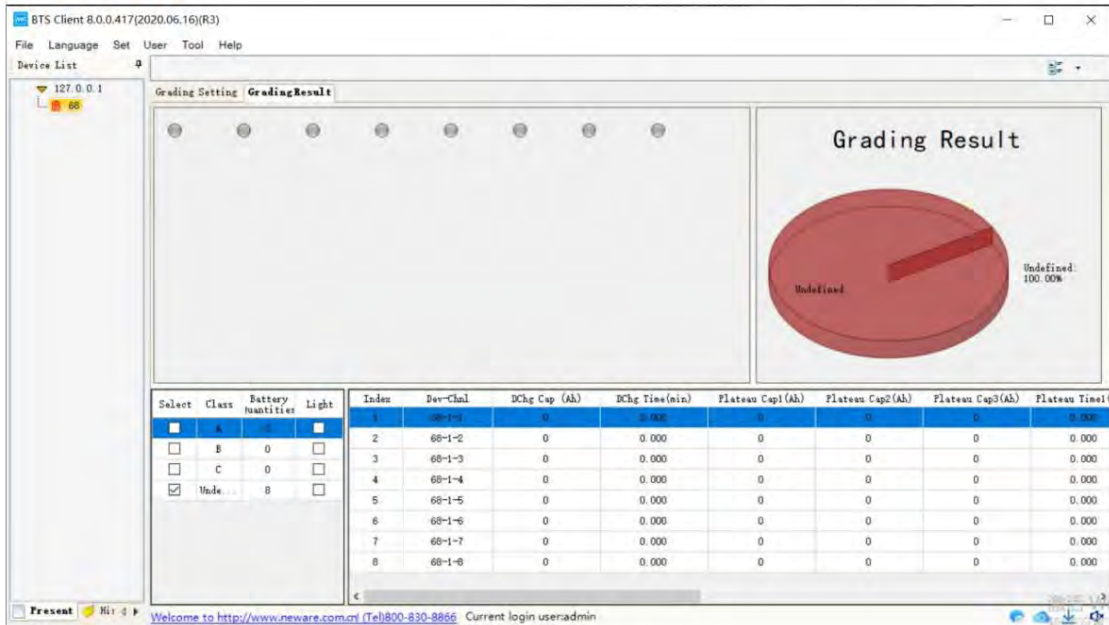
## 3.15.2. 採点結果

並べ替え条件を設定した後、「並べ替え」ボタンをクリックすると、ソフトウェアは

条件を設定すると、並べ替え後に自動的に並べ替え結果のインターフェースにジャンプします。

グレーディング結果インターフェースのチャンネルを点灯し、ユーザーがバッテリーを選択するのに便利です。

ソート結果によると、次のようになります。

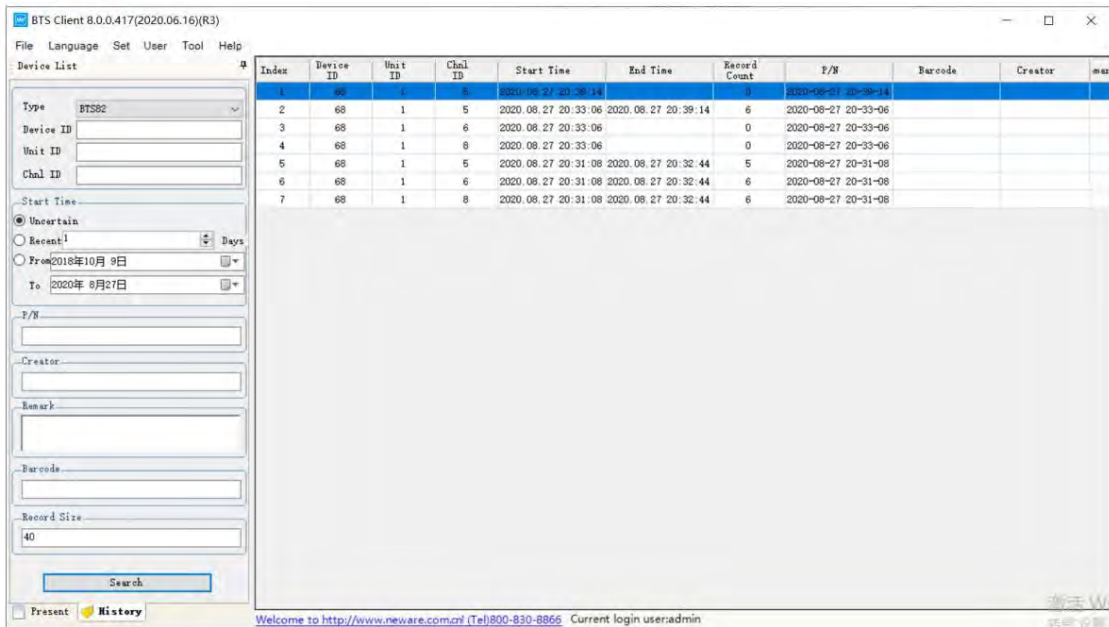


3.14.2 採点結果

### 3.16.テスト結果の履歴

履歴インターフェースは、履歴データの検索、履歴データの表示、履歴データのエクスポートなどの機能を提供します。

クリック 履歴インターフェースの履歴を入力します。次のように表示されます。



3.15.1 履歴データ検索

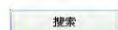
方法は次のとおりです。

1. 設定 **検索条件** タイプ選択:BTS82、入力機器番号:01、入力ユニット番号:1、クリックなど

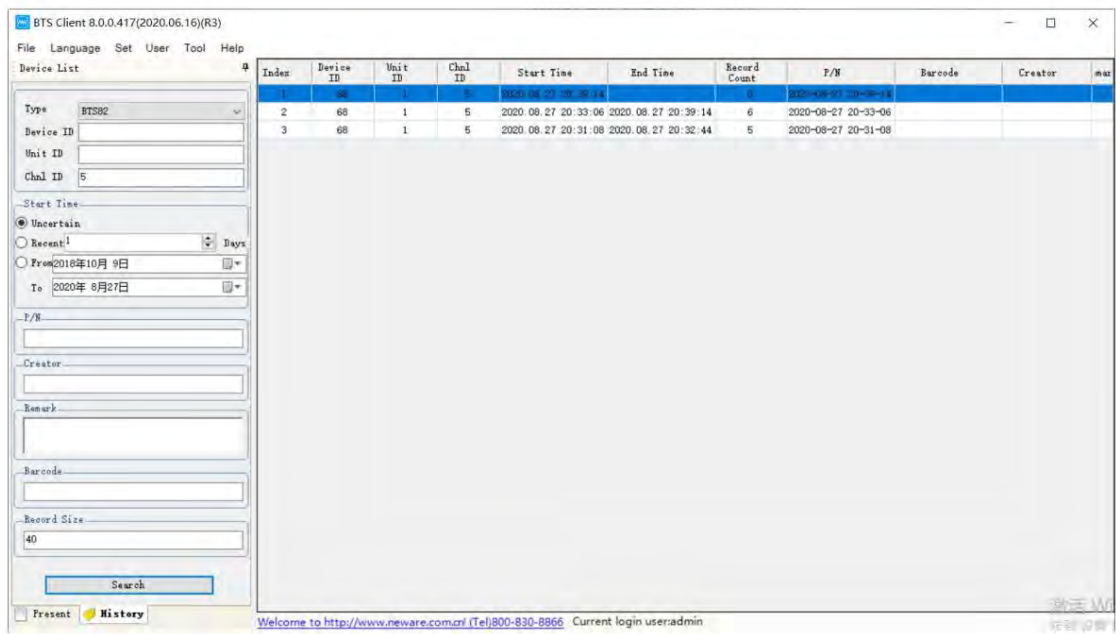


対応する検索結果がリストに表示されます。

2. 設定 **検索条件** 起動時間、電池番号、作成者、備考などを入力します。あいまい条件各テキストに入力することもできます。



対応する検索結果はリストに表示されるすべての検索条件の関係は「AND」であることに留意してください。つまり、条件が増えると、得られる結果は少なくなります。



3.15.2 履歴データ検索

## 4. 付録

### 4.1. よくある質問

Q : ミッドマシン1台で何チャンネルをコントロールできるのでしょうか？その理由は何ですか？

A : 1台のミッドマシンで1600チャンネルを監視できるのは、最大のデータ取得が可能であるからです。  
周波数は10Hzで、0.1秒で1つのテストデータを記録することを意味します（データ記録が  
周波数は1Hzで、ミッドマシンは2000チャンネルを監視できます。

Q : ホストコンピュータによるミッドマシンの検索が失敗する理由は何ですか？

A : 2つの可能性があります

1. ホストコンピュータとミッドマシンの間にネットワークがない
2. ホストコンピュータとミッドマシンが同じネットワークセグメントに接続されていないため、接続できません。

Q : 現在のシステム上で他のサーバーを操作するにはどうすればいいですか？

A : BTS 8.0.0クライアントを他のコンピュータにインストールしてバッテリーテストを実行すると、  
現在のコンピュータBTS 8.0.0のメインインターフェイス上のデバイスリストが長くなると、  
サーバーのバージョンを選択し、サーバーの追加を選択し、他のサーバーのIPを入力してOKをクリックします。  
現在のクライアント上の他のサーバー上のテスト機器を操作します。

Q : BTS 8.0.0 クライアントはテストデータをどのくらいの期間表示できますか？

A : データベースにデータがある限り、クエリ回数に制限はありません。

Q : チャンネル内のバーコード情報を見ると、元のバッテリーバーコード  
情報が不足しています

A : バーコードがチャンネルに接続されている場合は移動できません。そうでない場合は、情報が失われる可能性があります。

Q : なぜバーコードをチャンネルにスキャンできないのですか？

A : バーコードスキャン中はチャンネルはいかなる操作も実行できません。  
バーコードボックスにスキャンされます。

Q : テスト中にクライアントインターフェイスに表示される電圧が変動するのはなぜですか？  
一時停止中？

A : デバイスがバッテリーに接続されると、インターフェイスに実際のバッテリー電圧が表示されます。  
デバイスがバッテリーに接続されていない場合、デバイスは開回路状態にあるため、入力インピーダンスが高く、デバイスのサンプリングラインはクロストーク電圧を収集しやすくなります。  
外部環境の影響を受けるため、表示される電圧はランダムになります。

## 4.2.使用上の注意

Neware の製品を使用する前に、次の点に注意してください。

電源ラインのモデルは機器の電力と一致する必要があります。電圧定格を確認してください。  
機器を電源コンセントに接続する前に、必要な電圧と  
周波数は実際の電源と一致します。

・新しい電池と古い電池、異なるモデルの電池を混ぜないでください。

・複数の機器を同時に稼働させる場合は、機器を近づけすぎないようにしてください。  
空気の逆流や空気の予熱が発生し、メンテナンスにも適していません。

・将来のエラーを効果的に回避するために、許可なく回路基板をアンインストールしないでください。  
機器の損傷や通信エラーの原因になります。

・本製品を使用する前に、電源を入れて、本製品が正常であるかどうかを確認してください。  
バッテリークランプローブが破損していないか確認してください。破損している場合は使用できず、ラベルが貼られています。  
タイムリーなメンテナンスのために添付されています。

・電池を締め付ける際は、電池の陽極と陰極クランプの陽極と陰極に適切に接続します。

・クランプ間の距離が小さすぎるとバッテリーが損傷します。  
クランプが大きすぎると、テストデータの精度に影響します。

・テスト中に作業手順を正しく設定してください。そうしないと、バッテリーが損傷し、安全事故。

・機器内部の温度が50°Cを超える場合は、ファンが作動していないか確認してください。  
正常に動作しています。

・テスト中にチャンネルの電圧と電流のデータが異常な場合は、使用を中止してください。  
すぐにチャンネルにマークを付け、Neware のアフターセールス部門に直ちに連絡してください。

## 4.3.修理とメンテナンス

あなたが選んだ機器は、優れたデザインと優れた職人技を備えた製品です。  
注意して使用してください。以下の提案は保証サービスを使用する際に役立ちます。効果的に  
機器の最高の性能を高精度で保証するために、校正作業は6ヶ月ごとに推奨されます。

・ソフトウェアの新しいバージョンをアップグレードまたは再インストールする前に、以前のバージョンをアンインストールしてください。

・このマニュアルの指示に従ってください。他の方法を試さないでください。

・機器を乾燥した状態に保ってください。電子回路は雨や液体によって腐食する可能性があります。

・機器は清潔に保つ必要があります。ほこりや汚れのある場所で機器を使用したり保管したりしないでください。  
一連の電子部品を損傷します。

・機器を高温の場所に保管しないでください。高温により機器が損傷したり、バッテリー。

・デバイスを低温の場所に保管しないでください。デバイスが通常の温度まで温まると、  
デバイス内部に湿気が発生し、デバイスが損傷する可能性があります。

・機器やバッテリーを落としたり、ぶつけたり、振ったりしないでください。

・機器の表面を清掃する際は、柔らかく清潔な乾いた布のみを使用してください。

・Neware認定の部品を使用してください。未検証の部品を使用するとハードウェアに不具合が生じる可能性があります。  
問題またはさらに深刻な問題が発生することがあります。

・重要なデータを安全に保つためにバックアップを作成してください（テストデータ）

・機器の慎重な使用とメンテナンスは、機器のパフォーマンスを向上させます。

長期にわたる顧客調査とアフターサービスの実践から、機器の故障は多くの場合、不適切な操作や不注意なメンテナンスによって引き起こされ、機器が正常に動作しない場合は、取扱説明書をよくお読みいただくか、ご相談はNewareカスタマーサービスまでお問い合わせください。

## 4.4. アフターサービス

・無料技術トレーニング :Newareは販売前と販売後に無料の技術トレーニングを提供しています。  
プロの技術エンジニアがお客様のお手伝いをいたしますので、ぜひご来社ください。

・電話サポート:ご質問や詳しい情報が必要な場合は、お気軽にお問い合わせください。  
Neware 製品をご利用の際はお問い合わせください。相談時間は Neware のスケジュールに基づきます。

・トラブルシューティングとサポート:Newareの製品が故障したという顧客からの通知を受け取ります。  
故障または正常に動作していない場合、Newareのテレフォニーで修正できない場合  
サポートでは、Neware はサービス時間内にできるだけ早く問題を解決し、製品のコンポーネントを修正、修理、調整、または交換します。

## 4.5. NEWAREへのお問い合わせ

Neware製品をご利用いただき誠にありがとうございます。Newareの製品が皆様の  
テスト中の右腕アシスタント。

弊社製品についてご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

ウェブサイト: [www.newarebattery.com](http://www.newarebattery.com)

ホットライン: 0755-83108866,83108867,83108868